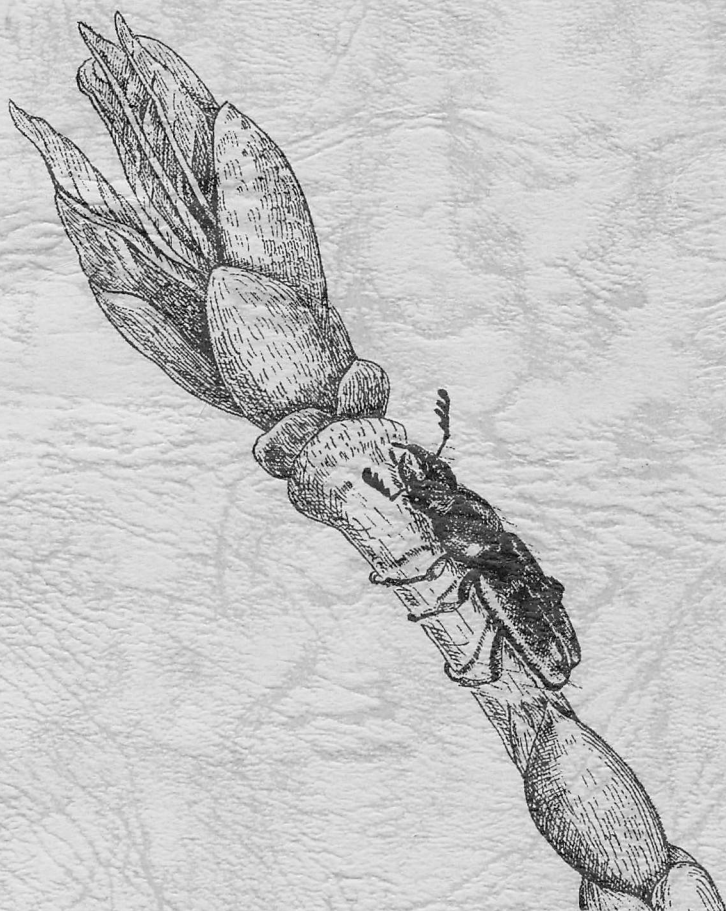


IRATSUME

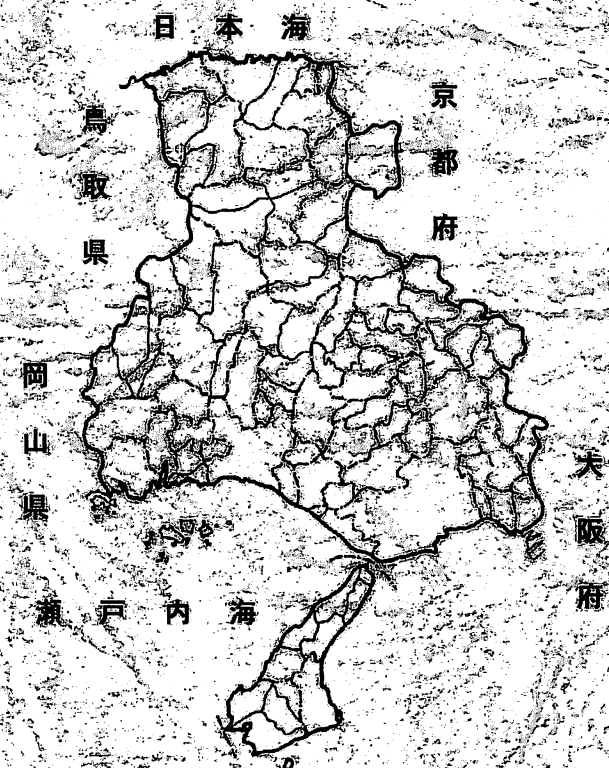
2000 No.24



但馬むしの会



但馬の市町概念図



兵庫県の概念図

◆◆ 目 次 ◆◆

広畑 政巳・近藤 伸一：兵庫県産蝶類分布資料（17）－シジミチョウ科9種の記録－	1
高橋 寿郎 [†] ：兵庫県のハムシ（4）（兵庫県甲虫相資料・363）	15
高橋 寿郎 [†] ：記録による但馬の甲虫相（2）（兵庫県甲虫相資料・364）	31
山本 一幸：浜坂町でアシダカグモの生息を確認	42

表紙：コルリクワガタ
足立義弘・画

兵庫県産蝶類分布資料 (17)

—シジミチョウ科9種の記録—

(ムラサキツバメ・カラスシジミ・キマダラルリツバメ・
クロシジミ・シルビアシジミ・スギタニルリシジミ・
サツマシジミ・ヤクシマルリシジミ・クロツバメシジミ)

広畑 政巳・近藤 伸一

はじめに

兵庫県内のシジミチョウ科の中で、特に珍しい種と比較的個体数の少ない種について県内の分布状況を報告する。

ムラサキツバメ、サツマシジミ、ヤクシマルリシジミの3種は南方系で、北に分布を拡大しつつある種である。現時点では採集例が少ないが、今後採集記録が増加するものと思われる。

カラスシジミとスギタニルリシジミは食餌植物に分布が制限され、新しい生息地が大幅に増える可能性は少ないが、まだまだ調査不足であり、今後の調査で新たな生息地が見つかるものと思われる。

キマダラルリツバメ、クロシジミ、シルビアシジミ、クロツバメシジミの4種は生息環境の維持が困難な種で、近年個体数を急速に減少させており、生息地が消滅した所も多いが、一方では最近になって新しい生息地が見つかり、今後の調査を期待したい。

記載の方法は、県内の記録を各産地1例ずつをあげ、気付いたことを付記した。採集記録のうち場所が特定できない箇所については、分布図、垂直分布図から省いた。

本稿を草するにあたり、次の方々には多くの貴重なデータの提供をいただき、また産地の状況等をご教示いただいた。ここに記してお礼申し上げる。

相坂耕作、石井為久、岩村 巖、故尾崎 勇、桑田正明、佐々木薫、大東康人、高島 昭、徳岡正己、永幡嘉之、西 隆広、森下泰治、唐土洋一、山下剛史、山本正勝、米村和繁。

1. ムラサキツバメ *Narathura bazalus*

分布の状況

南方系のチョウで、東日本には生息していない。近

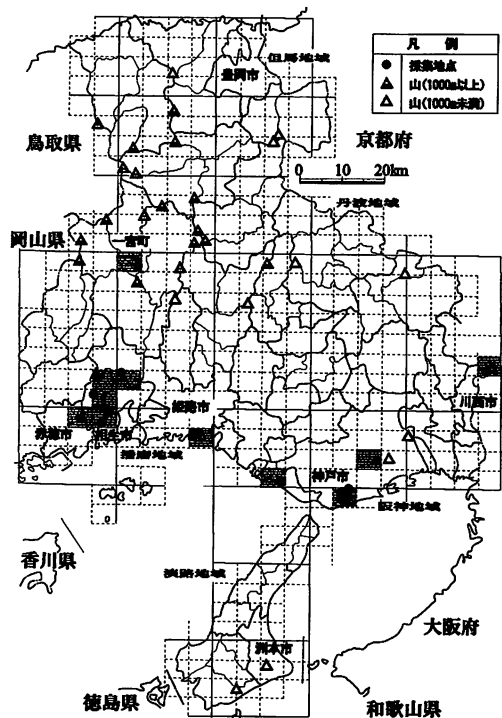


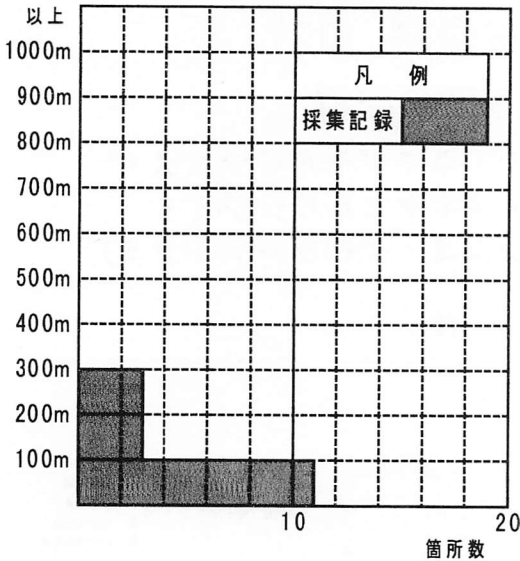
図1 ムラサキツバメの分布

畿地方以西から採集記録がみられるが、確実な土着北限は、日本海側で山口県、太平洋側では和歌山県である。

滋賀、京都、大阪、奈良の各府県では土着は確認されていないが、兵庫県の西播磨では食餌植物であるブナ科マテバシイ属のシリブカガシが分布する林に生息している。四国、九州には広く分布する。

県南部の採集記録は、ほとんどが古いもので、最近

表1 ムラサキツバメの垂直分布



までは相生市、赤穂市周辺だけが確実な生息地であった。1990年の前後から市街地に植栽されたマテバシイ属のマテバシイから幼虫が確認され、街路樹や公園でも発生していることが判明した。

その後、六甲山系の再度山でもマテバシイ林（植栽木）から確認され、最近では阪神間でも確認されているようである（未発表）。

県内陸部の唯一の記録は、1983年秋に波賀町で1♀と幼虫10匹がシリブカガシの幼木から採集されたもので、県北部には分布していない。

生息環境の現況

古くからの産地の西播磨地域では、シリブカガシが自生する広葉樹林に生息する。成虫は林間や林縁、溪流沿いや林内道路付近などでみかけることが多い。近年、マテバシイが各地で植栽され、市街地のグリーンベルトや公園などでも発生し、東に分布を拡大させているようである。

本種を調査研究されている唐土氏によると、マテバシイで確実に発生しているのは赤穂市から姫路市白浜の間で、うち数カ所では毎年見られ、また、春は少なく、秋に数を増すそうである。

垂直分布はすべて300m以下の低地で、100m以下の発生地が多い。

採集記録

川西市妙見山 1 ♀, 29-VII-1964 渡辺康之 13)

宝塚市	13)
神戸市ジェームス山 1 ♂, 14-X-1979 加藤昌宏	13)
〃 鉢伏山	13)
〃 多井畑	13)
〃 中央区再度山	
4 幼虫 3 卵, 2-IX-1995 山岡万寿夫	28)
明石市北王子町 -VIII-1959 小川 進	13)
〃 大久保町江井ヶ島	
1 ♀, 4-X-1959 竹内崇郎	13)
姫路市飾磨区妻鹿日田町	
1 ♂(目撃), 9-VIII-1989 唐土洋一	36)
〃 〃 妻鹿 1 ♂, 25-VIII-1991 唐土洋一	37)
〃 白浜町 17 幼虫, 1-IX-1998	15)
新宮町善定 1 幼虫, 1-IX-1991 唐土洋一	
波賀町小野 1 ♀, 18-IX-1983 勝屋 潤	13)
相生市三濃山 1 ♀, 1-IX-1966 米村和繁	13)
〃 小河 1 ♀, 29-VII-1982 入江智郎	13)
〃 若狭野町東後明	
1 ♀(羽化), 26-IX-1989 唐土洋一	36)
〃 那波南木町中央公園	
5 幼虫, 17-VIII-1991 唐土洋一	37)
〃 山手町墓地公園	
3 幼虫, 18-VIII-1991 唐土洋一	37)
赤穂市周世坂 1 ♀, 5-IX-1981 唐土洋一	13)
篠山町 1957 甚田竜太郎	13)

2. カラスシジミ *Fixsenia w-album*

分布の状況

北海道、本州、四国、九州に分布するが、東北地方からやや局地的となり、近畿以西から中国、四国にかけては産地がさらに局限される。九州では南東部に生息地が多い。

県下ではきわめて稀な種で、これまで氷ノ山の周辺で5カ所の産地が知られているにすぎない。

食餌植物であるニレ科のハルニレ、オヒョウは、但馬、丹波、西播磨などの山地に稀に分布しているだけである。村岡町大笹、美方町備付近にはハルニレがわずかに集中して分布する区域があり、本種の分布はその周辺に限られている。

西宮市に古い記録はあるが、食餌植物の分布域外で疑問が残る。

生息環境の現況

ハルニレやオヒョウが生育するのは海拔500~800m付近の広葉樹林であるが、採集例は少ない。比較的採

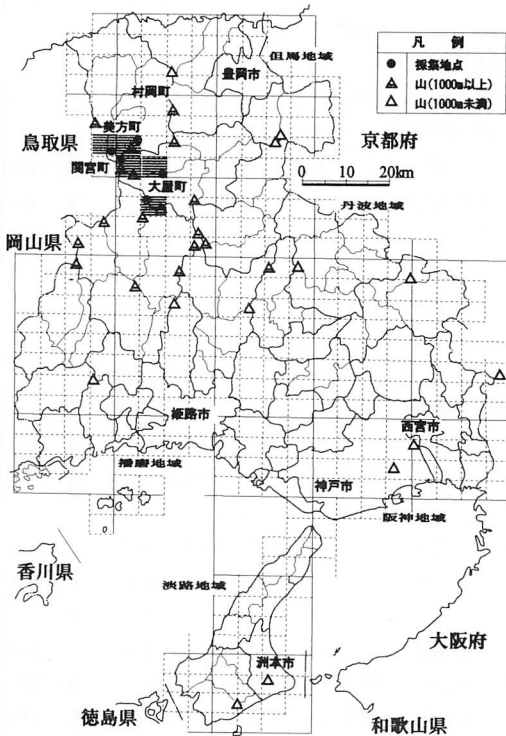
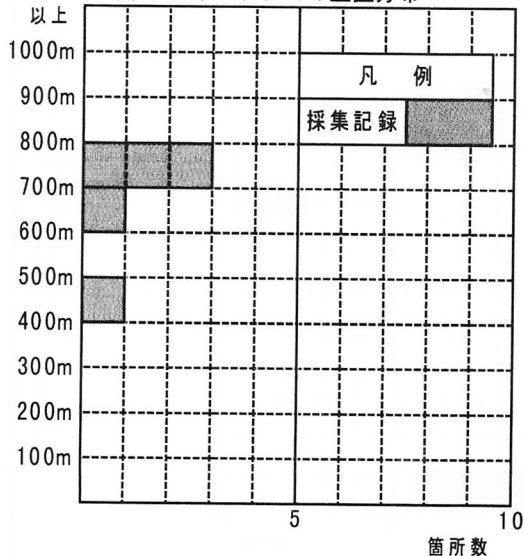


図2 カラスジミの分布

集例の多い村岡町大笹の環境は、湿地草原を取り囲むように残されたトチノキ、ミズナラ、ハルニレなどの大木を高木層とする落葉広葉樹林である。この林では

表2 カラスジミの垂直分布



1991年に大発生したが、その後大発生した話は聞かない。

岡山県では内陸部において農地周辺や庭に植栽されたバラ科のスモモで本種の幼虫が確認されており、兵庫県下でも但馬や西播磨のスモモを調査することで新産地が発見される可能性は高い。

採集記録

- 大屋町若杉峠 1♂, VI-1958 譲尾 勲 46)
 関宮町氷ノ山布滝 2 exs., 19-VII-1971 辻 啓介 47)
 美方町小代溪谷 1♀, 6-VII-1982 山本 勝 48)
 大屋町杉ヶ沢 1 ex., 29-VI-1975 足立義弘 49)
 村岡町鉢北高原(大笹) 2 exs., 30-VI-1984 福井丈嗣 50)

(参考)

- 西宮市甲東園 -VI-1932 加地早苗 45)

3. キマダラルリツバメ *Spindasis takanonis*

分布の状況

本州の特産種で、岩手県から広島、島根県にかけて局地的に分布するが、採集記録のない県が多い。

県下の分布域は、分布図でもわかるように広く、ほぼ全域に点在しているが、いずれの場所でも生息地はきわめて局限され、個体数も少ない。但馬地域と姫路市から加古川市にかけての播磨地域南部に分布の集中する地域が見られ、矢粟郡の広い区域と神戸市周辺、淡路島では分布が確認されていない。

生息環境の現況

表のように高地から低地まで分布するが、海拔200m以下の低山地に生息地が多い。

本種は幼虫がシリアゲアリ類に餌を与えられて育つという特異な生態を有し、シリアゲアリ類（ハリブトシリアゲアリ）が巣を造る老木のあることが、本種が生息するための必須条件である。社寺の境内、公園、並木、果樹園などの老木、自衛隊演習場のような平坦地の松林、集落周辺の里山や山麓部などで発生する。

県内で確認された発生樹種は、サクラとマツ類が多く、クリ、コナラ、オオバヤシャブシ、モモ、キリなどの記録もあり、但馬の高地ではカシワ林に生息している。

採集記録

- 川西市笹部 1♂, 5-VII-1988 川元 裕 3)
 " 一の鳥居 5)

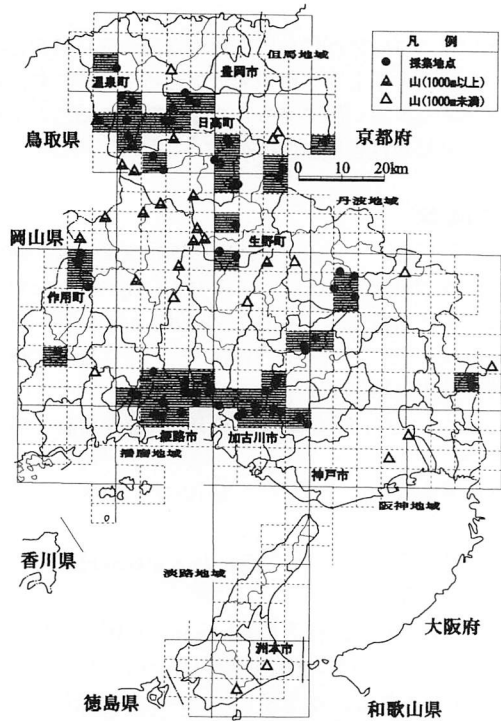
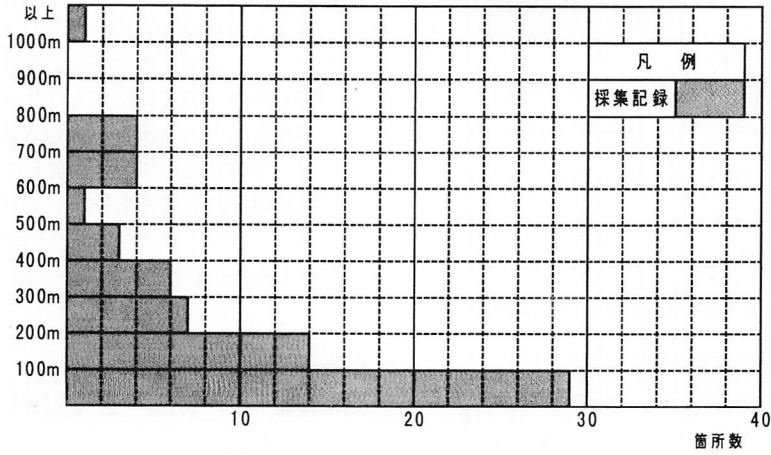


図3 キマダラルリツバメの分布

- 加古川市志方町城山 4)
" " 大宗 1 ♂, 18-VI-1985 高嶋 明 13)
" " 氷室 (長楽寺)
2 ♂, 19-VI-1985 近藤伸一
" " 七ツ池

- 2 幼虫, 29-V-1981 宮田・森本
" 玉ノ緒地藏 5)
三木市大村 1 ♀, 2-VII-1977 高橋久夫
" 上の丸公園 1 ♂, 20-VI-1964 5)
小野市来住町前山 5 ♂, 19-VI-1955 山本広一 13)
" 青野ヶ原 3 ♂, 20-VI-1993 松崎 隆 8)
加西市桑原田 3 ♂, 20-VI-1955 岡田幸雄 9)
西脇市比延 1 ♂, 25-VI-1989 5)
" 和布 吉田 豊 13)
" 高松町宝光院境内
1 ♀, 8-VII-1962 名越 寛 9)
加美町 4 幼虫, 9-V-1993 山崎哲郎 5)
姫路市大野峠 8 ♂ 2 ♀, 19-VI-1958 法西 浩 9)
" 御立大池 19-VI-1960 法西定雄 9)
" 仁豊野小坂山 1 ♂, 28-VI-1964 二谷正義 9)
" " 池ノ奥 1 ♂, 21-VI-1964 " 9)
" 上砥堀 2 ♂, 28-VI-1972 相坂耕作 13)
" 勝原区京見山 2 ♂, 27-VI-1978 稲田和久 10)
" " 天満山 松本勝由
" 広峰山 1 ♂, 26-VI-1982 木村三郎 13)
" 林田町八幡 1 ♂, VII-1982 松本勝由 13)
" 青山桜貯水池 1 ♂, 29-VI-1983 大前 普 13)
" 井ノ口 3 ♂, 18-VI-1983 上田倫範 13)
" 伊伝居 1958 10)
" 豊富 10)
香寺町須賀院 1 ♂, 26-VI-1983 5)
夢前町山富 2 ♂ 1 ♀, 8-VII-1978 広畑政巳 13)
龍野市旧龍野町
6 月下旬~7月上旬 1902 福田 卓 9)

表3 キマダラルリツバメの垂直分布



龍野城公園

1 ♀ (羽化), 10-VI-1990 山崎哲郎 5)

山崎町 1 ♂ (羽化), 4-VI-1989 5)

千種町志引峠 1 ♂, 7-VII-1987 5)

上月町久崎付近 2exs. 高見筆太郎 9)

佐用町日名倉山 1 ♂, 14-VII-1968 岩村 巖 13)

南光町船越 1 ♂, 30-VI-1976 内海功一 13)

日高町金山峠 1 ♂ 2 ♀, 3-VIII-1977 木下賢司 13)

" 栃本 3 ♂, 7-VII-1993 青木洋一 8)

" 名色高原 18幼, 21-VI-1992 山崎哲郎 5)

" 神鍋山 5 ♂ 12 ♀, 22-VI-1997 15)

但東町登尾峠 1 ♀ (羽化), 27-VI-1986 山崎哲郎 5)

村岡町祖岡 2 ♂, 2-VII-1983 黒井和之 13)

" 耀山 1 ♀, 3-VIII-1977 木下賢司 13)

" 金山峠 1 ♂, 2-VII-1994 松崎 隆 8)

美方町美方高原 1 ♀, 9-VII-1978 結城八郎 13)

" 久須部 1 ♀, 30-VI-1996 大前 寛 51)

" 小長迫 18幼虫, 16-VI-1996 大前・山崎 51)

温泉町扇ノ山 13)

" 湯村温泉 2 幼, 24-V-1987 中村知史 11)

養父町浅野 1 ♂ (羽化), 13-VI-1986 山崎哲郎 5)

" 伊豆 幼虫・蛹, 31-V-1987 鎌田邦彦 39)

八鹿町八鹿 1 ♀ (羽化), 3-VI-1991 山崎哲郎 5)

" 下網場 1 ♂ (羽化), 7-VI-1989 山崎哲郎 5)

大屋町杉ヶ沢高原 1 ♂, 8-VII-1998 山本正勝

関宮町東鉢伏 (葛畑)

1 ♂, 30-VI-1983 山崎哲郎 5)

朝来町山口 9 幼虫, 27-V-1995 小路・山崎 51)

生野町栃原 2 ♂, 10-VII-1969 青木陽一 13)

" 口銀谷 4 幼虫, 27-V-1995 小路・山崎 51)

和田山町藤和 高田忠彦 13)

" 藤和峠 7 幼虫, 27-V-1995 小路・山崎 51)

" 宝山 2 ♂, 23-VI-1991 木下賢司 1)

山東町野間 3 幼虫, 30-V-1993 高坂 寿 5)

" 梁瀬 7 exs., 27-VI-1990 福井丈嗣 12)

柏原町柏原 5)

" 鐘ヶ坂 8 幼虫, 8-V-1993 山崎哲郎 5)

青垣町 10 幼虫, 16-V-1993 大前 寛 5)

山南町奥野々 12 幼虫, 24-V-1992 山崎哲郎 5)

" 川代公園 4 幼虫, 24-V-1992 山崎哲郎 5)

丹南町 " 2 幼虫, 24-V-1992 山崎哲郎 5)

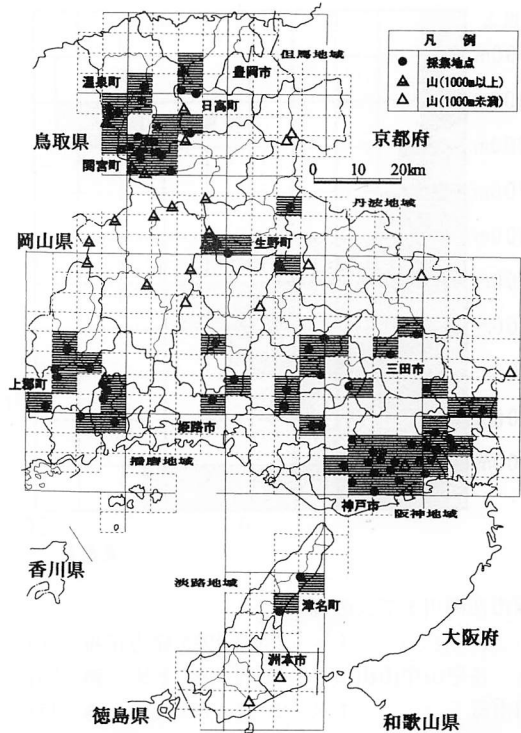


図4 クロシジミの分布

カ所に記録があるだけの稀種となる。

県下には全域に広く点在するが発生場所は局限され、分布の空白地域も多い。但馬の山地草原、西播磨南部の低山地、神戸・阪神などに分布が集中している。淡路島にも記録がある。

生息環境の現況

本種の幼虫の生態も特異で、1～3令の食餌はキジラミ類やアブラムシ類の分泌物、その後クロオオアリの巣に運び込まれ、クロオオアリに食餌をもらって育つ。このため生息環境は、クロオオアリの生息する低山地から山地の明るい広葉樹林の林間や林縁、草原などである。

表のように高地から低地までまんべんなく分布するが、500m以下付近と100m以下の低地に生息地が多い。

採集記録

川西市西多田 25-VII-1966 小坂利明 13)

宝塚市逆瀬川ゆずりは台

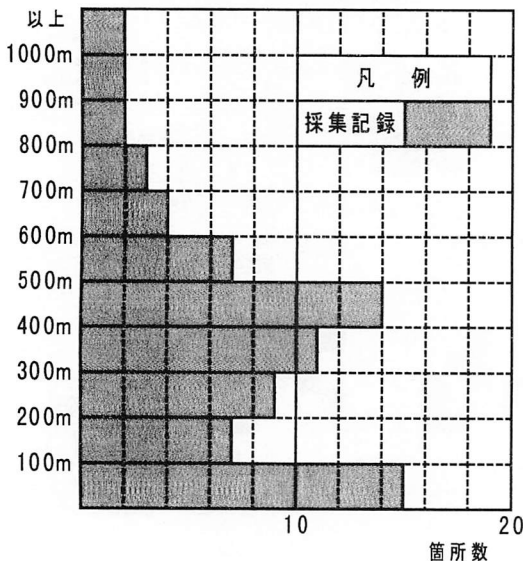
4 ♀, 12-VII-1987 西田 正 3)

4. クロシジミ *Niphanda fusca*

分布の状況

本州、四国、九州に局地的に分布する。四国では数

表4 クロシジミの垂直分布



宝塚市逆瀬川エデンの園

1 ♀, 28-VII-1985 緒方正雄	3)
" 長尾山中山山頂	12-VII-1987 新家 勝 29)
三田市母子	1 ♀, 3-IX-1965 矢田 修 13)
" 藍本	3 ♂ 9 ♀, 17-VII-1977 高橋邦明 3)
" 関学千刈セミナーハウス	1 ♂, 29-VII-1989 52)
西宮市甲山神呪寺	13)
" 山口町船坂	1 ♀, 20-VII-1979 杠 隆史 3)
芦屋市芦屋川上流	1 ♀, 2-VIII-1981 西 隆広 13)
神戸市東灘区金島山〜風吹岩	10 ♂ 松浦 3)
" 御影町	1 ♀, 4-VIII-1949 吉坂道雄 13)
" 六甲山タコジャレ (住吉川上流, 西山谷)	1 ♀, 28-VII-1952 溝口 修 13)
" 山上	1 ♀, 7-VII-1960 尾崎 勇 13)
" 再度山	13)
" 中央区布引	13)
" 鷹取山	13)
" 西区榎谷町	3 ♂ 7 ♀, 1-VII-1990 山下剛史 30)
" 大山寺	1 ♀, 28-VII-1961 大東康人
" 北区山田町神戸市森林植物園	2 ♂ 10 ♀, VII-1964 三木 進 13)
" 箕谷	1 ♂ 4 ♀, 19-VII-1959 尾崎 勇 13)
" 東下	2 ♀, 13-VII-1996 杠 隆史 32)

" " " 藍那

3 ♂ 9 ♀, 17-VII-1988 山本正勝

" " 山の街

2 ♂ 1 ♀, 23-VII-1967 相坂耕作 13)

" " 星和台団地 17-VII-1988 山本正勝

" " 有野町蓬山峽

3 ♀, 26-VII-1959 尾崎 勇 13)

" " 有馬温泉紅葉谷 山本正勝

三木市大村 5 ♀, 23-VII-1986 永幡嘉之 33)

" 戸田 1 ♂ 1 ♀, 26-VI-1986 永幡嘉之 33)

" 久留美 1 ♀, 13-VII-1986 芝 直幸 33)

小野市阿形町 13)

" 青野ヶ原 2 ♀, 30-VI-1984 墨谷 健 34)

社町三草 5 ♂, 8-VII-1978 徳岡正巳 13)

東条町森 1 ♂ 7 ♀, 3-VII-1988 山下剛史 30)

西脇市和田町 13)

" 岡ノ山 VII-1979 徳岡正巳 13)

加美町市原千ヶ峰 4-VII-1959 13)

青垣町粟鹿峰 14-VIII-1952 越智研一郎 13)

姫路市増位山 1 ♂, -VIII-1960 木村三郎 13)

" 山田町多田13exs., 上旬-VII-1983 上田倫範 13)

福崎町田口 2 ♂ 2 ♀, 19-VII-1975 広畑政巳 13)

相生市瓜生 1 ♀, 21-VII-1962 米村和繁 13)

" 三濃山 1 ♂, 19-VII-1962 米村和繁 13)

" 能下 1 ♂, 17-VII-1996 中浜 潔 13)

" 山手町 川崎悟良 13)

赤穂市有年 2 exs., 8-VII-1956 橋本 13)

上郡町大山寺 1 ♀, 4-VIII-1957 唐土洋一 13)

" 富満 1 ♀, 2-VIII-1966 米村和繁 13)

" 黒石 3 ♂ 1 ♀, 13-VII-1974 佐々木薫 13)

" 市原 1 ♂ 5 ♀, 8-VII-1978 石井為久 13)

上月町櫛田 1 ♂ 1 ♀, -VIII-1960 木村三郎 13)

日高町三川山 1-VIII-1974 遠藤知二 13)

" 稲葉 1 ♂ 1 ♀, 2-VIII-1963 小崎茂樹 13)

" 神鍋山山頂

3 ♂ 4 ♀, 7-VII-1990 木下賢司 1)

" 神鍋山 1 ♂ 1 ♀, 29-VII-1995 大東康人 1)

村岡町兎和野 高島 昭 13)

" 相岡 1 ♂ 1 ♀, 21-VIII-1992 永幡嘉之 1)

" 大笹鉢北大池 2 ♂, 7-VII-1991 木下賢司 1)

温泉町上山高原 19-VIII-1973 中野 真 13)

" 春木 2 ♀, 16-VIII-1980 広畑政巳 13)

" 肥前畑 1 ♂ 1 ♀, 4-VII-1982 黒井和之 13)

" 霧ヶ滝 1 ♀, 10-VIII-1991 永幡嘉之 1)

美方町美方高原 17-VII-1981 谷角素彦 13)

" 熱田	18-VII-1981 加野・島田13)
" 新屋	2♂1♀, 20-VII-1991 永幡嘉之 1)
" 小代溪谷	1♀, 19-VI-1990 黒井和之 35)
八鹿町妙見山	13)
関宮町氷ノ山福定	1♂, 27-VII-1954 吉坂道雄 13)
" 葛畑	3♂1♀, 27-VII-1979 広畑政巳 13)
" 別宮	8♂6♀, 15-VII-1980 福井丈嗣 13)
" 鉢高原	1♀, 23-VII-1992 永幡嘉之 1)
" 東鉢伏	1♂1♀, 27-VII-1980 近藤伸一
大屋町杉ヶ沢	1♂2♀, 9-VII-1978 広畑政巳 13)
生野町栃原	3♂, 13-VII-1952 吉坂道雄 13)
朝来町段ヶ峰	13)
津名町妙見山	1♀, 14-VIII-1951 堀田 久 13)
" 志筑明神	13)

5 シルビアシジミ *Zizina otis*

分布の状況

栃木県以南の本州から、四国、九州、南西諸島にかけて局地的に分布する。

県下の産地は南部に点在し、海岸付近まで生息が確認されているが、いずれの地域も発生場所は限られ個体数は少なく、絶滅した産地も多い。

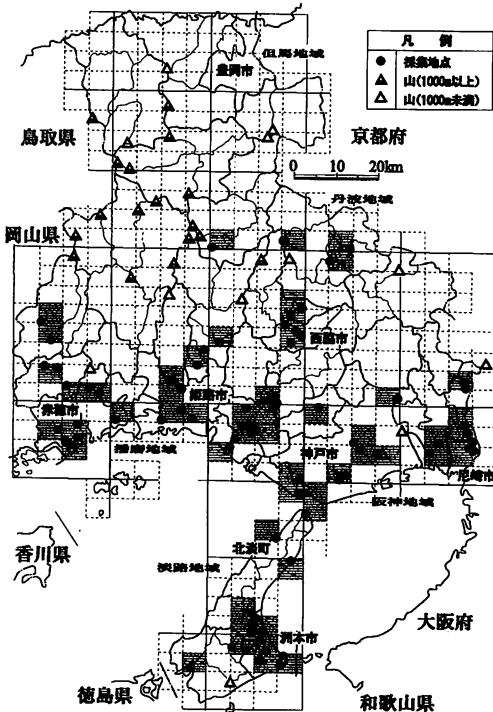


図5 シルビアシジミの分布

淡路島には広く分布し、個体数も比較的多い。北部但馬地域では、分布が確認されていない。

生息環境の現況

食草のマメ科ミヤコグサが生育する河川堤防や田畑の畦、池の土手、農地周辺の空地、放置された造成地などの草地が、主な生息場所である。このような草地は、集落周辺に多いため開発されることが多い。

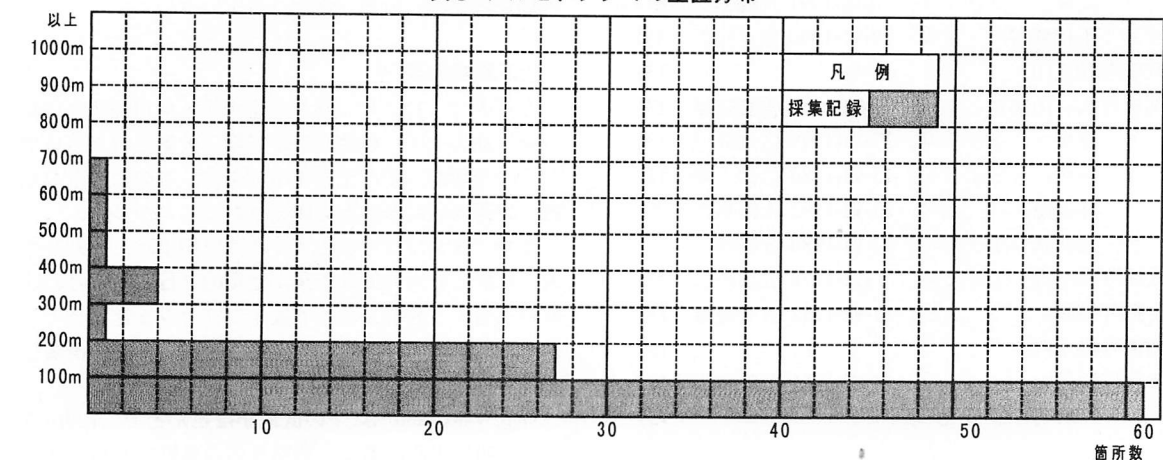
また、ミヤコグサの生育する草原環境は、草刈りや火入れなどの人為的な作業が定期的に行われなければ維持できず、放置されれば数年でブッシュとなってしまふ。これらの理由で、近年は生息地が急速に消滅している。

垂直分布は200m以下の低地がほとんどで、100m以下が分布の中心である。淡路島の由良町成ヶ島(島)の生息場所は海拔数mである。

採集記録

川西市笹部	2♂3♀, 中旬-VII-	中畔史雄	6)
" 能勢〜一の鳥居	3♂4♀, 19-IX-1948	吉阪道雄	6)
" 東畦野一の鳥居寒天場	27-VII-1952	盛原 淳	22)
伊丹市口酒井	5♂5♀, 4-IX-1977	高橋邦明	3)
" 下河原(軍行橋)	1♀, 30-X-1982	長沼二郎	1)
" 中村	4 exs., 10-X-1991		15)
" 桑津橋〜軍行橋	7♂1♀, 26-IX-1992	小林克行	23)
" 猪名川堤	1♀産卵, 28-X-1987	中邨 徹	53)
尼崎市田能	数頭 1978	宇野正紘	6)
" 藻川	50exs., 24-IX-1989		15)
" 園田			
西宮市上ヶ原	1 ex. (撮影), 11-IX-1975	法西定雄	25)
" 夙川	1♂1♀, 29-VII	矢代 学	6)
神戸市北区山の街	1♀, 9-VII-1949	中畔史雄	6)
" 北区道場町		尾崎 勇	6)
" 須磨区車字大道	1♂, 9-VII-1964	三木 進	6)
" " 落合	1♂, 17-IX-1967	山本正勝	
" 北区山田町	17♂5♀, 29-IV-1997		15)
" " " 東下	3♂, 17-VI-1998	杠 隆史	26)
" 摩耶山	5 exs., 1960~1961		6)
" 垂水区舞子ピラ			

表5 シルビアシジミの垂直分布



2♂1♀, 9-X-1982 勝屋 潤 27)	" 余部区川河原	21♂16♀, 6-IX-1959 岩村 巖 6)
" 西区玉津 1♀, 23-VI-1961 尾崎 勇	" 書写山 2♂3♀, 6-IX-1959 岩村 巖 6)	" 東阿保 7♂5♀, 16-VIII-1960 岩村 巖 6)
明石市人丸神社付近 4♂, 17-X-1959 中谷貴寿 6)	" 大野峠 多数, 18-V-1957 岩村 巖 6)	香寺町矢田部 1♂, 9-V-1982 石井為久 7)
" 明石川国鉄鉄橋付近	" 福崎町神谷 5卵, 10-VI-1979 近藤伸一	市川町上田中 2♂, 9-V-1982 石井為久 7)
3♂4♀, 17-X-1959 中谷貴寿 6)	龍野市東光寺 1♂, 5-VIII-1979 広畑政巳 6)	揖保川町馬場 高柳栄一
加古川市志方町中才 3♂, 22-VII-1983 高嶋 明 25)	相生市矢野町瓜生	3♂8♀, 4-VII-1967 唐土洋一 6)
" 加古川 1♂, 14-IX-1959 岩村 巖	赤穂市尾崎 3♂2♀, 27-VI-1963 岩村 巖 6)	" 大津 1♂, 10-X-1965 岩村 巖 6)
" 友沢 1♀, 18-XI-1958 吉阪道雄 6)	" 中広 3♂2♀, 27-VI-1963 岩村 巖	" 野中 2♂, 7-IX-1963 西垣建治 6)
" 池尻橋 3♂2♀, 5-IX-1993 大東康人	" 目坂 1♂1♀, 13-IX-1969 粉引俊宏 6)	" 上飯屋新港
" 神野 多数, 29-IV-1963 尾崎 勇 6)	26♂12♀, 27-VII-1976 松村邦正 6)	上郡町赤松 1♂, 8-VII-1978 広畑政巳 6)
" 稲屋 多数, 29-IV-1963 尾崎 勇 6)	" 神明寺 2♂, 20-V-1979 広畑政巳 6)	" 市原 1♀, 8-VII-1978 石井為久 6)
" 日岡 2♂2♀, 29-IV-1963 尾崎 勇 6)	上月町円光寺 2♂, 16-VII-1978 広畑政巳 6)	" 上土居 1♂1♀, 17-V-1997 大東康人
" 平荘町升田 多数, 8-IX-1959 中谷貴寿 6)	生野町栃原 1♀, 5-IX-1951 武田博允 28)	春日町黒井 1♂, 7-VIII-1952 越智研一郎 6)
高砂市相生橋付近 多数, 10-IX-1959 中谷貴寿 6)	氷上郡(旧生郷村) 多数, 20-VIII-1952 越智研一郎 6)	洲本市津田 1♂, 11-V-1980 広畑政巳 6)
三木市 15exs., 5-X-1997 15)	" 安乎町 1♂1♀, 1-IX-1951 堀田 久 6)	
" 細川町 4 exs., 10-X-1998 15)		
小野市下来住町 1♀, 5-VII-1931 山本広一 6)		
" 鴨池 1♂, 20-VI-1958 山本広一 6)		
" 大島町 1♂, 15-VI-1945 山本広一 6)		
" 葉多町 3♂2♀, 30-VI-1947 山本広一 6)		
" 下大部町 1♀, 24-VI-1950 山本広一 6)		
西脇市市原 5 exs., VIII-1964 吉田 豊 6)		
" 津万 1♂, 5-IX-1958 猪股涼一 27)		
" 武島山付近の川原 9-IV-1961 6)		
" 西林寺 7)		
" 野村 7)		
黒田庄町中央橋付近 7)		
加美町山寄上 28)		
姫路市広畑区広畑 4♂1♀, -IX-1959 岩村 巖 6)		

- " 中河原町 1♂, 3-X-1952 堀田 久 6)
 " 下加茂 1♂1♀, -1977 浅田 卓 6)
 " 三熊山 少数, 菊池宏美 31)
 " 生石公園 普通, 菊池宏美 31)
 " 柏原山 普通, 菊池宏美 31)
 " 鮎屋ダム 普通, 菊池宏美 31)
 " 千草 1♀, 8-V-1950 吉阪道雄 6)
 " 竹原 1♀, 15-VIII-1951 田中 蕃 6)
 " 安坂 1♂1♀, 7-VIII-1977 近藤伸一
 " 由良町成ヶ島 2♂, 20-IX-1999 近藤伸一

- 北淡町富島 2-VIII-1952 越智研一郎 6)
 東浦町釜口 2♂1♀, 11-V-1980 広畑政巳 6)
 淡路町松帆崎 1♂, 10-IX-1978 中谷貴寿 6)
 緑町中山峠 2♂1♀, 10-IX-1978 近藤伸一 6)
 南淡町福良水源地 2♂, 9-X-1958 中谷貴寿 6)

6. スギタニルリシジミ *Celastrina sugitanii* 分布の状況

北海道ではほぼ全域に分布するが、本州では太平洋側低地、瀬戸内沿岸に分布の空白地がある。四国、九州では山地に局地的に分布する。

県下の分布域は県北西部の但馬と西播磨北部で、お

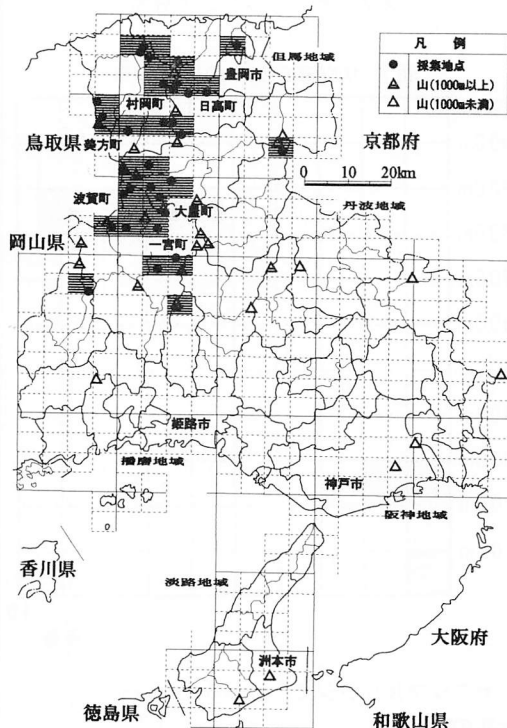
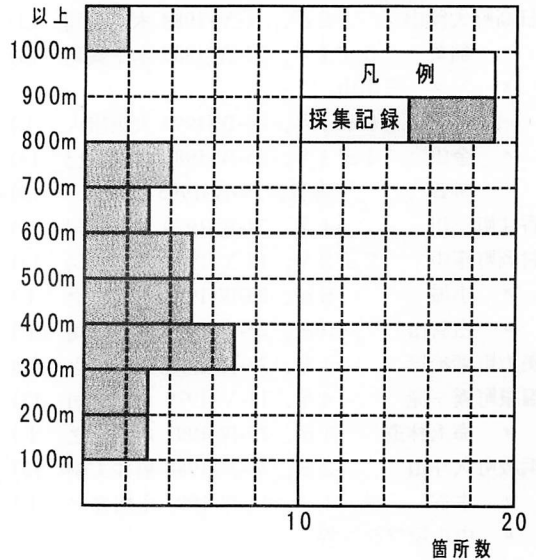


図6 スギタニルリシジミの分布

表6 スギタニルリシジミの垂直分布



おむね食餌植物であるトチノキ科トチノキの分布と一致するが、トチノキが分布しても本種が生息しない地域も多い。南限は夢前町雪彦山山麓で、現在でも個体数は多い。

生息環境の現況

やや深い山地の広葉樹林を生息場所とし、成虫は主な食餌植物であるトチノキが生育する森林の林縁、溪流沿いや林道などでよくみかける。

表のように1000m以上の高地から100m付近の低地まで分布するが、600mから300mぐらいの高さに生息地が多い。県北部では低地にも生息しているが、南部では山地のチョウで、やや標高の高い場所に生息地が集中する。

採集記録

- 夢前町雪彦山 1♂, 13-IV-1958 中谷貴寿 13)
 波賀町戸倉峠 20exs., 3-V-1952 松井俊公 13)
 " 赤西溪谷 1♂, 5-V-1981 広畑政巳 13)
 " 音水溪谷 4♂, 13-IV-1997 大東康人
 " 坂の谷林道 2♂, 28-IV-1985 高島 昭 13)
 一宮町深河谷 1♀, 11-V-1974 尾崎 勇 13)
 " 福知 -V-1981 高嶋 明 13)
 " 溝谷 1♂, 8-V-1983 佐々木薫 13)
 " 志倉樅ノ木林道
 2♂, 28-IV-1985 高島 昭 13)
 南光町船越山 -V-1981 高嶋 明 13)

城崎町来日岳	1 ♀, 10-V-1975 木下賢司	13)
日高町大岡山	2 ♂, 5-V-1984 木下賢司	13)
〃 稲葉	6 ♂ 1 ♀, 24-IV-1985 木下賢司	13)
〃 〃 三川山		
	6 ♂ 1 ♀, 24-IV-1994 大東康人	1)
〃 金山	1 ♂ 1 ♀, 25-IV-1982 広畑政巳	13)
〃 神鍋	多数, 29-IV-1995	15)
香住町三川	1 ♀, 24-IV-1979 木下賢司	13)
村岡町耀山	2 ♂ 3 ♀, 12-V-1978 木下賢司	13)
〃 小城	6 ♂, 23-IV-1993 永幡嘉之	1)
〃 白菅山	10 ♂, 25-IV-1991 木下賢司	1)
美方町鍛冶屋	1 ♀, 27-IV-1993 永幡嘉之	1)
温泉町霧ヶ滝	4 ♀, 11-V-1979 木下賢司	13)
〃 海上林道	1 ♂, 25-IV-1992 永幡嘉之	1)
浜坂町久斗山	2 ♂, 7-V-1980 福井丈嗣	13)
〃 本谷	1 ♂, 14-IV-1994 永幡嘉之	1)
〃 中小屋ワシン谷		
	1 ♂, 15-IV-1994 永幡嘉之	1)
八鹿町妙見山		13)
関宮町氷ノ山		13)
〃 安井	3 ♂, 2-V-1979 木下賢司	13)
大屋町若杉	2 ♂, 29-IV-1957 中尾淳三	13)
〃 筏	2 ♂, 27-IV-1957 中尾淳三	13)
〃 横行	1 ♀, 1-V-1974 尾崎 勇	13)
和田山町糸井谷	1 ♂, 21-IV-1977 木下賢司	13)

7. サツマジミ *Udara albocaerulea*

分布の状況

三重県を北限に本州各地に記録はあるものの、本州の確実な土着地は和歌山県と広島県、山口県、四国、九州、南西諸島北部では広く分布する。

県下の記録は3例だけであるが、1995年に川西市と大阪府の境界に位置する妙見山山頂付近で3♂が採集されている。

生息環境の現況

兵庫県での採集例が少なく記録も古いものであり、県内で土着しているかどうかは不明であるが、県南部の比較的開けた山頂部で夏期に採集される傾向があるため、今後の調査に期待したい。

採集記録

西宮市甲山南麓	1 ♂, 16-VII-1961 田中忠治郎	42)
西宮市岡田山	1 ♀, 30-VIII-1969 勝屋 潤	43)
神戸市高取山	1 ♀, 5-VII-1978 遠山 豊	44)

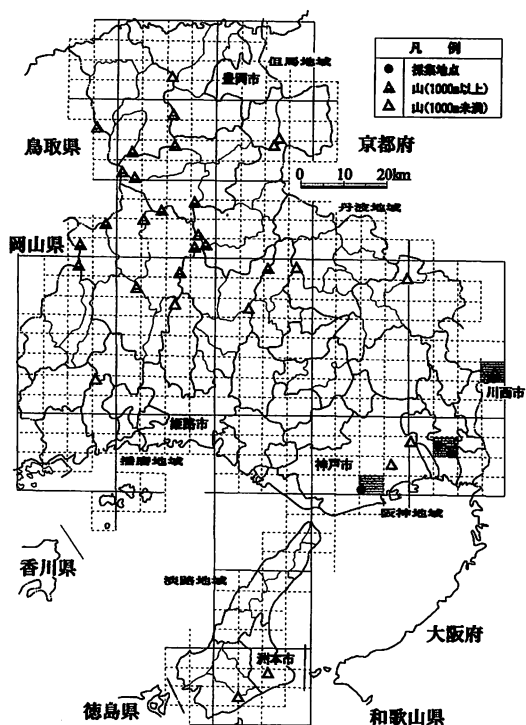
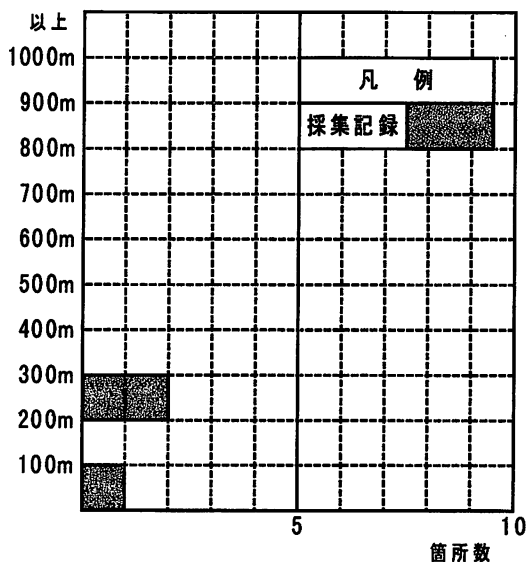


図7 サツマジミの分布

表7 サツマジミの垂直分布



8. ヤクシマルリシジミ *Acytolepis puspa*

分布の状況

三重県を北限に本州の太平洋側、四国と九州の太平

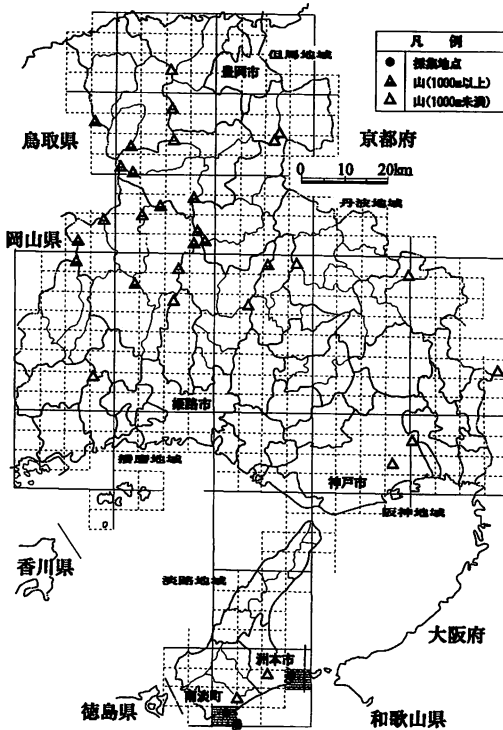
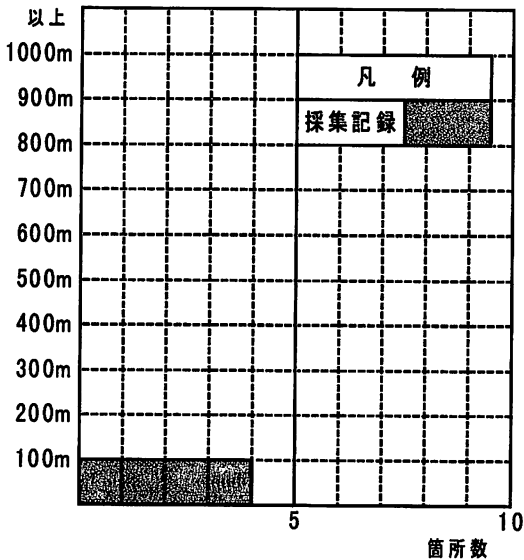


図8 ヤクシマルリシジミの分布

表8 ヤクシマルリシジミの垂直分布



洋側および南西諸島に分布が点在する。

県下の採集例はこれまで南淡町灘の1例だけであっ

たが、1993年に小野氏らによって洲本市由良で確認され、その後南淡町の灘や沼島でも確認された。本種の分布が和歌山県から海岸沿いに北上していたため、小野氏らは和歌山の対岸で友が島に近接した洲本市由良地区をターゲットに調査され、幼虫を確認されたものである。

今後、更に北に分布を拡大させる可能性が高い。

生息環境の現況

県下で一番温暖な淡路島の灘海岸と、それに続く洲本市由良町で、幼虫が採集されている。

本種の主な食餌植物はノイバラ、テリハノイバラなどのバラの仲間とブナ科ウバメガシで、ともに淡路島南部には広い範囲で分布しており、本種が土着している可能性はきわめて高い。

採集記録

南淡町灘 1 ♀, X-1973 久松定成 39)
 " 沼島 6 幼虫, 11-X-1993 松野・小野 40)
 " 土生 1 ♂ 1 ♀ 羽化, 31-X-1995 松野・小野 41)
 洲本市由良町4丁目
 1 幼虫, 10-XI-1993 松野・小野 40)

9. クロツバメシジミ *Tongeia fischeri*

分布の状況

関東以西の本州、四国、九州の平地から山地にかけて局地的に分布する。

県下の分布は、西播磨に比較的多く点在しているものの、本種の生息地が主な食草であるベンケイソウ科ツメレンゲの生育するような岩場や古い家屋の屋根などであり、特殊で不安定なため、近年は道路工事や屋根の葺き替えなどで生息地が消滅した産地が多く、個体数の減少も著しい。

生息環境の現況

食草のツメレンゲが岩場や古い人家や寺の瓦屋根に生えるため、本種も主として切り立った岩場を生息場所とする。姫路市や龍野市の市街地にある古い家屋の屋根にも生息していたが、近年は見られなくなった。

垂直分布は、表9のように200m以下の低地が分布の中心である。

採集記録

宝塚市武田尾 1 ♂, 4-X-1991 米谷敦子 14)
 西宮市塩瀬町木之元 1 ♂, 5-XI-1998 法西 浩 16)

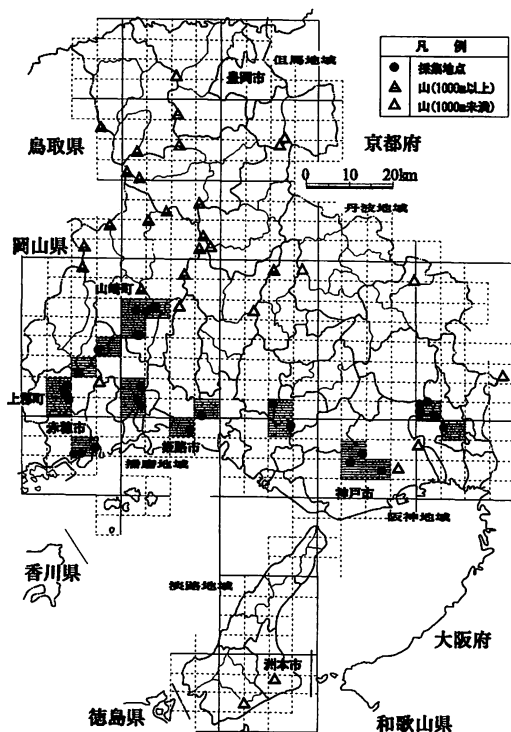
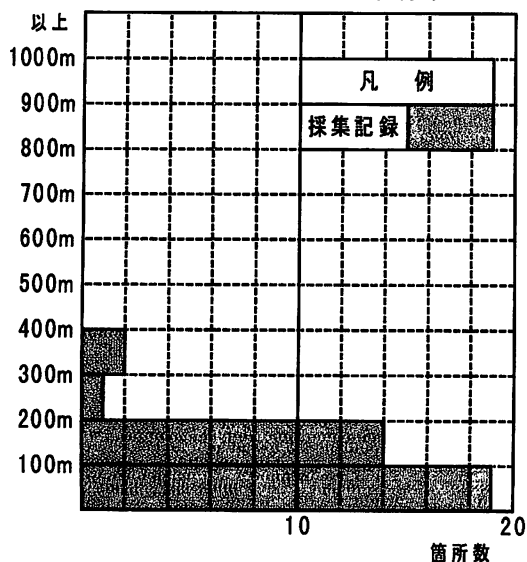


図9 クロツバメシジミの分布

表9 クロツバメシジミの垂直分布



神戸市北区道場町水久野

3♂4♀, 7-X-1962 尾崎 勇 17)

” ” ” 鎌倉峽

- 1 ♀, 6-IX-1970 小路嘉明 3)
- ” ” ” 千川水源地
- 1 ♂, 22-IX-1984 西田 正 3)
- ” ” ” 道場駅～浄水場
- 1 ex., 12-IX-1971 小路嘉明 3)
- ” ” ” 生野
- 3 exs., 22-X-1978 近藤伸一
- ” ” 衛原 多数, 1978年以前 青木陽一 24)
- ” ” 山田町小部
- 2 ♂, 18-IX-1969 青木陽一 18)
- ” 西区押部谷木津
- 1 ♀, 18-IX-1969 青木陽一 24)
- 小野市黍田町 1 ♂, 29-VI-1957 山本広一 17)
- ” ” ミノ谷 20)
- 加西市網引 1 ♀, 5-V-1967 尾崎 勇 17)
- 姫路市城東町竹ノ門 1 ♂, 30-VIII-1976 黒田 収 17)
- ” 亀山 5 ♂ 4 ♀, 28-X-1970 木村三郎 17)
- 新宮町北村 1 ♂, 13-VIII-1989 石井為久 21)
- 龍野市富永 1 ♂, 20-XI-1977 広畑政巳 17)
- ” 大手 4 ♂ 1 ♀, 10-V-1977 広畑政巳 17)
- ” 中震城 5 exs., 4-XI-1989 15)
- ” 下河原 8 exs., 22-X-1992 15)
- ” 本町 12exs., 18-X-1992 15)
- ” 龍野町 11exs., 18-X-1992
- 山崎町梯 1 ♂ (羽化), 13-VI-1971 木村三郎 17)
- ” 最上山 1 ex., 30-VII-1953 松井俊公 17)
- ” 山崎 1 ex., 30-VII-1953 松井俊公 17)
- ” 木ノ谷 2 ♂ 1 ♀, 15-VII-1978 石井為久 19)
- ” 与位 1 ♀ (羽化), 2-IX-1978 広畑政巳 17)
- 一宮町高吹 1 ♂ (羽化), 18-IX-1978 広畑政巳 17)
- 赤穂市加里屋 2 ♂, 9-X-1977 広畑政巳 17)
- ” 春日 1 ♂, 29-VI-1975 岩村 巖 17)
- ” 坂越 20)
- 上郡町鍋倉 1 ♂, 1-V-1966 唐土洋一 17)
- ” 柏野 5 ♂ 1 ♀, 5-V-1978 広畑政巳 17)
- ” 上郡 1 ♂ 1 ♀, 9-X-1979 石井為久 19)
- ” 苔縄 20)
- ” 大枝 数卵, 9-IX-1991 15)
- 三日月町三日月 1 ♂, 5-V-1978 広利雅美 17)

参考文献

1. 木下賢司・近藤伸一・大東康人・永幡嘉之 (1996) 但馬地域の産蝶目録Ⅱ, IRATSUME(20): 66-86.
2. 木下賢司・前平照雄・福井丈嗣 (1986) 但馬地域の蝶類目録, IRATSUME(10): 55-95.

3. 大阪昆虫同好会 (1989) 北摂の蝶, 大阪昆虫同好会 (宝塚市) .
4. 環境庁 (1980) 日本の重要な昆虫類 .
5. 山崎哲郎 (1993) 西日本のキマダラルリツバメ (2) 兵庫県, 蝶研フィールド8(11): 11-21.
6. 広畑政巳 (1980) 兵庫県のシルビアシジミ, てんとうむし(6): 5-9.
7. 石井為久 (1982) シルビアシジミの新産地, てんとうむし(8): 56.
8. 松崎隆他 (1997) 1993~1996年キマダラルリツバメ採集記録, 緑蝶(7): 26-27.
9. 山本広一 (1965) 1964年夏の理科作品展に拾った2~3の蝶とその分布について, 兵庫生物 5(1): 47-48.
10. 稲田和久・松本勝由 (1980) 校区内の蝶相 京見山の自然, 姫路フィールドサイエンスクラブ第3集.
11. 鎌田邦彦 (1987) キマダラルリツバメ44産地, SPINDA NOUV(2): 51-59.
12. 黒井和之 (1990) この夏の情報コーナー, 混蟲ずかん(26): 2-3.
13. 広畑政巳 (1987) 兵庫県産蝶類分布資料 (4), てんとうむし(10): 11-22.
14. 米谷敦子 (1992) 兵庫県宝塚市でクロツバメシジミを採集, 蝶研フィールド7(9): 20.
15. 蝶研出版編集部 (1999) CD-ROM蝶類採集情報 '89-'98, 蝶研出版
16. 法西 浩 (1999) 兵庫県西宮市でクロツバメシジミを採集, 蝶研フィールド14(2): 25.
17. 広畑政巳 (1979) 兵庫県のクロツバメシジミ, ひろおび(4): 10-14.
18. 浜 祥明 (1973) クロツバメシジミの新産地, 月刊むし(22): 32.
19. 広畑政巳 (1980) 兵庫県における蝶5種の新産地, てんとうむし(6): 30.
20. 小路嘉明 (1990) 保存版全国クロツバメシジミ産地一覧表, 蝶研サロン(35): 12-16.
21. 石井為久 (1993) 兵庫県新宮町でクロツバメシジミを採集, 蝶研フィールド8(12): 27.
22. 仲田元亮 (1980) 能勢の昆虫その後 (3), きべりはむし8(1): 15-16.
23. 小林克行 (1995) 北摂の蝶・注目種の記録, crude(40): 3-5.
24. 青木陽一 (1997) 神戸市の蝶, 蝶研フィールド12(5): 4-12.
25. 広畑政巳 (1984) 兵庫県における蝶数種の新産地, てんとうむし(9): 45.
26. 杠 隆史 (1998) 神戸市北区のシルビアシジミの状況 98年前半, のせ27(8): 4.
27. 勝屋 潤 (1984) 嗚呼舞子ビラーシルビアシジミの産地消滅, きべりはむし12(1): 31.
28. 猪俣涼一・岡本 清 (1960) 多可・西脇地方の昆虫 (蝶類), 兵庫生物 4(1): 24-28.
29. 新家 勝 (1988) 宝塚市におけるシジミチョウ2種の採集記録, きべりはむし16(1): 12.
30. 山下剛史 (1994) 神戸市近郊における注目すべき蝶5種の記録, 遊蟲千年(特別号): 36-37.
31. 菊地宏美 (1992) 淡路島での蝶の採集, PARNASSIUS (38): 1-6.
32. 杠 隆史 (1996) 地元のシルビア採集記録, のせ25(8): 2.
33. 永幡嘉之 (1993) 三木市内における蝶の採集記録, きべりはむし 21(1): 10-22.
34. 京都大学蝶類研究会 (1988) 日本産蝶類239種類の記録 (下), SPINDA NOUV(3): 2-51.
35. 黒井和之 (1992) 但馬におけるクロシジミの分布, IRATSUME(15/16): 41-44.
36. 唐土洋一 (1994) 兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現状 (その1), 遊蟲千年(特別号): 32-35.
37. 唐土洋一 (1995) 兵庫県南西部におけるムラサキツバメの現状 (その2), 遊蟲千年(2): 32-34.
38. 山岡万寿夫 (1996) 神戸市のムラサキツバメとイシガケチョウの記録, 蝶研フィールド11(3): 26.
39. 堀田 久 (1974) 淡路島産蝶類追加 (1), PARNASSIUS (12): 4.
40. 松野 宏・小野克己 (1994) 淡路島でヤクシマルリシジミの発生を確認, 蝶研フィールド9(5): 27.
41. 松野 宏・小野克己 (1996) 徳島県及び淡路島のヤクシマルリシジミ, 蝶研フィールド11(3): 18-19.
42. 山本広一 (1968) 兵庫県下の注目すべき数種の蝶, MDK NEWS 20(2): 15-18.
43. 勝屋 潤 (1969) 西宮市岡田山でサツマシジミ, ミMDK NEWS21(2): 26-27.
44. 遠山 豊 (1980) 神戸市高取山でサツマシジミ1♀採集, Natura Study26(6): 6.
45. 加地早苗 (1940) 最近六甲連山の蝶類目録, 昆虫界8(77): 452.
46. 中尾淳三 (1959) 氷ノ山付近の蝶相, Natura(16): 15-23.
47. 辻 啓介 (1972) 氷ノ山の蝶2種, 月刊むし(11): 39.

48. 吉富章雄 (1983) 小代溪谷にてカラスシジミを採集, IRATSUME(7): 25.
49. 足立義弘 (1983) 幻のカラスシジミ, IRATSUME(7): 26.
50. 但馬むしの会 (1984) 鉢北でカラスシジミ多数採集される, 混蟲ずかん(7): 1.
51. 山崎哲郎 (1997) 西日本のキマダラルリツバメ(6), 蝶研フィールド12(12): 4-10.
52. 山崎哲郎 (1986) キマダラルリツバメの発生樹種についての記録, 蝶研フィールド1(5): 33.
53. 中邨 徹 (1988) シルビアシジミの1食草, 蝶研フィールド(7): 40.
54. 宝塚市教育委員会 (1992) 宝塚市の昆虫1.
55. 福田晴夫ほか (1984) 原色日本蝶類生態図鑑Ⅲ, 保育社. 大阪.

《 IRATSUME 25号の原稿募集 》

IRATSUMEも、今回は節目となる25号です。

そして、21世紀へ第一歩を印す記念号にもなります。

2001年5月の発行に向けて、原稿を大募集します。

今シーズンの最新成果をはじめ、

フィールドノートや標本箱に眠ったままになっている未発表データを、

どんどんお寄せください。

各昆虫のデータのまとめや生態観察記はもちろん、採集記や短報も歓迎します。

また、25号は記念号ということで、

“思い出の虫”や“懐かしの採集地”といった、

過去の但馬のフィールドや虫の様子を彷彿とさせるような

内容のエッセイも取り上げる予定です。

できれば写真付きで、懐かしい情景が蘇る原稿を募集します。

きっと貴重な20世紀の記録になるはずです。

25号はこれ以外にも、通常号に比べて、

より広範な内容の原稿を扱いたいと考えています。

バラエティーに富んだ、皆さんからの原稿をお待ちしています。

原稿執筆に際しては、必ず投稿規定をお読みください。

なお、別刷は有料で、50部単位で作成できます。

希望者は、投稿時に部数とあわせてご連絡ください。

原稿の締切は、2001年2月末です。

送付先・問合せ先は、〒567-0892 茨木市並木町22-3-203, 谷角素彦まで。

兵庫県のハムシ(4)

(兵庫県甲虫相資料・363)

高橋 寿郎[†]

Subfamily Galerucinae ヒゲナガハムシ亜科

Genus *Agelasa* Motschulsky

109. *Agelasa nigriceps* Motschulsky, 1860

キクピアオハムシ

Motschulskyが日本産に基づき1860年に記載した種である。年1化で、成虫で越冬する。越冬成虫は6~7月、幼虫は7~8月、そして新成虫は9~10月にかけて見られる。食草はヤマナシ、ヤマブドウなど。

兵庫県下には広く分布していると思われるが、どちらかといえば中央部より北に多い。

産地：宝塚市切畑字長尾山〔小田中・水野, 1993〕。神戸市摩耶山 (2exs., 14-VIII-1955), 御影 (1ex., 27-V-1958), 北区山田町芦谷溪谷 (1ex., 13-IV-1982)。朝来郡朝来町須留ヶ峰 (1ex., 5-VI-1975, M. Yuma leg.), 和田山町糸井溪谷〔上田, 1996〕。神崎郡橋ヶ原〔木元・日浦, 1965〕, 大河内町川上 (5exs., 7-V-1977, etc.)。宍粟郡一宮町福知溪谷 (2exs., 3-VI-1975, M. Yuma leg.), 波賀町音水〔木元・日浦, 1965〕 (3exs., 10-V-1970, etc.), 赤西 (1ex., 9-IX-1978), 坂の谷 (4exs., 9-VI-1973)。氷上郡青垣町栗鹿峰, 三尾山〔山本, 1953〕, 柏原町 (1ex., 10-V-1953)。出石郡但東町奥赤〔高橋, 1975〕。城崎郡日高町万場〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山〔高橋, 1975, 上田, 1996〕。美方郡村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕, 温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 高橋, 1975, 磯野, 1985〕。

Genus *Agelastica* Chevrolat

110. *Agelastica coerulea* Baly, 1874 ハンノキハムシ

Balyが“Yokohama”産に基づき記載した (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874: 188)。

食草はハンノキ, リンゴ, カンパ類などが知られている。1年1世代で、低地では4月下旬から6月中旬にかけて、成虫がハンノキ類に見られる。夏から秋にかけての成虫の採集例は山地帯に多い。幼虫が多数発生して林業害虫とされることがあるため、生活史に関する報告も多い。

兵庫県にも広く分布しており、よく知られているハムシである。

産地：津名郡淡路町岩屋 (1ex., 26-IV-1959)。川辺郡猪名川町木間生〔仲田, 1978, 1982〕。川西市一の鳥居〔木元・日浦, 1965〕。宝塚市室山寺〔木元・日浦, 1971〕, 玉瀬, 上佐曾利〔小田中・水野, 1993〕。西宮市盤滝 (5exs., 22-V-1987)。神戸市兵庫区鳥原 (1ex., 25-IV-1935), 北区山の街 (3exs., 3-V-1941, etc.), 山田町谷上 (8exs., 29-IV-1958), 山田町箕谷 (2exs., 30-V-1943, etc.), 山田町金剛童子山 (1ex., 24-VI-1950), 八多町芦谷溪谷 (2exs., 11-VI-1982), 八多町屏風 (5exs., 6-V-1993, etc.), 藍那 (1ex., 8-VII-1978), 須磨区多井畑 (4exs., 2-VIII-1941), 長待山 (4exs., 7-V-1982), 妙法寺 (1ex., 26-VII-1978, etc.), 西区押部谷町木津 (5exs., 30-V-1984), 伊川谷町前開 (2exs., 13-V-1988), 垂水区垂水 (12exs., 10-V-1985)。美囊郡吉川町 (1ex., 6-VI-1965)。三木市大村 (2exs., 10-V-1990)。小野市来住町 (4exs., 30-V-1991)。加東郡東条町森 (6exs., 29-IV-1984, etc.), 社町三草 (3exs., 7-V-1987, etc.)。神崎郡大河内町川上 (2exs., 7-V-1977, etc.)。多可郡加美町鳥羽 (1ex., 8-V-1976)。竜野市神岡町 (2exs., 26-V-1988)。揖保郡新宮町福原 (1ex., 15-VI-1992)。宍粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 3-VI-1975, M. Yuma leg.), 波賀町音水 (1ex., 11-VIII-1958, etc.), 赤西 (1ex., 27-V-1979)。多紀郡篠山町 (1ex., 17-IV-1976)。氷上郡春日町黒井〔山本, 1953, 1958〕。出石郡但東町〔高橋, 1963〕。豊岡市三宅〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 25-VII-1955, etc.)〔上田, 1996〕, 鉢伏山〔高橋, 1975〕, 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕。美方郡村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕, 浜坂町久斗山〔磯野, 1985〕。

Genus *Apophyllia* Duponchel & Chevrolat

111. *Apophyllia viridipennis* (Jacoby, 1895)

アオバホソハムシ

Jacobyが“Japan”を産地に *Galerucella viridipennis* として記載した種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:

744, pl.46, fig. 9) .

日本の本州にのみ分布が知られている種であり、木元 (1984) には中部地方産が示されている。

兵庫県下には次の記録がある。

産地：氷上郡青垣町栗鹿峰〔山本, 1953〕。養父郡大屋町杉ヶ沢〔磯野, 1985〕, 関宮町鉢伏山〔高橋, 1975〕。

Genus *Arthrotus* Motschulsky

112. *Arthrotus niger* Motschulsky, 1857

ムナグロツヤハムシ

GaschkevitchがSimodaで採集したものを基準標本として、Motschulskyが記載した (Etud. Ent. 6: 39, 1857) .

Balyは、Lewisが“Nagasaki, Yokohama, Hiogo”産で *Arthrotus variabilis* として記載した (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874: 183) が、本種の異名となる。さらに松村松年博士が“Kioto, Binomori”産で記載した *Luperodes suzuki* も、本種の異名となる (Ins. Mats., Vol.9, p.63, 1936) .

D. A. Ogloblinは“Simoda, Kioto, Nagasaki, Yokohama”のほかに、Zhenznouristが“Nikko”で採集したもの、Albrechtが“Hakodate”で採集したものを記録している (Fauna de l'URSS Ins. Col. XXVI, I: Chrysomelidae, Galerucinae, pp.330-331&438, Fig.136, 1936) .

この種は頭部、体腹面は黒色、体背面の色彩・斑紋の変異が多く、全体が黄褐色あるいは赤褐色のもの、赤褐色の地色に大小の黒色紋を装うもの、全体黒色のものがある。触角・肢の色彩も変異が多く、黄褐色、赤褐色、暗褐色、黒色など、さまざまな程度に変化する。食草としてハンノキ、クワ、イタヤカエデなどが知られている。年1化で、成虫で越冬し、5月頃に産卵を始める。成虫は4~10月に見られる。

分布は日本全国 (北海道、本州、佐渡、四国、九州、平戸島)。兵庫県下には広く分布し、ごく普通に見ることができる。

産地：津名郡淡路町岩屋 (2exs., 3-V-1969)。三原郡論鶴羽山〔大野, 1969, 久松, 1974〕。川辺郡猪名川町木間生〔仲田, 1978, 1982〕。川西市大和、横地、笹部〔仲田, 1978, 1982〕, 多田 (1ex., 18-V-1952)。宝塚市武田尾 (1ex., 25-VII-1954), 玉瀬, 香合新田〔小田中・水野, 1993〕。西宮市船坂 (1ex., 21-V-1987, etc.), 盤滝 (1ex., 10-VI-1987, etc.)。Hiogo〔Lewis, 1874〕。神戸市六甲山 (4exs., 8-V-1955, etc.), 摩耶山 (3exs., 27-V-1953, etc.), 中央区二十番 (2exs., 26-VI-1955), 兵庫区鳥原 (1ex., 20-VII-1941, etc.), 北区山田町箕谷

(1ex., 30-V-1943), 山田町金剛童子山 (6exs., 24-VI-1956), 山田町丹生山 (4exs., 15-V-1955, etc.), 山田町谷上 (8exs., 3-V-1957, etc.), 八多町屏風 (1ex., 22-VII-1993), 八多町芦谷溪谷 (2exs., 5-VI-1982, etc.), 有野町逢山峡 (2exs., 2-VIII-1982, etc.), 西区伊川谷町前開 (1ex., 2-VIII-1988)。三木市口吉川町笹原 (1ex., 3-VII-1987), 口吉川町 (1ex., 4-IX-1986)。加東郡東条町森 (3exs., 4-VII-1984), 社町三草 (1ex., 15-V-1957, etc.)。多可郡加美町三谷 (2exs., 24-V-1975, etc.), 市原 (1ex., 24-IX-1972), 鳥羽 (2exs., 29-IV-1972, etc.)。神崎郡笠形山 (2exs., 12-VI-1975), 大河内町川上~砥峰 alt.550m~830m〔木元・日浦, 1971〕 (4exs., 7-V-1977, etc.)。三田市永沢寺 (1ex., 3-VI-1978)。揖保郡新宮町福原 (3exs., 15-V-1992, etc.)。相生市三濃山〔大野, 1967〕 (2exs., 3-V-1969, etc.)。佐用郡南光町船越山〔木元・日浦, 1965〕。栗粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 3-VII-1975, M. Yuma leg., etc.)。波賀町水谷 (3exs., 17-VII-1961), 上野〔相坂, 1995〕, 音水 (5exs., 20-VI-1959, etc.), 坂の谷 (1ex., 9-VI-1993)。多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕, 柏原町 (1ex., 10-V-1953), 山南町 (1ex., 5-VII-1990, etc.)。朝来郡生野町 (2exs., 8-VII-1956), 須留ヶ峰 (2exs., 9-VI-1975, M. Yuma leg.)。和田山町枚田, 枚田岡〔上田, 1996〕。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。城崎郡日高町奈佐路 (3exs., 22-V-1986, etc.)。竹野町三原, 日高町三川山〔上田, 1996〕。養父郡関宮町大久保~氷ノ山〔木元・日浦, 1971〕, 氷ノ山 (5exs., 2-VII-1953, etc.)〔高橋, 1975, 上田, 1996〕, 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕, 大屋町〔磯野, 1985〕。美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田, 1972, 高橋, 1975, 上田, 1996〕, 村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕, 村岡町兎和野〔磯野, 1985〕, 浜坂町味原, 宇都野神社, 護国神社, 城山〔磯野, 1985〕。

Genus *Atrachya* Dejean

113. *Atrachya menetriesi* (Faldernann, 1835)

ウリハムシモドキ

中国北部からFaldernannが *Galerca menetriesi* Fald.と記載した種である (Acad. St. Pterburg. Mem. 2:439, pl.5, f.7, 1835)。MotschulskyがDauria, Amur産で記載した *Luperodes nigripennis*, *Luperodes praeaeustus* は、共に本種のことである (Schrenck's Reisen Amurl, 2:232, pl.11, f.18, 19, 1860)。

日本からは、Balyが“Japan”を産地として *Iphidea diserepans* を記載した (Ent. Month. Mag. 2:127, 1865)

が、これも本種と同じものである。

上翅は変異に富み、全体が黒色のものから、基部が黄褐色のもの、周辺部と肩部を除いて黄褐色になるものなどがある。前胸背板は赤褐色、頭部は黒褐色。体腹面は黒色、触角も黒色で、基部2・3節は黄褐色、肢は一般に黒褐色、腿節末端部、脛節基部は黄褐色。

多食性で、食草はマメ類、サトウダイコン、ハッカ、マメ科牧草、材木の苗木など極めて広い。

分布も広く、日本全国、朝鮮半島、サハリン、シベリア、中国に産する。兵庫県下にも広く分布する。

産地：川西市一の鳥居〔仲田, 1970, 1982, 木元, 日浦, 1965〕, 妙見山〔仲田, 1970, 1978, 1982〕。神戸市兵庫区鳥原 (lex., 17-V-1937, etc.), 北区藍那 (lex., 19-VI-1978), 有野町逢山峡 (lex., 7-VII-1987), 八多町屏風 (lex., 2-IX-1993)。三木市口吉川町笹原 (lex., 3-X-1986)。美囊郡吉川町 (4exs., 27-VIII-1985, etc.)。小野市来住町 (lex., 30-V-1991)。加東郡東条町森 (lex., 22-VI-1984, etc.)。多可郡加美町三谷 (2exs., 13-VII-1975, etc.), 鳥羽 (Sexs., 5-VII-1975)。朝来郡生野町 (2exs., 8-VII-1956)。神崎郡大河内町川上 (lex., 18-VI-1977, etc.)。相生市三濃山〔大野, 1967〕。揖保郡新宮町福原 (2exs., 22-VI-1992, etc.)。宍粟郡波賀町水谷 (lex., 18-VII-1982), 音水 (3exs., 20-VI-1959, etc.)。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。出石郡出石町水上〔高橋, 1963〕。豊岡市目坂〔上田, 1996〕。城崎郡日高町大岡山, 上郷, 香住町佐津〔上田, 1996〕, 日高町蘇武岳〔高橋, 1975〕。養父郡関宮町氷ノ山 (lex., 12-VII-1955, etc.)〔上田, 1996〕, 鉢伏山〔高橋, 1975〕。美方郡村岡町鉢北高原〔上田, 1996〕, 温泉町湯村 (lex., 27-VII-1952)。扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 磯野, 1985〕, 浜坂町味原〔磯野, 1985〕。

Genus *Aulacophora* Chevrolat

114. *Aulacophora indica* (Gmelin, 1790) ウリハムシ

本種の学名には従来、Motschulskyが日本から記載した *Raphidopalpa femoralis* Motschulsky (Etud. Ent. 6, p.37, 1857) を、*Aulacophora* 属の下で用いていたが、木元新作博士は1994年出版の“日本山ハムシ類幼虫・成虫分類図説”のなかで、“*Indica*”から記載された *Crioceris indica* Gmelin (1790ed. Linnaeus, Syst. Nat., ed.13, 1, 4, p.170) を、上記の属名のものとして、本種にあてるべきだとした。

頭部・前胸腹面は赤褐色、腹部は黒色で、ウリ類の害虫としてよく知られている。分布は大変広く、日本全国、朝鮮半島、台湾、中国、南～東南アジア、オセ

アニアに及ぶ。

兵庫県下にも極めて普通に見られ、多くの個体が群れている場面を目にする機会が多い。

産地：津名郡淡路町岩屋 (lex., 24-V-1942), 愛宕山〔大野, 1969〕, 津名町佐野〔堀田, 1959〕。洲本市先山〔大野, 1969, 酒井, 1993〕。三原郡諭鶴羽山〔大野, 1969〕, 福原〔酒井, 1993〕, 三原町八木養宣〔藤富, 1995〕。川辺郡猪名川町上阿古谷 (仲田, 1970, 1982)。川西市大和, 笹部〔仲田, 1978, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市売布が丘, 香合新田, 東洋町〔水野, 1993〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 中央区布引 (lex., 20-VII-1952), 兵庫区鳥原 (2exs., 16-IV-1939, etc.), 北区山の街 (lex., 5-V-1954, etc.), 山田町箕谷 (lex., 11-V-1952), 藍那 (lex., 19-VI-1978, etc.), 八多町屏風 (lex., 12-V-1993, etc.), 西区押部谷町木見 (lex., 3-VIII-1980), 押部谷町木津 (lex., 30-V-1984, etc.), 伊川谷町前開 (lex., 13-V-1988, etc.), 須磨区妙法寺 (lex., 19-IX-1978), 須磨〔戸沢, 1936〕, 鉢伏山 (lex., 9-VII-1975), 多井畑 (lex., 23-V-1990), 石井ダム (lex., 3-X-1991, etc.)。三田市 (lex., 21-IX-1941)。三木市細川町細川中 (lex., 30-V-1985), 口吉川町 (lex., 4-IX-1986)。美囊郡吉川町奥山 (lex., 8-V-1986)。小野市山田町 (lex., 16-V-1987, etc.), 来住町 (lex., 30-V-1991, etc.)。加東郡東条町森 (lex., 29-IV-1984), 社町三草 (lex., 7-V-1987)。多可郡加美町三谷 (lex., 15-IX-1974, etc.)。神崎郡笠形山 (lex., 12-VI-1975), 大河内町川上 (lex., 7-V-1977, etc.), 神崎郡大山村 (2exs., 4-IX-1955)。朝来郡和田山町枚田岡〔上田, 1996〕。飾磨郡家島町家島 (lex., 26-V-1978)〔上田, 1981〕。龍野市神岡町 (lex., 19-V-1988, etc.)。揖保郡新宮町福原 (lex., 15-VII-1993)。佐用郡上月町 (lex., 3-V-1952)。相生市三濃山〔大野, 1967〕 (lex., 3-V-1969)。赤穂郡大和 (lex., 6-X-1974)。宍粟郡音水 (lex., 16-VII-1972, etc.)。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。豊岡市〔高橋, 1975〕。城崎郡日高町上郷, 香住町佐津, 香住町隼人〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 2-VIII-1953, etc.)。美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田, 1972, 高橋, 1975〕, 浜坂町〔磯野, 1985〕。

115. *Aulacophora nigripennis* Motschulsky, 1857

クロウリハムシ

Motschulskyが“Japan”産で記載した種である (Etud. Ent. 6:38, 1857)。

体形はウリハムシによく似ている。頭部, 前胸背板,

腹部は黄褐色，上翅，中胸および後胸腹面は黒色。触角・肢は黒色である。

ウリ類の害虫として知られている。分布は広いが，南アフリカや東南アジア，オセアニアには及んでいない。

兵庫県下にも広く分布している。

産地：津名郡淡路町岩屋 (1ex., 23-V-1948)，妙見山〔堀田，1959〕，愛宕山〔大野，1969〕，津名町常隆寺山〔酒井，1973，堀田，1992〕，洲本市先山〔大野，1969，酒井，1973，堀田，1976〕，鮎屋〔大野，1967〕，三原郡諭鶴羽山〔大野，1967〕，福原，灘〔酒井，1973〕，大日ダム〔堀田，1978〕，沼島〔楠井，1992〕，川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田，1978，1982〕，川西市笹部，大和，見野〔仲田，1978，1982〕，多田 (1ex., 4-VIII-1941, etc.)，伊丹市〔河上，1984〕，尼崎市西南部〔新家，1992〕，宝塚市玉瀬，上佐曾利〔水野，1993〕，西宮市船坂 (1ex., 21-V-1987, etc.)，盤滝 (1ex., 29-V-1987, etc.)，神戸市御影〔関，1933〕，布引 (2exs., 20-VII-1952)，兵庫区烏原 (3exs., 2-VI-1939, etc.)，北区山の街 (1ex., 17-V-1953, etc.)，山田町箕谷 (1ex., 13-V-1948, etc.)，藍那 (1ex., 10-VI-1978, etc.)，西区伊川谷町前開 (1ex., 13-V-1988, etc.)，須磨区多井畑 (1ex., 19-VI-1990, etc.)，石井ダム (2exs., 18-X-1981)，三木市細川中 (1ex., 13-IX-1985)，大村 (1ex., 10-V-1990)，小野市山田町 (1ex., 8-VII-1987)，飾磨郡夢前町雪彦山 (1ex., 14-VII-1957)，家島町家島〔上田，1981〕，加東郡社町三草 (1ex., 22-V-1989)，多可郡加美町三谷 (1ex., 2-VII-1975)，鳥羽 (1ex., 5-VII-1975)，神崎郡大河内町川上 (2exs., 4-VI-1977, etc.)，龍野市神岡町 (2exs., 25-V-1988, etc.)，揖保郡新宮町福原 (3exs., 15-V-1992)，相生市三濃山〔大野，1967〕，宍粟郡波賀町音水 (2exs., 20-VII-1959, etc.)，赤西 (1ex., 5-IX-1978)，氷上郡〔山本，1953，1958〕，山南町 (1ex., 5-VII-1990)，出石郡出石町〔高橋，1963〕，出石町森井〔上田，1996〕，豊岡市愛宕山〔高橋，1975〕，城崎郡日高町上郷，竹野町竹野〔上田，1996〕，養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 2-VII-1953, etc.)，美方郡温泉町湯村 (3exs., 27-VII-1952)，扇ノ山〔辻，1963，辻・岸田，1972〕，村岡町兎和野〔磯野，1985〕，浜坂町宇都野神社，護国神社〔磯野，1985〕。

Genus *Calomicrus* Stephens

116. *Calomicrus cyaneus* (Jacoby, 1885)

ハラグロヒメハムシ

Jacobyにより“Japan”産に基づき *Monolepta cyanea*

Jacobyとして記載された種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:748)。Fleischerが“Japan, Harima”産で記載した *Lupers (Calomicrus) japonicus* は，本種のことである (Ent. Ztg. 35:233, 1916)。

体背面は黒青色。体腹面，頭部，触角，肢は黒色。触角は比較的幅広く，末端節近くでは長さは幅の約2倍。体長3.0-3.8mm。食草はボタンヅル・センニンソウ。分布は本州，四国，九州である。

兵庫県下にもかなり広く産すると思われる。

産地：津名郡淡路町岩屋 (1ex., 25-IV-1954)，愛宕山〔大野，1969〕，三原郡諭鶴羽山，成相峠〔大野，1969〕，洲本市先山，鮎屋〔大野，1969〕，川西市笹部〔仲田，1978，1982〕，神戸市六甲山 (2exs., 10-VII-1955)，摩耶山 (2exs., 14-VIII-1955)，兵庫区烏原 (1ex., 25-IV-1954, etc.)，北区山田町金剛童子山 (3exs., 24-V-1956)，山田町谷上 (2exs., 7-V-1961)，山田町丹生山 (2exs., 18-V-1958)，山田町箕谷 (1ex., 30-V-1943)，八多町屏風 (5exs., 4-VI-1993, etc.)，西区太山寺 (1ex., 16-V-1957)，三田市内 (1ex., 1-IX-1941)，播磨〔Fleischer, 1916〕，飾磨郡夢前町雪彦山 (1ex., 14-VII-1967)，神崎郡笠形山 (1ex., 12-VI-1975)，大河内町川上〔木元・日浦，1971〕 (1ex., 3-IX-1977)，多可郡加美町白山 (1ex., 3-V-1973)，鳥羽 (2exs., 5-VII-1975)，三谷 (1ex., 4-IX-1976)，揖保郡新宮町福原 (3exs., 10-VI-1992, etc.)，相生市三濃山〔大野，1967〕 (11exs., 7-V-1969, etc.)，宍粟郡波賀町音水 (2exs., 20-VII-1959, etc.)，坂の谷 (2exs., 6-IX-1973)，多紀郡篠山町 (1ex., 17-IV-1976)，雨石山〔林ほか，1995〕，氷上郡神楽村 (現青垣町)〔山本，1953〕，養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 24-VII-1955)，美方郡温泉町扇ノ山〔高橋，1975〕，浜坂町宇都野神社，護国神社〔磯野，1985〕。

117. *Calomicrus noby* Chûjô, 1954

オオルリヒメハムシ

中條道夫博士が，四国の徳島県剣山 (Tsurugi-san) 産の標本に基づき，記載した種である (Shikoku Ent. Trans. 4(4):55, fig.2, 1954)。

体背面は黒青色，体腹面，頭部，触角，肢は黒色。触角は細長く，末端節近くでは，長さは幅の約3倍。前種ハラグロヒメハムシに似るが，体長はより大きく，4.8-6.0mm。食草はボタンヅルで，分布は本州，四国，九州である。

兵庫県下での分布は広いと思われるが，記録は意外に少ない。

産地：神戸市六甲山 (1ex., 29-IV-1966), 兵庫区烏原 (2exs., 10-VI-1966), 北区藍那 (1ex., 21-VI-1993, etc.), 山の街 (1ex., 5-V-1955), 八多町屏風 (3exs., 4-VI-1993), 三田市内 (1ex., 1-IX-1941), 加西市畑 (2exs., 23-VI-1974), 神崎郡大河内町川上 (2exs., 7-V-1977), 揖保郡新宮町福原 (3exs., 10-VI-1992), 相生市三濃山 (1ex., 20-V-1973, etc.), 宍粟郡波賀町音水 (3exs., 11-VI-1972)。

Genus *Chujoa* Gressit & Kimoto, 1963

118. *Chujoa uetsukii* (Chûjô, 1954)

ウエツキブナハムシ

中條道夫博士が, “Chuka-mura in Okayama Pref.” 産標本をもとに, *Atya uetsukii* として記載した種である (Mushi, Vol.26, No.1, p.2, pl.1, f.1, 1954)。のちに Gressit・木元新作両博士は, 本種をタイプに新属 *Chujoa* を創設した (Pac. Ins. Mon. 1B, p.437, 1963)。

日本の特産種であり, プナの害虫として知られている。兵庫県下では扇ノ山からの記録があるのみだが, プナが分布する地域, たとえば氷ノ山あたりにもおそらく産することが予想される。

産地：美方郡温泉町扇ノ山 [磯野, 1985]。

Genus *Clerotilia* Jacoby

119. *Clerotilia flavomarginata* Jacoby, 1885

キアシヒゲナガアオハムシ

Lewis の 2 度目の日本での採集旅行 (1880-1881) における “Tsumago, Nara” 産の個体をもとに, *Clerotilia flavomarginata* として, 図をつけて記載された種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:751, pl.46, f.12)。

前胸背板は赤褐色～暗褐色, 上翅は青緑色で赤褐色の光沢を装い, 周辺部は赤褐色, 体腹面は暗褐色。触角は暗褐色～黒色で, 肢は赤褐色。食草としてネコノチチ, クマヤナギなどが知られている。分布は本州, 四国, 九州, 中国である。

兵庫県下には広く分布していると思われるが, 意外に記録は少ない。播磨平野では, 比較的その姿を見ることが出来る。

産地：川西市東畦野花折橋付近 [仲田, 1979, 1982], 能勢妙見山 (6exs., 30-VII-1982), 宝塚市切畑 [小田中・水野, 1993], 三木市口吉川町 (4exs., 3-IX-1986), 小野市山田町 (1ex., 22-VII-1987), 加東郡社町三草 (12exs., 24-VI-1987, etc.), 龍野市神岡町 (5exs., 21-VII-1988), 氷上郡柏原町 [山本, 1953], 出石郡出石町 [高橋, 1963]。

Genus *Cneorane* Baly

120. *Cneorane elegans* Baly, 1894 キムネアオハムシ
Baly が “Nagasaki” 産に基づき記載した種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874: 182)。

上翅は緑青色, 小楯板は黒色, 前胸背板, 頭部は赤褐色。体腹面は黒色で, 中胸腹板は赤褐色。触角は黒色で, 基部数節は赤褐色。肢は一般に赤褐色で, ふ節・後肢腿節は緑青色。食草として, ヤマハギが知られる。分布は本州, 四国, 九州である。

兵庫県下における記録は非常に少ない。これはおそらく調査不足のためで, 実際には各地に分布しているのではないかと考えられる。

産地：神崎郡大河内町川上 (1ex., 2-VII-1977), 氷上郡青垣町粟鹿峰 [山本, 1953]。

Genus *Exosoma* Jacoby

121. *Exosoma akkoae* (Chûjô, 1954)

ハマダラヒメハムシ

中條道夫博士により, 山形県東根市, 福岡県英彦山, 大阪府妙見山, 和歌山県高野山, 徳島県剣山, 香川県大滝山, 長野県上高地, 愛知県蒲生村・茶臼山などの産地のものを cotype として, *Calomicrus akkoae* として記載された種である (Trans. Shikoku Ent. Soc. Vol.4, Fig.1, pp.53-55, 1954)。木元新作博士は 1965 年, これを *Exosoma* 属に移した (Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ. Vol.13, No.3, pp.380-382)。

一般に黒青色, 腹部は一般に黄褐色で, 部分的に黒褐色。キバラヒメハムシに似るが, 細型で, ♂交尾器の形状が異なる。分布は本州, 四国, 九州, 台湾。

兵庫県下にも広く分布している。

産地：神戸市六甲山 (1ex., 8-V-1955), 摩耶山 (3exs., 14-VII-1955), 兵庫区烏原 (3exs., 5-VI-1943, etc.), 北区山田町金剛童子山 (5exs., 24-VI-1956), 山田町丹生山 (1ex., 15-V-1955, etc.), 藍那 (3exs., 3-VI-1978, etc.), 西区太山寺 (6-V-1957), 須磨区妙法寺 (1ex., 23-V-1979), 飾磨郡夢前町雪彦山 (8exs., 14-VII-1957), 多可郡加美町鳥羽 (8exs., 1-VI-1975, etc.), 神崎郡大河内町川上 (1ex., 7-V-1977, etc.), 朝来郡生野町 (1ex., 8-VII-1956), 宍粟郡波賀町音水 (10exs., 11-VI-1972, etc.), 赤西 (1ex., 9-IX-1978), 原 (1ex., 11-V-1979), 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 27-VII-1956)。

122. *Exosoma chujoi* (Nakane, 1958)

ニセキバラヒメハムシ

中根猛彦博士により, “Kosugidani, Miyanoura,

Kurio in Yakushima, Sata, Ohsumi, Kyushu, Shimashima, Shinano, Honshu” 産に基づき, *Calomicrus chujoi* として記載された (Sci. Rep. Saikyo Univ. Vol.2, No.5, Fig.20, p.49-50, 1958). 前種と同じく, その後, 木元新作博士により *Exosoma* 属に移された (1965).

一般に黒褐色. 多くの場合, 腹部は全体が黄褐色. 分布は本州, 四国, 沖ノ島, 九州, 種子島, 屋久島, 中国中部.

兵庫県下にも広く分布している.

産地: 神戸市北区有野町逢山峡 (1ex., 19-VI-1966), 兵庫区鳥原 (1ex., 5-VII-1983, etc.). 神崎郡笠形山 (2exs., 12-VI-1966). 多可郡加美町鳥羽 (1ex., 5-VII-1975). 相生市三濃山 [大野, 1967] (1ex., 8-VI-1974). 宍粟郡一宮町福知溪谷 (7exs., 20-VI-1976), 波賀町音水 (1ex., 25-V-1972, etc.). 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955). 美方郡浜坂町味原 [磯野, 1985].

123. *Exosoma flaviventre* (Motschulsky, 1860)

キバラヒメハムシ

Motschulskyが, 日本から *Calomicrus? flaviventris* として記載した種である (Etud. Ent. 9:26, 1860).

一般に黒青色. 腹部は全体赤褐色. 体形はやや幅広い. 体長4.0-5.0mm. ノリウツギ, クリの花が食草とある (木元, 1984). *Exosoma* 属は県下に3種が産するが, 外部形態のみによって正確に同定することは極めて困難である. しかし, ♂交尾器の分化は顕著であり, これによって♂個体は同定が可能である.

この種は分布も広く, 日本以外ではシベリア, 朝鮮半島, 中国に分布している.

兵庫県下にも広く分布しており, 普通に見ることができる.

産地: 三原郡諭鶴羽山 [久松, 1974]. 洲本市先山 [久松, 1974]. 川辺郡猪名川町槻並 [仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部 [仲田, 1978, 1982]. 能勢妙見山 (4exs., 30-VII-1983). 宝塚市武田尾 (1ex., 25-VII-1954) [小田中, 1993]. 兵庫 [名和, 1936]. 神戸市兵庫区鳥原 (3exs., 29-IV-1955, etc.). 北区山の街 (7exs., 13-VII-1954, etc.). 山田町丹生山 (1ex., 15-V-1955, etc.). 有野町逢山峡 (2exs., 27-VII-1987). 藍那 (5exs., 21-VI-1993, etc.). 八多町屏風 (3exs., 4-VI-1993, etc.). 多可郡加美町三谷 (1ex., 13-VII-1955). 鳥羽 (2exs., 5-VII-1975). 神崎郡大河内町川上 (1ex., 9-VII-1977). 揖保郡新宮町福原 (3exs., 10-VI-1992, etc.). 相生市三濃山 [大野, 1967] (1ex., 8-VI-1974, etc.). 氷上郡柏原町 [山本, 1953, 1958]. 多紀郡篠山町雨石山 [林

ほか, 1995]. 出石郡出石町 [高橋, 1963]. 城崎郡日高町大岡山 [上田, 1996]. 養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 2-VII-1953, etc.). 美方郡村岡町鉢北高原 [上田, 1996]. 扇ノ山 [辻, 岸田, 1972]. 浜坂町城山 [磯野, 1985].

Genus *Fleutiauxia* Laboissiere

124. *Fleutiauxia armata* (Baly, 1874) クワハムシ

Balyが “Nagasaki, Hiogo, Tsushima; Manchuria” 産をもって *Aenidea armata* として記載した種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874: 179).

Ogloblinは1936年, 本種を *Fleutiauxia* 属の種として扱った (Fauna USSR, 26, 1:184, 401, fig.76, 1936).

上翅は青緑色. 前胸背板, 小楯板, 体腹面は黒色. 頭部は黒色の前頭隆起と青緑色の頭頂を除き黄褐色. 触角は黒色, 基部4, 5節の下面は黄褐色. 肢は黒褐色で, 前肢腿節の末端部1/2, 脛節, ふ節は赤褐色. ♀では頭頂に臼状の突起を装い, ♂では正常. 体長5.0-7.3mm. 食草はクワ, ヤマノイモ, コウゾなどが知られている. 分布も広く, 日本全土のほか, 朝鮮半島, シベリア東部, 中国から知られている.

兵庫県下にはごく普通に見られる.

産地: 津名郡津名町常隆寺山 (2exs., 20-IV-1974). 愛宕山 [大野, 1969]. 三原郡諭鶴羽山 [大野, 1969, 堀田, 1978]. 洲本市鮎屋 [大野, 1969]. 川辺郡猪名川町木間生 [仲田, 1978, 1982]. 川西市笹部, 横地, 大和 [仲田, 1978, 1982]. 伊丹市 [河上, 1984]. 宝塚市下佐曾利 (1ex., 13-V-1983) [小田中・水野, 1993]. 売布ヶ丘, 上佐曾利 [小田中・水野, 1993]. 西宮市船坂 (1ex., 5-VI-1987, etc.). Hiogo [Baly, 1874, Heyden, 1879]. 神戸市六甲山 (1ex., 8-V-1953). 摩耶山 (1ex., 27-V-1953). 兵庫区鳥原 (2exs., 25-IV-1954, etc.). 北区山の街 (9exs., 17-V-1953, etc.). 山田町箕谷 (6exs., 30-V-1943, etc.). 山田町丹生山 (1ex., 5-V-1956). 藍那 (6exs., 5-V-1963, etc.). 小部 (2exs., 10-V-1942). 八多町屏風 (3exs., 6-V-1993, etc.). 八多町芦谷溪谷 (1ex., 11-VI-1982). 西区押部谷町木津 (3exs., 11-V-1984). 伊川谷町前開 (1ex., 13-V-1988, etc.). 垂水区垂水 (4exs., 10-V-1985). 須磨区多井畑 (2exs., 23-V-1990). 美囊郡吉川町 (1ex., 27-VII-1951). 奥山 (4exs., 18-V-1986, etc.). 三木市口吉川町 (2exs., 16-V-1986). 小野市山田町 (1ex., 16-V-1987). 来住町 (2exs., 9-V-1991). 加東郡東条町森 (8exs., 11-V-1984, etc.). 社町三草 (1ex., 7-V-1987, etc.). 多可

郡加美町白山 (3exs., 3-V-1973), 三谷 (1ex., 3-V-1975, etc.), 鳥羽 (1ex., 1-VI-1975, etc.). 神崎郡笠形山 (1ex., 12-VI-1975), 大河内町砥ノ峰 alt.830m [木元・日浦, 1971], 川上 (6exs., 7-V-1977, etc.). 飾磨郡家島町家島 [畑中・辻, 1974] (1ex., 16-V-1978) [上田, 1981]. 揖保郡新宮町福原 (1ex., 7-V-1992, etc.). 相生市三濃山 [大野, 1967] (7exs., 3-V-1969, etc.). 佐用郡上月町 (1ex., 3-V-1952). 宍粟郡一宮町福知溪谷 (1ex., 30-VI-1976), 波賀町音水 [木元・日浦, 1965] (3exs., 31-V-1970, etc.), 坂の谷 (2exs., 9-VI-1973). 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1995]. 氷上郡 [山本, 1953, 1958]. 朝来郡和田山町枚田岡, 玉置 [上田, 1996]. 出石郡出石町 [高橋, 1963]. 城崎郡城崎町 (1ex., 17-V-1970), 日高町大岡山 [高橋, 1975], 三川山 [高橋, 1975, 上田, 1996], 奈佐路 (4exs., 22-V-1986, etc.). 養父郡八鹿町妙見山 [上田, 1996], 関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VI-1955) [高橋, 1975]. 美方郡村岡町鉢北高原 [上田, 1996], 温泉町扇ノ山 [辻・岸田, 1972, 高橋, 1975], 湯村 (1ex., 15-VI-1983), 浜坂町味原, 宇都野神社, 城山, 清富 [磯野, 1985].

Genus *Galeruca* Geoffroy

125. *Galeruca vicina* Solsky, 1872 アザミオオハムシ “Vladivostock” 産に基づき, Solskyが記載した種である (Honae Soc. Ent. Ross., 8, p.252, 1872). 日本からは, Weiseが “Japan: Yokohama” 産を用いて *Galeruca dahli* var. *japonica* を記載したものが, 本種にあたる (Dtsche Ent. Z., 1894, p.168).

体背面には粗大な点刻を密に装い, 前胸背板は中央部に1対のくぼみを有し, 前縁角はやや肥厚し角張る. 頭部は暗黄褐色, 体腹面は黒色. 食草として, アザミ, ギボウシ, フキが知られている. 北方系の種のように, 北海道, 本州, 南千島, 朝鮮半島, シベリア東部, 中国北東部に分布している.

兵庫県下では, 氷ノ山で藤田国雄氏が採集された2個体の標本が知られるのみで, それ以外の記録を知らない. よく調べてみなくてはならない種である.

産地: 養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 29-VII-1957, Fujita leg., in his coll., T. Takahashi det.).

Genus *Galerucella* Crotch

126. *Galerucella grisea* (Joannis, 1866)

イチゴハムシ

Joannisが “Sicily” 産に基づいて記載した種である

(1866, Abeille, 3, p.98). Balyが “Nagasaki, Yokohama” 産を基に記載した *Galeruca vittaticollis* (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:178), および “Nagasaki” 産を基に記載した *Galeruca distincta* (1874, ibid., p.178) は, 共に本種のことである.

一般に暗褐色, 中胸, 後胸腹面は黒褐色. 上翅の側縁はほぼ平行, 側縁の平坦部は狭く, 前胸背板の平坦部は狭い.

食草はギシギシ, タデ類, オランダイチゴが知られている. 分布は大変広く, 日本全土以外に, 朝鮮半島, サハリン, シベリア, 中国, 台湾, ヨーロッパに及ぶ. 兵庫県下にも広く分布している.

産地: 津名郡愛宕山 [大野, 1969]. 川西市一の鳥居 [木元・日浦, 1965], 笹部 [仲田, 1982]. 伊丹市 [河上, 1984]. 宝塚市宝塚駅 [木元・日浦, 1971], 売布ヶ丘 [水野, 1993]. 神戸市兵庫区烏原 (31exs., 27-IV-1973, etc.), 北区藍那 (1ex., 21-VI-1993), 垂水区東垂水 [木元・日浦, 1965]. 明石市明石公園 (8exs., 26-VI-1976). 三木市美嚢川川原 (1ex., 5-VII-1979). 加東郡東条町森 (3exs., 11-V-1984, etc.). 神崎郡大河内町川上 (2exs., 7-V-1977, etc.). 相生市三濃山 [大野, 1967]. 多紀郡篠山町籠坊 [仲田, 1982]. 氷上郡柏原町 [山本, 1953], 春日町黒井 [山本, 1953]. 朝来郡和田山町枚田岡 [上田, 1996]. 出石郡出石町 [高橋, 1963]. 豊岡市土湊 [高橋, 1963]. 城崎郡日高町 (2exs., 3-X-1985), 上郷, 竹野町竹野, 香住町土生 [上田, 1996]. 養父郡関宮町氷ノ山 (4exs., 25-VII-1955). 美方郡村岡町鉢北高原 [上田, 1996], 浜坂町味原, 護国神社, 清富 [磯野, 1985].

127. *Galerucella nipponensis* (Laboissiere, 1982)

ジュンサイハムシ

Laboissiereが “Japan” 産をもとに, *Hydrogaleruca nipponensis* として記録したものである (Rev. Zool. Afr., 10, p.120 nota, 1922). Balyが “Hiogo” 産で記載した *Galeruca sagittariae* (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:178), Weiseが “Kioto” 産で記載した *Galerucella paludosa* (Tijdschr. Ent., 65, p.68, 1922) は, いずれも本種のことである.

前胸背板は黒色, 前縁沿いは黄褐色. 上翅は黒色, 側縁沿いは暗褐色. 中胸・後胸は黒色, 腹部は黄褐色. イチゴハムシに似ている. 食草としてジュンサイ, ヒシ, ミズユキノシタ, シロネが知られている. 分布は本州, 四国, 九州, 朝鮮半島, シベリア東部.

兵庫県下には広く分布しており, 食草の関係から,

池畔などに多く見られる。

産地：川辺郡猪名川町馬場〔仲田, 1979, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市内 (16exs., 23-IV-1956, etc.)〔木元・日浦, 1971〕, 下佐曾利 (1ex., 27-V-1961, K. Mori leg.)〔水野, 1993〕。Hiogo [Baly, 1874]。神戸市北区山の街 (8exs., 5-V-1955), 山田町金剛童子山 (1ex., 24-VII-1956), 西区押部谷町木見 (1ex., 20-VII-1980), 伊川谷町前開 (2exs., 6-VII-1988), 太山寺 (1ex., 17-V-1990), 須磨区須磨浦公園 (2exs., 5-VII-1987, Y. Hachitani leg.)。明石市内 (1ex., 11-VII-1954)。高砂市曾根〔木元・日浦, 1965〕。三木市口吉川町 (1ex., 14-VII-1986), 大村 (8exs., 10-V-1990)。小野市来住町 (1ex., 9-V-1991), 山田町 (3exs., 8-VIII-1987, etc.)。美濃郡吉川町奥山 (1ex., 17-V-1986)。飾磨郡家島町家島〔上田, 1981〕。氷上郡〔山本, 1958, 高橋, 1961〕。

Genus *Gallerucida* Motschulsky

128. *Gallerucida bifasciata* Motschulsky, 1860

イタドリハムシ

Motschulskyが日本産に基づいて記載した種である (Etud. Ent., 9, p.24, 1860)。Balyが“Hokkaido”産をもとに *Melospila consociata* (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:185) と記載したものも、本種のことである。

上翅の地色は黒色で、黄色の3横帯を装うが、それぞれの斑紋の大きさや形には変異が多い。頭部、前胸背板、体腹面、触角、肢は全体黒色。上翅には大小2種類の点刻を有し、前胸背板に1対のくぼみを装う。体長7.5-9.5mm。食草はイタドリ、スイバ。分布は日本全国、朝鮮半島、シベリア東部、中国、台湾。

よく知られたハムシで、兵庫県下にも広く分布しており、ごく普通に見られる。

産地：津名郡淡路町岩屋 (1ex., 26-IV-1957), 津名町常隆寺山 (2exs., 20-IV-1974), 洲本市先山〔大野, 1969〕。川西市一の鳥居〔木元・日浦, 1965〕, 笹部〔仲田, 1978, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市内 (1ex., 19-IV-1958), 売布ヶ丘, 上佐曾利〔小田中・水野, 1993〕。神戸市御影〔関, 1933〕, 中央区布引 (4exs., 17-V-1959), 兵庫区鳥原 (2exs., 18-IV-1937, etc.), 北区北鈴蘭台大山公園 (2exs., 7-V-1982), 山田町箕谷 (1ex., 30-V-1943), 山田町丹生山 (4exs., 5-V-1956), 藍那 (1ex., 23-V-1978, etc.), 八多町屏風 (1ex., 4-VI-1993, etc.), 西区伊川谷町前開 (3exs., 13-V-1988, etc.), 須磨区多井畑 (2exs., 23-V-1990)。小野市山田町 (1ex., 16-V-1987), 来住町 (1ex., 11-

IV-1991)。美濃郡吉川町奥山 (1ex., 17-V-1986)。加西市青野ヶ原 (1ex., 29-III-1972)。飾磨郡夢前町雪彦山 (1ex., 14-VII-1957)。多可郡加美町鳥羽 (1ex., 29-IV-1972, etc.)。神崎郡大河内町川上 (12exs., 7-V-1977, etc.)。揖保郡新宮町福原 (3exs., 7-V-1992, etc.)。相生市三濃山 (1ex., 7-V-1972)。赤穂市坂越 (1ex., 18-IV-1979)。佐用郡上月町 (1ex., 3-V-1952), 佐用町大撫山 (1ex., 15-III-1975)。宍粟郡一宮町福知溪谷 (2exs., 20-VI-1976), 波賀町音水 (10exs., 10-V-1970, etc.), 坂の谷 (2exs., 9-VI-1973)。多紀郡西紀町 (2exs., 7-V-1982)。氷上郡〔山本, 1953〕。朝来郡和田山町糸井溪谷, 竹田, 枚田岡〔上田, 1996〕。出石郡出石町寺坂〔高橋, 1965〕。城崎郡竹野町三原, 日高町三川山〔高橋, 1975〕, 阿瀬溪谷, 竹野町坊岡〔上田, 1996〕。養父郡関宮町水ノ山 (1ex., 2-VIII-1953, etc.), 八鹿町妙見山〔上田, 1996〕。美方郡浜坂町味原, 城山, 居組〔磯野, 1985〕。

129. *Gallerucida flavipennis* (Solsky, 1872)

ズグロアカハムシ

Solskyが“E. Siberia”産に基づき, *Gallerucida flavipennis*として記載した種である (Horae Soc. Ent. Ross. 8, p.257, 1872)。Jacobyが“Japan: Yuyama”から *Sphenoraia melanocephala*として記載した種 (Proc. Zool. Soc. London, 1885:748) も、本種のことである。

体背面は黄褐色, 赤褐色。頭部は黒色。体腹面は黒色。腹部側方部および末端部は赤褐色。触角, 肢全体は黒色。体長6.5-8mm。食草はノブドウが知られている。分布は本州, 四国, 九州, シベリア。

兵庫県下の記録は大変少ない。実際にはもっと広く分布しているものと考えられる。

産地：宍粟郡波賀町音水 (1ex., 21-V-1972, 1ex., 25-VI-1972)。城崎郡日高町万場〔上田, 1996〕。

130. *Gallerucida lewisi* (Jacoby, 1885)

ムツキボシハムシ

Jacobyにより“Japan: Oyama”産に基づき *Gallerucida lewisi*として記載された (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:747, pl.46, f.6)。

頭部, 前胸背板, 小楯板, 体腹面, 触角, 肢は一般に黒色。上翅は黒色で, 肩部および中央部の横帯, 末端部の斑紋は黄褐色。体形は細長く, 上翅の点刻は一樣で, 大きな点刻を揮に装う。体長6.0-6.5mm。分布は本州, 四国。

かなり珍しい種のようなのであるが, 出現期が4月下旬

～5月上旬とやや早いようで、県の中央部あたりには分布しているようである。

産地：多可郡加美町鳥羽 (1ex., 29-IV-1970), 神崎郡大河内町川上 (2exs., 7-V-1977, etc.), 宍粟郡波賀町音水 (3exs., 10-V-1970)。

Genus *Hamushia* Chûjô

131. *Hamushia eburata* (Harold, 1879)

ヨツキボシハムシ

Haroldにより“Hakone”産に基づき、*Galerucida eburata*として記載された種である (Dtsch. Ent. Zeits. 23(2): 368, 1879)。中條道夫博士は、この種をタイプに新属*Hamushia*を創設した (Kagawa Univ. Mem. Fac. Lib. Arts. & Educ. 2(31): 9, 1956)。

体、触角、肢は一般に黒色、上翅の2対の黄色紋を装う。上翅には強い点刻を密に装い、肩部、中央後方部の黄色紋には明瞭な点刻を欠く。触角第3節は、第4節よりも明らかに短い。体長5.0-5.5mm、分布は本州のみである。

兵庫県下には広く産するようであるが、記録は中央部から北に多い。

産地：多可郡加美町鳥羽 (2exs., 29-IV-1972, etc.)。宍粟郡波賀町赤西 (2♂♂, 10-V-1970), 音水 (1♀, 10-V-1970, etc.)。多紀郡篠山町小金岳 (山本, 1953)。氷上郡柏原町 (中條, 1956), 神楽村 (現青垣町) (山本, 1953)。出石郡出石町 (高橋, 1963)。城崎郡竹野町三原 (高橋, 1975), 日高町三川山 (上田, 1996)。養父郡関宮町氷ノ山 (高橋, 1975)。美方郡浜坂町味原 (磯野, 1985)。

Genus *Hesperomorpha* Ogloblin, 1936

132. *Hesperomorpha hirsuta* (Jacoby, 1885)

ケブカクロナガハムシ

Jacobyにより“Nikko, Yuyama, Kiga, Hitoyoshi”産で、*Luperus hirsuta*として記載された種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:472, pl.46, f.4)。

体背面には黄白色の細い剛毛を密に装う。体全体、触角、肢は黒色。触角は細く、♂では体長より長く、♀ではほとんど等長。体長3.3-4.3mm、食草としてヤマハシノキが知られている。分布は本州、四国、九州、中国南部。兵庫県下にも広く分布している。

産地：洲本市先山 (大野, 1969)。川辺郡猪名川町上阿古谷、木間生 (仲田, 1970, 1978, 1982)。川西市笹部、大和 (仲田, 1978, 1982)。宝塚市売布ヶ丘、玉瀬 (小田中・水野, 1993)。西宮市盤滝 (1ex., 29-V-1987)。

神戸市兵庫区鳥原 (1ex., 12-V-1973, etc.)、北区山の街 (1ex., 15-V-1954, etc.)、藍那 (3exs., 5-V-1969, etc.)、山田町丹生山 (6exs., 15-V-1958, etc.)、山田町谷上 (1ex., 3-V-1957)、西区太山寺 (1ex., 29-IV-1973)、押部谷町木津 (1ex., 30-V-1984, etc.)、伊川谷町前開 (1ex., 13-V-1988, etc.)、須磨区多井畑 (1ex., 19-VI-1990)。三木市口吉川町 (1ex., 16-V-1986)。美濃郡吉川町 (7exs., 6-VI-1985)。相生市三濃山 (1ex., 8-VI-1974)。宍粟郡波賀町音水 (1ex., 31-V-1970)。城崎郡日高町奈佐路 (1ex., 19-VI-1996)。美方郡温泉町扇ノ山 (高橋, 1975)、村岡町鉢北高原 (上田, 1996)。

Genus *Lirotes* Weise, 1889

133. *Liroetis coeruleipennis* Weise, 1889

ルリナガバネハムシ

Weiseにより“Japan : Hag”産で記載された (Horae Soc. Ent. Ross. 23, p.609, nota, 1889)。

体背面、頭部は黒青色。体腹面、触角、肢は全体黒色。上翅側方は基部から後方へ全体として狭い。体長6.2-6.8mm。食草はクヌギ。分布は本州、九州。兵庫県下には広く産する。

産地：川辺郡猪名川町木間生 (仲田, 1978, 1982)。川西市一の鳥居、笹部、横地、大和 (仲田, 1978, 1982)。宝塚市玉瀬、香合新田、売布ヶ丘 (小田中・水野, 1993)。神戸市北区山の街 (1ex., 30-V-1954)。多可郡白山 (5exs., 3-V-1973)。揖保郡新宮町福原 (1ex., 15-V-1992)。相生市三濃山 (4exs., 3-V-1969, etc.)。宍粟郡一宮町福知溪谷 (2exs., 20-VII-1976)、波賀町原 (1ex., 11-V-1977)、音水 (12exs., 31-V-1970, etc.)。多紀郡篠山町雨石山 (林ほか, 1995)、小金岳 (山本, 1953)。氷上郡市島町妙高山、神楽村 (現青垣町) (山本, 1953)。出石郡出石町寺坂 (高橋, 1963)。城崎郡日高町三川山 (上田, 1996)、大岡山 (高橋, 1975)。養父郡関宮町氷ノ山 (7exs., 24-VII-1955, etc.) (高橋, 1975, 上田, 1996)。美方郡温泉町扇ノ山 (辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 高橋, 1975)、村岡町兎和野 (磯野, 1985)、浜坂町味原、宇都野神社、清富 (磯野, 1985)。

Genus *Lochmaea* Weise, 1883

134. *Lochmaea capreae* (Linnaeus, 1758)

ズグロアラメハムシ

Linnaeusが*Chrysomela caprea* (sic.)として記載した種であり、基準産地は不明である (Syst. Nat. ed.10, p.376, 1758)。

日本からはWeiseが*Lochmaea capreae* var. *luctosa*として記録した (Natura. Ins. Dtschl. 6(4): 611, 1886) .

体背面は黄褐色, 頭部・体腹面は黒色。触角・肢は一般に黒色。体長5.0-6.0mm。食草はヤナギ類, ドロノキが知られている。北方系の種のように, 北海道, 本州, 九州, 朝鮮半島, 中国北部, シベリア, モンゴル, ヨーロッパに分布している。

兵庫県下の記録は1例しか知られていない。よく調べなくてはならない種である。

産地: 川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕。

Genus *Luperus* Geoffroy

135. *Luperus moorii* Baly, 1874 クロウスバハムシ

Balyが“Yokohama”産に基づいて記載した (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:188) .

体背面・腹面は黒色。触角・肢は一般に黒色で, 一部に赤褐色の個体もみられる。体長は3.7-4.2mm。食草はエノキ, ヤマハノキが知られている。分布は本州, 四国, 九州, 朝鮮半島。

兵庫県下の記録は大変少ないが, もっと各地に分布しているものと考えられる。

産地: 神戸市兵庫区鳥原 (1ex., 3-VIII-1937, etc.) .

養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955) .

Genus *Medythia* Jacoby, 1887

136. *Medythia nigrobilineata* (Motschulsky, 1860)

フタスジヒメハムシ

Motschulskyにより日本から*Cneodes nigrobilineata*として記載された種である (Etud. Ent., 9, p.36, 1860) .

一般に赤褐色。上翅の黒色条は比較的細い。触角は黒色で, 基部数節は赤褐色。肢は黄褐色, 脛節基部は暗褐色。触角は細長い。体長3.0-3.4mm。食草はマメ科の植物で, 特にダイズの害虫である。分布は日本全国。

兵庫県下にも広く分布している。

産地: 洲本市先山〔大野, 1969〕。川西市大和〔仲田, 1979, 1982〕。宝塚市大原野〔小田中・水野, 1993〕。神戸市六甲山 (1ex., 16-VII-1962), 北区藍那 (1ex., 26-VIII-1993)。三木市口吉川町 (7exs., 14-VII-1986), 口吉川町笹原 (8exs., 3-X-1986)。美囊郡吉川町 (1ex., 27-VII-1985)。小野市来住町 (1ex., 30-V-1981)。相生市三濃山〔大野, 1967〕。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。豊岡市九日市, 桜町〔高橋, 1975〕。養父郡関宮町氷ノ山 (2exs., 24-VII-1955)。美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田, 1972〕, 浜坂町〔磯野, 1985〕。

Genus *Monolepta* Erichson, 1843

137. *Monolepta dichroa* Harold, 1877 ホタルハムシ

Haroldが“Hakodate”産に基づき記載した種である (Dtsche Ent. Z., 21, p.366, 1877) . 上翅は全体が黒色か, あるいは末端部が赤褐色で, 頭部および前胸は赤褐色。体腹面, 触角, 肢は一般に黒色。体長3.2-3.6mm。マメ類の害虫として知られている。

分布は日本全国。兵庫県下にも広く分布している。

産地: 三原郡南淡町灘〔酒井, 1973〕。川西市一の鳥居寒天干場〔木元・日浦, 1971〕, 笹部, 大和〔仲田, 1978, 1982〕。宝塚市切畑字長尾山〔小田中・水野, 1993〕。西宮市盤滝 (5exs., 3-IX-1987), 船坂 (1ex., 11-IX-1987)。神戸市六甲山 (21exs., 21-VII-1976, etc.), 兵庫区鳥原 (4exs., 11-VII-1976, etc.), 須磨区妙法寺 (1ex., 4-X-1978), 西区押部谷町木津 (1ex., 29-VIII-1984), 伊川谷町前開 (1ex., 29-VI-1988, etc.), 北区藍那 (1ex., 21-VI-1993)。三田市内 (2exs., 4-IX-1986)。三木市細川町細川中 (2exs., 11-VII-1985), 口吉川町笹原 (2exs., 3-IX-1986)。小野市山田町 (1ex., 24-IX-1987)。加東郡東条町森 (3exs., 2-VI-1984, etc.), 社町 (4exs., 8-X-1972), 三草 (6exs., 6-V-1989)。飾磨郡夢前町雪彦山 (2exs., 14-VII-1957)。多可郡加美町三谷 (2exs., 13-VII-1975, etc.), 市原 (9exs., 24-IX-1972), 鳥羽 (2exs., 5-VII-1975)。朝来郡生野町 (2exs., 4-IX-1955)。神崎郡大河内町砥ノ峰 (2exs., 3-IX-1977, etc.)。龍野市神岡町 (1ex., 8-IX-1988, etc.)。揖保郡新宮町福原 (1ex., 10-VI-1992, etc.)。佐用郡佐用町大撫山 (2exs., 15-IX-1971)。宍粟郡波賀町音水 (1ex., 11-VI-1972, etc.), 坂の谷 (1ex., 9-VI-1973)。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。豊岡市神武山〔高橋, 1975〕。城崎郡香住町佐津, 竹野町三原〔上田, 1996〕。養父郡関宮町大久保〔木元・日浦, 1971〕, 氷ノ山 (1ex., 2-VIII-1953, etc.)〔上田, 1996〕, 大屋町杉ヶ沢〔磯野, 1985〕。美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田1972〕, 浜坂町宇都野神社〔磯野, 1985〕。

138. *Monolepta kurosawai* Chûjô et Ohno, 1961

ムネアカウスイロハムシ

中條道夫博士・大野正男教授により, 石川県能登半島産をタイプにし, 本州・四国産の多数のパラタイプを用いて記載された種である (Mem. Fac. Lib. Arts. & Edu. Kagawa Univ. Part II, No.106, p.11-12, 1961)。なお, 原記載の分布の項には四国が抜けている。

キイロクワハムシに似ている。一般に赤褐色, 上翅

は黄褐色で、個体により上翅の周辺部は赤褐色となる。肢は部分的に赤褐色、触角は黒色で、基部3・4節は黄褐色。上翅側片は、基部でほぼ平行する。体長4.0-5.0mm。原記載には、食草はケンボナシとある。

兵庫県下での記録は少ないが、分布は広いように思われる。

産地：川西市畦野、一の鳥居〔仲田, 1982〕。宝塚市西谷川下川ダム〔東, 1995〕。宍粟郡波賀町音水〔木元・日浦, 1965〕(lex., 4-V-1972, etc.)。

139. *Monolepta nojiriensis* Nakane, 1963

ヒメウスイロハムシ

中根猛彦博士により、長野県産をもとに記載された種である(Fragm. Coleop. Par.5: 20, 1963)。木元新作博士が対馬産に基づいて記載した*Monolepta tsushimanum* (Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ. 13(3): 393, 1965) は、本種のシノニムである。

体は一般に黄褐色、触角は黒色、基部2・3節は黄褐色。上翅側片の内縁基部は黒色。体長2.8-3.0mm、分布は本州、九州、対馬である。

兵庫県からは、木元新作博士が上記の*M. tsushimanum*の種名で養父郡関宮町大久保、鉢伏山から記録している。その他の県下における記録も多くないが、もっと分布しているものと考えられる。

産地：神戸市兵庫区鳥原(lex., 10-VI-1956)。氷上郡山南町(2exs., 6-IX-1990)。宍粟郡波賀町音水(lex., 13-V-1973)。養父郡関宮町氷ノ山(3exs., 24-VII-1955)。大久保〔木元・日浦, 1971〕。鉢伏山 alt.800-1200m〔木元・日浦, 1971〕。

140. *Monolepta pallidula* (Baly, 1874)

キイロクワハムシ

Balyが“Nagasaki”産をもとに*Luperodes pallidulus*として記載した種である(Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:187)。

一般に黄褐色。触角は暗褐色で、基部数節は黄褐色。上翅側片は、基部1/4まで幅が広がり、後方へ狭まる。前胸背板の側縁はほとんど直線的。体長4.2-5.0mm。クワの害虫として知られている。

兵庫県下における分布も広い。

産地：三原郡諭鶴羽山〔酒井, 1993〕。川辺郡猪名川町杉生新田〔仲田, 1979, 1982〕。西宮市盤滝(lex., 3-IX-1987)。船坂(lex., 11-IX-1987)。神戸市住吉〔木元・日浦, 1965〕。摩耶山(4exs., 14-VII-1955)。兵庫区鳥原(lex., 20-IX-1953)。北区山田町下谷上(2exs., 23-VII-1979)。八多町芦谷溪谷(3exs., 13-IX-1982)。須磨区妙

法寺(lex., 29-V-1979)。西区伊川谷町前開(lex., 6-VII-1988)。飾磨郡夢前町雪彦山〔木元・日浦, 1965〕。家島町家島〔上田, 1981〕。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。養父郡関宮町大久保〔木元・日浦, 1971〕。氷ノ山(lex., 2-VIII-1953, etc.)。美方郡浜坂町味原、城山〔磯野, 1985〕。

141. *Monolepta* sp.

産地：養父郡大屋町杉ヶ沢〔磯野, 1985〕。

Genus *Morphosphaera* Baly, 1861

142. *Morphosphaera japonica* (Hornstedt, 1798)

イチモンジハムシ

日本産として最初に記載されたハムシとして知られている。すなわちHornstedtが、*Chrysomela japonica*として記載したのが1798年のこと(Schrift. Ges. Naturf. Freude Berlin, 2, pl.1, fig.1, 1798)。実に200年以上も前のことである。この種については、発見からの経緯を詳しく述べた、中條道夫博士の有益な報文がある(新昆虫Vol.IX, No.10, pp.2-5, 1956)。

胸部腹面は黒色。腹部は黄褐色で、各節の側方部に1対の黒色紋を装う。肢は全体黒色、頭部は黒色。前胸背板は黄褐色で、黒色の5紋を装い、そのうち1紋は小楯板の前方にあり、他の4紋は横一列に並ぶ。上翅、小楯板は黒青色。触角は暗褐色の基部数節を除き黒色。体長6.8-7.8mm。食草としてイヌビワ、オオイタビ、オオバアコウなどが知られている。分布は広く、トカラ諸島以北の北海道を除く日本全土、国外ではシベリア東部、中国、インドから知られている。

兵庫県下にも広く分布しており、神戸市内などでは多数採集できる。

産地：洲本市先山〔堀田, 1976〕。川西市笹部、大和〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市摩耶山(3exs., 27-V-1953)。兵庫区鳥原(2exs., 30-V-1973, etc.)。須磨区多井畑(lex., 25-V-1990)。三木市別所町正法寺(4exs., 1-VIII-1988, Y. Nagahata leg.)。三田市千刈池東岸大岩山(lex., 16-XII-1969, Kodama leg.)。飾磨郡夢前町雪彦山(lex., 14-VII-1957)。相生市三濃山(lex., 6-VII-1973, etc.)。氷上郡沼貫〔山本, 1953〕。城崎郡日高町岩中〔高橋, 1976〕。上郷〔上田, 1996〕。養父郡八鹿町伊豆〔上田, 1996〕。美方郡浜坂町宇都野神社〔磯野, 1985〕。

Genus *Oides* Weber, 1801

143. *Oides bowringii* (Baly, 1863) キベリハムシ

Balyにより“Hongkong”産に基づいて記載された種で

ある (Trans. Ent. Soc. Lond., Ser.3, I. p.623, 1863)。

上翅は一般に緑青色。会合部、側縁部、末端部は黄褐色。前胸背板、小楯板、頭部、体腹面は黄褐色。触角は黄褐色で、先端の4節は黒色。肢は黄褐色、脛節末端部およびふ節は黒色。体長13-15mm。日本に産するハムシ科の甲虫のなかでも大型で、美しい種である。分布は朝鮮半島(?)、中国南部、ベトナム、日本であり、日本国内では現在のところ、兵庫県下にのみ分布が知られている。神戸市内の六甲山系には大変多く見られる。

神戸にいつ頃から生息していたのかははっきりしないが、少なくとも大正時代にはいたことが種々の記録から窺える。明治時代初期、あるいはそれ以前に渡来して、定着したのではないかと考えている。食草はビナカンズラ、マツブサ。

“Tonkin”産で、*Oides elegans* Laboissiere, 1919 (Bull. Soc. Ent. France, 1919:161) という学名で記載された種は、本種のシノニムであるが、木元新作博士は、さらに“Tonkin”産で記載された *Oides tonkinensis* Laboissiere (1929, Ann. Soc. Ent. France, 98:252) も、新たに本種のシノニムであるとされている (ESAKIA No.27:35-36, 1989)。

産地：川西市一の鳥居〔高木, 1955〕。宝塚市切畑字長尾山, 玉瀬〔水野, 1993〕。西宮市芳楽園五番町2, 仁川町6丁目仁川河川敷〔三宅, 1990〕。塩瀬町名塩字土林〔県自然博ニュース, 1990, No.3〕。芦屋市高座〔加藤, 1934, 高坂・鎬木, 1938〕 (lex., 25-VII-1961, H. Kondo leg.)。神戸市御影〔関, 1933〕, 本山 (lex., 20-VIII-1965, 高輪武志), 六甲山〔山鳥・鈴木, 1938, 柴内, 1950, 木元, 1964〕 (lex., 21-VIII-1958, etc.), 六甲山上ケーブル駅付近〔東, 1965〕, 東灘区一王山〔柴内, 1950〕 (lex., 26-VIII-1956, 桜井雄二), 保久良山 (lex., 23-VII-1956, 前田邦夫), 中央区布引〔春木〕, 再度山〔加藤, 1934〕, 北区森林植物園〔後藤〕, 兵庫区鳥原〔加藤, 1934, 柴内, 1950, 木元, 1964, 五十嵐, 1976〕 (8exs., 14-VII-1939, etc.), 平野〔加藤, 1934〕, 夢野台中学裏〔東, 1965〕, 須磨区妙法寺 (lex., 26-VII-1978)。姫路市書写山〔木村, 1976〕。多可郡中町牧野 (lex., 6-VIII-1974, Kuramoto leg.)。神崎郡笠形山〔西脇, 1965〕, 大河内町砥ノ峰 (lex., 23-IX-1976, Kuramoto leg.)。生野町栃原小段ヶ峰高原〔木元・日浦, 1965〕。佐用郡南光町船越山〔京都昆虫同好会, 1956, 朝日新聞, 1984〕。宍粟郡三方村国有林 (VIII-1952, 松井俊公), 波賀町赤西 (lex., 30-VII-1972, Hatanaka leg.)。氷上郡氷上町篠ヶ峰〔山本, 1952, 1958〕, 石戸山, 氷上・柏原

町境高見城山, 青垣町粟鹿峰, 柏原町下小倉〔山本, 1958, 仲井, 1976〕, 新井高見山, 石戸青垣山〔仲井, 1976〕, 山南町阿草, 南中〔仲井, 1976〕, 和田〔仲井, 1976〕 (lex., VII-1972, Kuramoto leg.), 谷村〔仲井, 1976〕 (lex., VIII-1972, H. Fujiwara leg.), 富田〔仲井, 1976〕 (lex., 8-VIII-1974, Kuramoto leg.), 若林〔仲井, 1976〕 (lex., 27-VIII-1974, H. Fujiwara leg.), 小新屋 (lex., 23-VIII-1976, H. Fujiwara leg.), 佐野 (lex., 24-VIII-1975, Kuramoto leg.), 五ヶ野 (lex., 13-IX-1990)〔高橋, 1991, 相坂, 1992〕, 春日町東中〔仲井, 1976〕。朝来郡和田山町糸井溪谷〔高橋, 1977〕。養父郡大屋町杉ヶ沢 (天滝と轟の間)〔奥谷, 1973〕。

Genus *Paridea* Baly, 1886

144. *Paridea angulicollis* (Motschulsky, 1853)

アトボシハムシ

Motschulskyが“China”産に基づき、*Rhaphidopalpa angulicollis*として記載した種である (1 Etud. Ent., 2, p.50, 1853)。Laboissiereが日本産で *Semacia nipponensis*として記載したものがこの種にあたる (Ann. Soc. Ent. France, 99, p.235, 1930)。

体長5.0-5.7mm。上翅の地色は赤褐色で、通常3つの黒紋を装うが、個体によっては小楯板後方の黒紋は消失し、まったく黒紋を欠く個体もある。頭部、前胸、腹部は黄褐色、中胸・後胸は黒色。触角は黒褐色、肢は黄褐色で、一部黒褐色。食草はアマチャヅル。

分布は広く、日本全土以外に、朝鮮半島、中国、台湾から知られている。兵庫県下にも広く産する。

産地：洲本市先山〔堀田, 1996〕, 鮎屋〔大野, 1969〕。三原郡沼島〔楠井, 1992〕。川西市芳生〔仲田, 1982〕。宝塚市香合新田〔小田中・水野, 1993〕。神戸市御影〔関, 1993〕, 北区山の街 (lex., 5-V-1955, etc.), 山田町箕谷 (lex., 10-V-1942), 山田町丹生山 (lex., 5-V-1956), 山田町谷上 (lex., 25-V-1986), 藍那 (lex., 8-VI-1978, etc.), 八多町屏風 (lex., 6-V-1993), 兵庫区鳥原 (lex., 18-VI-1983, etc.)。神崎郡笠形山 (lex., 12-VI-1975), 大河内町川上 (4exs., 7-V-1977, etc.)。多可郡加美町白山 (lex., 27-V-1973), 鳥羽 (lex., 1-VI-1975)。揖保郡新宮町福原 (lex., 10-VI-1992, etc.)。相生市三濃山 (lex., 7-V-1973)。宍粟郡波賀町原 (lex., 11-V-1979), 音水 (13exs., 16-VII-1972), 坂の谷 (2exs., 9-VI-1973)。氷上郡〔山本, 1953, 1958〕。出石郡出石町〔高橋, 1963〕。城崎郡日高町金山峠〔高橋, 1975〕, 三川山, 神鍋山〔上田, 1996〕。養父郡関宮町氷ノ山 (lex., 2-VIII-1953, etc.),

八鹿町妙見山〔上田, 1996〕. 美方郡浜坂町城山〔磯野, 1985〕, 温泉町扇ノ山〔辻, 1963, 辻・岸田, 1972, 上田, 1996〕.

145. *Paridea quadriplagiata* (Baly, 1874)

ヨツボシハムシ

Balyにより“Nagasaki”産の標本に基づいて *Aulacophora quadriplagiata* として記載された種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:186).

体長5.0-5.7mm, 上翅の地色は赤褐色, 通常2対の黒紋を装うが, 個体によっては黒紋が相接する. 小楯板は黒色. 頭部, 前胸, 腹部は黄褐色. 中胸, 後胸は黒色. 触角は黒褐色. 肢は一般に赤褐色. 食草はキョスミギクが知られている. 分布は本州, 四国, 九州, 対馬のほか, 中国東部から知られている.

兵庫県下には広く分布しており, 普通に見ることができる.

産地: 洲本市先山〔酒井, 1973, 堀田, 1978〕. 川西市大和〔仲田, 1970, 1983〕, 笹部〔仲田, 1978, 1983〕. 宝塚市玉瀬〔小田中・水野, 1993〕. 西宮市船坂 (lex., 21-V-1987, etc.). 神戸市中央区布引 (lex., 17-V-1959), 北区山の街 (lex., 16-V-1954), 山田町箕谷 (lex., 11-V-1952), 山田町丹生山 (2exs., 5-V-1956), 山田町谷上 (lex., 3-V-1957), 藍那 (lex., 22-V-1978, etc.), 八多町屏風 (lex., 10-VI-1993), 須磨区妙法寺 (2exs., 26-I-1978, etc.), 多井畑 (lex., 24-IX-1970, etc.), 西区押部谷町木津 (lex., 11-V-1984), 太山寺 (lex., 30-V-1990), 伊川谷町前開 (lex., 19-V-1988, etc.), 兵庫区鳥原 (lex., 5-VI-1966, etc.). 美濃郡吉川町 (lex., 13-IX-1985), 奥山 (lex., 17-V-1986). 三木市大村 (lex., 10-VI-1990). 加東郡東条町森 (lex., 18-V-1984). 龍野市神岡町 (lex., 14-IX-1988). 揖保郡新宮町福原 (lex., 15-V-1992, etc.). 相生市三濃山 (lex., 8-VI-1974). 多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕. 氷上郡柏原町〔山本, 1953, 1958〕. 朝来郡和田山町玉置〔上田, 1996〕. 豊岡市森尾〔高橋, 1975〕. 城崎郡城崎町来日岳〔高橋, 1975〕, 日高町奈佐路 (lex., 25-X-1985, etc.).

Genus *Pyrrhalta* Jonannis, 1866

146. *Pyrrhalta annulicornis* (Baly, 1874)

ブチヒゲケブカハムシ

Balyにより“Hiogo”を原産地として *Galleruca annulicornis* という学名で記載された種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:177).

体長7.8-8.2mm. 一般に黄褐色で, 前胸背板側方には幅広い1対の黒紋を装う. 小楯板前方の黒色紋は前縁に達しない. 上翅には肩部に黒色紋を装う. 食草はサンゴジュ, ガマズミなど. 分布は広い.

兵庫県下にも広く分布していると思われるが, 記録は意外に少ない.

産地: 三原郡諭鶴羽山〔酒井, 1973〕. Hiogo〔Baly, 1874〕. 神戸市摩耶山 (lex., 14-VIII-1955), 兵庫区鳥原 (lex., 27-V-1980, etc.). 明石市明石公園 (lex., 29-VI-1975), 北王子町〔河野・樺本・山口, 1976〕. 三木市細川町細川中 (2exs., 26-VII-1985, etc.). 小野市山田町 (5exs., 22-VII-1987). 多可郡加美町市原 (16exs., 24-IX-1972), 鳥羽 (lex., 6-IX-1975). 宍粟郡波賀町音水 (lex., 8-IX-1972). 氷上郡〔山本, 1953〕.

147. *Pyrrhalta esakii* Kimoto, 1963

エグリバケブカハムシ

木元新作博士により“東京, 長野, 奈良, 岐阜, 大阪, 京都”産の標本を用いて記載された種である (Fragm. Col., ed. T. Nakane, Pars.4: 17, 1942).

一般に黄褐色. 前胸背板は側縁部近くに1対の黒紋を装い, 個体によって小楯板前方に小黒紋を装う. 上翅は肩部に黒紋を装う. 触角は黒色, 各節の基部1/4から1/6は黄褐色. 肢は黄褐色で, 腿節末端部・脛節背面, ふ節はさまざまな程度に暗色化する. 上翅側片は末端部近くまで等幅で, 末端部でえぐられる. 体長7.0-8.2mm. 食草はサンゴジュが知られる. 北海道, 利尻島, 本州, 九州に分布している.

兵庫県下にも広く分布していると思われるが, 記録はあまり多くない.

産地: 川西市笹部〔仲田, 1978, 1982〕. 宝塚市香合新田〔水野, 1993〕. 相生市三濃山 (lex., 16-VI-1974)〔大野, 1967〕. 宍粟郡波賀町音水 (lex., 25-VI-1972, etc.). 多紀郡篠山町雨石山〔林ほか, 1995〕. 養父郡関宮町氷ノ山 (lex., 25-VIII-1956), 大屋町杉ヶ沢〔磯野, 1985〕. 美方郡温泉町扇ノ山〔磯野, 1985〕.

148. *Pyrrhalta humeralis* (Chen, 1942)

サンゴジュハムシ

Chenにより“China”産に基づいて記載された種である (Notes d'Ent. Chinoise, 9, p.17, 1942).

一般に暗黄褐色. 前胸背板側方部には, 幅広い1対の黒紋を装い, 小楯板前方の黒色紋は前縁に達する. 上翅には肩部に黒色紋を装う. 触角は末端節近くでは長さが幅の約3倍. 小楯板は台形, 上翅の点刻は弱く,

まばらに装う。前胸背板中央部の黒色紋は前縁に達する。体長5.8-6.8mm。食草はサンゴジュ・ガマズミなどが知られている。

兵庫県下には広く分布している。

産地：三原郡論鶴羽山〔大野，1969〕。洲本市先山〔大野，1969〕。川西市笹部，妙見山上〔仲田，1970，1978，1982〕。伊丹市〔河上，1984〕。宝塚市宝梅町〔東，1995〕。神戸市摩耶山 (2exs., 14-VIII-1955)，北区山田町金剛童子山 (2exs., 24-V-1956)，西区押部谷町木津 (3exs., 5-X-1984)。神崎郡大河内町川上 (1ex., 15-VII-1977)。相生市三濃山 (11exs., 6-VII-1973)。多紀郡篠山町雨石山〔林ほか，1995〕。出石郡出石町〔高橋，1963〕。豊岡市神武山〔高橋，1975〕。江本，妙楽寺〔上田，1996〕。美方郡温泉町扇ノ山〔辻・岸田，1972〕。浜坂町味原，城山〔磯野，1985〕。

149. *Pyrrhalta maculicollis* (Motschulsky, 1863)

ニレハムシ

Motschulskyにより，“N. China”から*Galeruca maculicollis*として記載された種である (Etud. Ent. 2, p.49, 1853)。一般に暗黄褐色。上翅は肩部に黒紋を装い，さらに肩部と同じ位置から側縁に平行な黒色条を装う。触角第3節は第4節とほぼ等長。体長6.5-6.9mm。食草はニレ。

兵庫県下には広く分布している。

産地：津名郡津名町常隆寺山〔堀田，1959〕。愛宕山〔大野，1969〕。三原郡論鶴羽山〔大野，1969〕。洲本市鮎屋〔大野，1969〕。川辺郡猪名川町木間生〔仲田，1978，1982〕。川西市笹部〔仲田，1978，1982〕。伊丹市〔河上，1984〕。神戸市北区山田町箕谷 (4exs., 30-V-1943)，八多町屏風 (1ex., 22-VII-1993)，西区押部谷町木津 (3exs., 5-X-1984)，兵庫区烏原 (15exs., 30-V-1971, etc.)，須磨区多井畑 (2exs., 23-V-1990)。三木市細川町細川中 (1ex., 2-VIII-1985)。小野市来住町 (1ex., 12-IX-1991)。氷上郡神楽村 (現青垣町)〔山本，1953〕。神崎郡大河内町川上 (1ex., 18-VI-1977)。多可郡加美町鳥羽 (1ex., 8-V-1976)。朝来郡和田山町枚田岡〔上田，1996〕。城崎郡日高町上郷〔上田，1996〕。竹野町〔高橋，1996〕。豊岡市中郷〔上田，1996〕。養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 20-VIII-1953)。美方郡浜坂町味原，宇都野神社，城山，観音山，清富〔磯野，1985〕。村岡町鉢北高原〔上田，1996〕。

150. *Pyrrhalta semifulva* (Jacoby, 1885)

アカタデハムシ

Jacobyにより“Japan: Kiga”より，*Galerucella semifulva*として記載された種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:745)。Jacobyが“Nikko”産で記載した*Galerucella modesta* (I. C., p.745, 1885) および Weiseが“Kioto”産で記載した*Lochmaea japonica* (Tijdschr. Ent. 65, p.67, 1922) は，共に本種のシノニムである。

体背面は一般に赤褐色～黄褐色，小楯板は黒色。前胸背板は多くの場合中央部が黒色で，個体によっては全体が黒色。頭部，中・後胸，肢の色彩は変異に富み，一般的には赤褐色で，個体によってさまざまな程度に黒化する。触角は黒色で，個体によっては基部4・5節が赤褐色。上翅側片は末端部で不明瞭。体長3.0-5.0mm。食草はサクラ類，トサミズキなど。

産地：三原郡論鶴羽山〔大野，1969〕。洲本市鮎屋，先山〔大野，1969〕。川辺郡猪名川町木間生〔仲田，1978，1982〕。川西市笹部〔仲田，1978，1982〕。宝塚市売布ヶ丘，大原野〔水野，1993〕。西宮市盤滝 (1ex., 29-V-1987, etc.)。神戸市摩耶山〔Chûjô, 1954〕。石楠花山麓 (1ex., 1-VI-1984)，北区山の街 (1ex., 5-V-1955)，有野町逢山峡 (1ex., 27-VI-1987)，藍那 (15exs., 28-VI-1993)，八多町屏風 (2exs., 6-V-1993)，兵庫区烏原 (1ex., 9-V-1943, etc.)，六甲山 (1ex., 12-V-1986)。小野市山田町 (1ex., 23-VI-1987)。三木市本町 (1ex., 14-V-1988, etc. M. Nishida leg.)。加東郡社町三草 (5exs., 24-VI-1987, etc.)。神崎郡大河内町川上 (4exs., 18-VI-1977, etc.)。揖保郡新宮町福原 (1ex., 15-V-1992)。相生市三濃山 (3exs., 7-V-1972, etc.)。宍粟郡波賀町音水 (1ex., 31-V-1970, etc.)，坂の谷 (1ex., 9-VI-1973)。氷上郡鳴庄村 (現 市島町)〔山本，1953〕。多紀郡西紀町 (1ex., 20-IV-1982, etc. Y. Hachitani leg.)。養父郡関宮町福定～氷ノ山 (1ex., 27-VII-1957)〔木元・日浦，1971，高橋，1975〕。美方郡浜坂町宇都野神社，護国神社，城山，観音山〔磯野，1985〕。

151. *Pyrrhalta seminigra* (Jacoby, 1885)

カエデハムシ

Jacobyが“Yokohama”産で*Galerucella seminigra*として記載した種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:744)。

一般に黒色で，前胸背板後縁および上翅は黄褐色。体長5.0-7.0mm。

兵庫県下での記録はあまり多くない。

産地：神戸市六甲山 (1ex., 29-V-1987)。三木市大村 (1ex., 10-V-1990)，本町 (2exs., 11-V-1990, M.

Nishida leg.). 小野市来住町 (1ex., 21-VI-1991). 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 27-VII-1956). 美方郡温泉町扇ノ山 [辻・岸田, 1972].

152. *Pyrrhalta takeii* (Chûjô, 1950)

オオサクラケバカハムシ

“Numata-machi, Tone-gun, Gumma-ken” で T. Takei により採集された1♀をholotypeとして、中條道夫博士が *Lochmæa* (*Tricholochmæa*) *takeii* として、図を付して記載した種である (Kontyu Vol.18, No.5, p.114-116, 1950).

全体的にカエデハムシに似ている。前胸背板・上翅は赤褐色、小楯板は赤褐色で、基部は多少暗色。頭部は黒色、前頭隆起は暗褐色。体腹面は全体黒色。触角は黒色で、基部1・2節は暗褐色。肢は一般に黒色で、脛節、ふ節は赤褐色。前胸背板後角は強く裁断される。本州・九州に分布。

兵庫県下では、磯野昌弘博士による扇ノ山からの記録が知られているだけである。

産地：美方郡温泉町扇ノ山 [磯野, 1985].

153. *Pyrrhalta tibialis* (Baly, 1874) エノキハムシ

Baly が “Nagasaki” 産で *Galleruca tibialis* として記載した種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:176). 全体黄褐色で、触角は黒色。肢は黄褐色で、脛節は黒色。体長7.5-8mm. 食草はエノキが知られている。兵庫県下には広く産する。

産地：洲本市先山 [堀田, 1978]. 伊丹市 [河上, 1984]. 宝塚市宝塚大橋 [新家, 1989]. 売布ヶ丘南口2丁目 [水野, 1993]. 神戸市兵庫区鳥原 (22exs., 2-VII-1972, etc.). 北区北鈴蘭台大山公園 (1ex., 21-VII-1972, Y. Hachitani leg.). 八多町屏風 (1ex., 6-V-1983). 須磨区須磨 (2exs., 9-VII-1982, Y. Hachitani leg.). 三田市内 (2exs., 21-IX-1941). 宍粟郡波賀町上野 [相坂, 1995]. 美方郡浜坂町城山 [磯野, 1985].

Genus *Stenoluperus* Ogloblin

154. *Stenoluperus cyaneus* (Baly, 1874)

ルリウスバハムシ

Baly が “Hiogo” 産で *Arthrotus cyaneus* として記載した種である (Trans. Ent. Soc. Lond., 1874:184).

体背面は黒青色。頭部、体腹面、触角、肢は一般に黒色～黒青色。♂の触角第3節は、第2節の約1.5倍。♀の第3節は、第4節の1/2。体長3.5-4.0mm. 食草はカワチブシが知られている (木元, 1984).

兵庫県下には広く分布している。

産地：川西市大和、笹部 [仲田, 1978, 1982]. 宝塚市切畑字長尾山 [小田中・水野, 1993]. 西宮市盤滝 (1ex., 10-VI-1987). Hiogo [Baly, 1874]. 神戸市六甲山 (9exs., 18-VI-1967). 北区山田町丹生山 (1ex., 18-V-1958). 有野町五社 (1ex., 28-VI-1959). 西区太山寺 (2exs., 6-V-1957). 押部谷町木津 (3exs., 30-V-1984, etc.). 伊川谷町 (1ex., 7-VI-1988). 兵庫区鳥原 (1ex., 28-VI-1982). 美囊郡吉川町 (1ex., 16-V-1986). 三木市細川町細川中 (3exs., 22-V-1985). 口吉川町 (3exs., 16-V-1986). 小野市山田町 (4exs., 16-V-1987). 加東郡社町三草 (3exs., 22-V-1989, etc.). 龍野市神岡町 (1ex., 26-V-1988). 宍粟郡波賀町音水 (2exs., 4-V-1972, etc.). 豊岡市河合 [高橋, 1975]. 養父郡関宮町氷ノ山 (8exs., 24-VII-1955).

155. *Stenoluperus nipponensis* (Laboissiere, 1913)

ヒゲナガウスバハムシ

Jacoby が “Nikko, Kobe, Yuyama” 産をもとに *Luperus longicornis* という学名で記載した種 (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885:742) に対し、Laboissiere は *Luperus nipponensis* という新しい学名を与えた (Ann. Ass. Nat. Levallois-Perret, p.67, 1913). さらに、Weise は *Luperus longicornis* に対して、*Luperus jacybyi* という新名を与えた (Junk Col. Cat. 78, p.119, 1924) が、現在では表記の学名が使われている (Kimoto, 1994).

体背面は黒青色、頭部、体腹面、触角、肢は一般に黒色～黒青色。触角第3節は第4節よりやや短く、♂の第3節は第2節の3倍より長い。体長3.5-4.0mm. 食草はカエデ類。

兵庫県下には広く分布している。

産地：川西市大和 [仲田, 1970, 1978, 1982]. 西宮市盤滝 (4exs., 10-VI-1987, etc.). Kobe [Jacoby, 1885]. 神戸市北区山の街 (1ex., 16-V-1954). 藍那 (2exs., 6-VI-1965). 山田町丹生山 (1ex., 15-V-1955). 兵庫区鳥原 (1ex., 27-IV-1973). 西区太山寺 (4exs., 6-V-1957, etc.). 三木市細川町細川中 (3exs., 22-V-1985). 口吉川町 (1ex., 16-V-1986). 小野市山田町 (4exs., 16-V-1987). 加東郡社町三草 (1ex., 7-V-1987). 宍粟郡波賀町音水 (2exs., 20-VII-1959, etc.). 坂の谷 (2exs., 9-VI-1973). 多紀郡篠山町雨石山 [林ほか, 1995]. 氷上郡鳴庄村 (現 市島町) [山本, 1953]. 養父郡関宮町氷ノ山 (1ex., 24-VII-1955) [中根, 1953]. 美方郡温泉町扇ノ山 [辻・岸田, 1972].

Genus *Taumacera* Thunberg, 1814

156. *Taumacera tibialis* (Jacoby, 1885)

クロバヒゲナガハムシ

Jacobyにより“Nara, Kobe, Maiya-san, Nikko”を産地に、*Aenidea tibialis*として記載された種である (Proc. Zool. Soc. Lond., 1885, p.750, pl.46, fig.8)。

上翅は黒色。小楯板は黒褐色。頭部、前胸背板、体腹面、肢は赤褐色。触角は暗褐色。♂の触角第3節から第10節までは肥厚し、強く湾曲してその下面に長い剛毛を密に装う。♀では正常。

上翅の点刻は弱く、まばらに装う。点刻間室にはほとんど点刻を欠き、表面にはさめ肌状の印刻を装う。体長は4.2-5.5mm。分布は本州、四国、九州。

兵庫県下からは、原記載以後、2ヶ所しか記録が知られていない。もっと調べなくてはならない種である。産地：川西市大和、笹部〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市摩耶山〔Jacoby, 1885〕。

追加：ヒゲナガハムシ亜科 (Glerucinae) に属する次の種が兵庫県から記録されているので、ここに追加種として記録しておく。

Ophraella notulata (Fabricius, 1801) ブタクサハムシ

本種の日本国内における発見は、1997年に朝霞市岡2丁目において大野正男が発見した記録であるかと思う (昆虫と自然, Vol.32, No.11, p.35, 1997)。北米東部に広く分布し、その分布はメキシコにまで及ぶとのことである。北米から輸入されつづけている家畜用の干草にまぎれて侵入してきたのではないかとされている。

W. Junkのカタログを見ると、*Galerucella notulata* Fabriciusという学名で収録されており (Coleop. Cat. 78: 58, 1924)、原記載はFabricius (Syst. El. 1, 1801, p.489) となっている (E. Zimsemの“The Type Material of I. C. Fabricius”によると、p.110, *Galleruca notulata* Syst. El. I, p.489, 57 in Caralina Mus. D. Bosc-(Keil 5 specimens)とある)。

安川源通は、東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県に分布していることを報告した (Scias Vol.2, No.20, p.6-7, 1997) (この報告と大野教授の発表とは、発表誌の出版日付が逆になっているとのこと)。その後、岩田隆太郎・岩田厚子は神奈川県下に本種が分布することを紹介し (月刊むし, No.325, pp.43-44, 1998)、近畿地方では市川顕彦・細井孝昭・宮武頼夫が大阪府枚方市東淀川河川敷で記録した (Nature Study, 1998(3): 7-8)。さらに東浩司は大阪府豊中市ならび

に兵庫県尼崎市の記録を報じた (ねじればね, No.80: 11, 1998)。兵庫県下からの記録はこれが初めてのものであり、産地は尼崎市椎堂猪名川河川敷であった (5exs., 16-VIII-1998)。さらに西本裕は、神戸市東灘区住吉山手、灘区六甲台町、北区有野町、北区道場町、芦屋市前田町、西宮市山口町、朝風町、尼崎市末広町、伊丹市中野東、宝塚市波豆、切畑と多くの産地を示している (兵庫生物ニュース, No.37: 251, 1999)。

兵庫昆虫同好会の近藤伸一氏は、県下を広く調査され、次のごとく多くの産地を確認された。尼崎市西大島、芦屋市山手町、神戸市東灘区住吉台、住吉山手3丁目、灘区桜ヶ丘町、中央区布司谷、西区岩岡町、伊川谷町有瀬、伊吹、神出町東、北区山田町衝原、明石市鳥羽、大久保町大窪、西新町、稲美町印南、三木市別所町花尻、小野市浄谷町、船木町、加東郡社町社、滝野町上滝野、西脇市富田町、加美町寺内、竜野市揖保今市、揖保郡新宮町、赤穂市有年横尾、上郡町山野里、船坂、高山、行頭、朝来郡山東町金浦と、産地は県下の中・南部全域に及ぶが、但馬地域と淡路島ではこれまでのところ、生息が確認できていないという (私信, 1998年10月8日)。

すでに四国 (月刊むし, No.343, 1999)、山口県・福岡県 (月刊むし, No.345, 1999) での記録も報告されている。西日本全域に分布が広がる日も近いのであろう。

但馬むしの会の年会費は3000円です。

会費未納の会員は速やかに

お支払いください。

また、本誌に寄稿された方は、

原稿掲載料として

1000円をお支払いください。

25号に向けて、カンパも募ります。

郵便振替は、

01120-3-16245, 但馬むしの会, です。

記録による但馬の甲虫相(2)

(兵庫県甲虫相資料・364)

高橋 寿郎 ↑

但馬における甲虫相の研究史(2)

244. 高橋寿郎 (1982) 兵庫県のクワガタムシ. てんとうむし(8): 141-152.
但馬産14種を記録.
245. 黒田収 (1982) 氷ノ山周辺のカミキリムシ分布調査. てんとうむし(8): 153-166.
222種が記録されている.
246. Sakai, M. (1982) Occurrence of the Genus *Eurypogon* Motschulsky in Japan and Taiwan (Coleoptera: Antematopidae). Trans. Shikoku Ent. Soc. 16(1/2): 51-61, Fig.7,11,18.
Eurypogon hisamatsui Sakaiが記載されている.
Paratypesの中に1♀, Mt. Hyonosen, Tottori Pref. 5~8-VII-1972, Y. Furuki leg.が入っている. 鳥取県側での採集かもしれないが, 氷ノ山産なので記録しておく.
247. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のマメゾウムシ. PARNASSIUS(27): 1-6.
但馬産3種を記録.
248. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のアシナガコガネ. 兵庫生物8(4): 231-232.
但馬産3種を記録.
249. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のハムシダマシ. PARNASSIUS(24): 4-9.
但馬産9種を記録.
250. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のオオキノコムシ(1). (兵庫県甲虫相資料・124). きべりはむし11(1): 10-16.
但馬産8種を記録.
251. 江本健一 (1983) ハナゾウムシ2種の分布記録. 月刊むし(150): 34.
コブハナゾウムシ *Tachypterellus dorsalis* Voss et Chûjô の扇ノ山での記録 (lex., 22-V-1982, Tôyama leg.).
252. 水野弘造 (1983) ビドニ屋繁盛記(2). 月刊むし(151): 9-12.
カクムネヒメハナカミキリ *Pidonia maculithorax* Pic = ツマグロヒメハナカミキリの氷ノ山産の記録.
253. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のエンマムシ類. PARNASSIUS(29): 1-14.
但馬産15種を記録.
254. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のオオキノコムシ(2). きべりはむし11(2): 33-40.
但馬産11種を記録.
255. 高橋匡 (1983) 但馬地方昆虫目録(予報第5報)訂正. IRATSUME(7): 22-23.
256. 加野正 (1983) オニクワガタを三川山にて採集. IRATSUME(7): 39.
257. 高橋寿郎 (1983) 兵庫県のスジコガネ. IRATSUME(7): 30-51.
但馬産21種を記録.
258. Habu, A. (1983) Revised and Supplementary Notes on and Descriptions of the *Truncatipennis* Group of Japan (III) (Coleoptera, Carabidae). Entom. Rev. Japan 38(2): 105-146.
p.112, No.66. *Lebia* (*Poecilothais*) *isolanthe* Bates コジユウジアトキリゴミムシ Mt. Hachifuse, Hyogo Pref. (after Kawatsu, 1962).
259. Sasaji, H. (1983) Contribution to the Taxonomy of the Superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her Adjacent Districts, I. Mem. Fac. Educ., Fukui Univ., Ser. II, Nat. Sci. (33): 17-52.
p.29. *Biphyllus humeralis* (Reitter, 1885) Hyogo Pref.: Hyônosen.
p.34-36. *Biphyllus japonicus* Sasaji Paratypes. 1ex. Hyônosen, Hyogo Pref. 26~30-VII-1969, M. Sasaji leg.
260. 水野弘造 (1984) ビドニ屋繁盛記(4). 月刊むし(155): 6-9.
須賀ノ山のビドニア産出数についての報告あり.
261. 今坂正一・中條道崇 (1984) ヒサゴゴミムシダマシ属の系統と進化(7). 月刊むし(154): 21-26.
ツヤヒサゴゴミムシダマシの氷ノ山の記録あり.
262. 高橋寿郎 (1984) 兵庫県の甲虫類(1). (兵庫県甲虫相資料・127). 兵庫生物8(5): 289-292.
但馬産ホソホタルモドキ科2種, カツオブシムシ科

6種の記録。

263. 岸井尚 (1984) 兵庫県のコメツキムシ (1) .
きべりはむし12(1): 1-14.

但馬産と明記されているもの3種の記録あり。

264. 小田中健 (1984) 出石郡糸井溪谷におけるマヤ
サンコブヤハズカミキリの記録。きべりはむし12(1)
: 25.

265. 但馬むしの会 (1984) 扇ノ山でコルリクワガタ
を多数発見, 扇ノ山のヒメオオクワガタ。混蟲ずかん
(6): p.1,3.

266. Kishii, T. (1984) The Elaterid-beetles of the Tribe
Agriotini from Japan (Coleoptera: Elateridae, Elaterinae).
Bull. Heian High School (28): 11-77, 2pls.

- p.28-30, Fig.12,48,57,120,121&125. *Dalopius bizen*
Kishii, 1984チュウゴクナカグロヒメコメツキ
Paratype: 氷ノ山, 1♀, 27-VI-1976, T. Takahashi leg.

267. 但馬むしの会 (1984) 扇ノ山からのクワガタム
シ類の記録。混蟲ずかん(7): 2-3.

マダラクワガタ, ヒメオオクワガタ, オニクワガタ
の記録。

268. 高橋寿郎 (1984) 兵庫県のハナムグリ。てんと
うむし(9): 1-18.

但馬産12種の記録あり。

269. 草間慶一ほか (1984) 日本産カミキリ大図鑑。
568p. 96pls. (講談社・東京)

特に但馬産として明記して図説されたものが次のよ
うにある (学名省略)。

- p.195, pl.14, f.88a. ミワヒメハナカミキリ♀, 兵庫
県氷ノ山, 17-VII-1971, 辻啓介採集。

- p.445, pl.73, f.500b. ヤハズカミキリ♀, 氷ノ山麓,
23-VII-1978, 遠山採集。

270. Sasaji, H. (1984) Contribution to the Taxonomy of
the Superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her
Adjacent Districts, II. Mem. Fac. Educ., Fukui Univ., Ser.
II, Nat. Sci. (34): 21-63.

- p.22. ヒラムネマルキスイ *Serratoma tarsulis*
Nakane et Hisamatsu, 1963 Hyogo Pref.: Hyonosen.

- p.49. カタアカケシジョウカイモドキ *Omineus*
humeralis Lewis, 1895 1♀, Hyonosen Hyogo Pref. 25~
28-V-1975, H. Sasaji leg.

- p.57. フタオビホソナガクチキムシ *Diraea*
erolyoides Lewis, 1895 1♂, 1♀, Hyonosen Hyogo Pref.
26~30-VII-1969, H. Sasaji leg.

271. 高橋寿郎 (1985) 兵庫県の甲虫類 (2) . 兵庫
生物9(1): 23-26.

但馬からシバンムシ科4種を記録。

272. 山口福男 (1985) 出石糸井県立自然公園の昆虫。
出石糸井県立自然公園及び周辺地域の自然環境調査報
告, p.23-27. (兵庫県新観光課刊)。

273. 山口福男 (1985) 朝来群山県立自然公園の昆虫。
朝来群山県立自然公園及び周辺地域の自然環境調査報
告, p.33-37. (兵庫県新観光課刊)。

274. 有本久之 (1985) 兵庫県産コメツキムシの記録。
きべりはむし13(1): 20-21.

ヒメホソキコメツキ, ミヤマタテスジコメツキ, ク
ロアシブトコメツキ, キアシムナボソコメツキ, チャ
グロヒサゴコメツキの氷ノ山からの記録。

275. Komiya, Y. (1985) Studies on the Trichochrysea-
species of Japan, Ryuku Archipelago, Taiwan and Korea
(Coleoptera, Chrysomelidae, Eumolpinae). ELYTRA
12(2): 11-25.

朝来郡生野町栃原産トビサルハムシの記録あり。

276. 奥谷禎一 (1985) 「大岡山自然環境調査報告」。
B5, 50p. (園田学園刊) (ref. p.5, 42-44)。

城崎郡日高町大岡山の昆虫23科31種を記録。

277. 谷角素彦 (1985) 扇ノ山を主にした但馬のクワ
ガタムシ。IRATSUME(8/9): 64-66.

9種を記録。

278. 高橋匡 (1985) 但馬地方昆虫目録 (予報第8
報)。IRATSUME(8/9): 67-72.

ホタルモドキ科2種, ホタル科10種, ジョウカイボ
ン科19種, ベニボタル科23種の記録。

279. 高橋寿郎 (1985) 兵庫県のコフキコガネ。
IRATSUME(8/9): 73-84.

但馬産9種を記録。

280. 磯野昌弘 (1985) 但馬地方西部のハムシ。
IRATSUME(8/9): 85-97.

但馬産141種を記録。

281. 高橋寿郎 (1985) 兵庫県のコメツキモドキ科。
IRATSUME(8/9): 126-129.

但馬産3種を記録。

282. 加野正 (1985) 但馬のカミキリムシ (II)。
IRATSUME(8/9): 130-139.

65種を記録。

283. 加野正 (1985) 但馬のカミキリムシ (III)。
IRATSUME(8/9): 140-148.

91種を記録。

284. 足立義弘 (1985) 大屋町加保坂でカツラネクイ
ハムシ採集。IRATSUME(8/9): 151.

285. 足立義弘 (1985) スジグロベニボタルを採集。

IRATSUME(8/9) : 152.

村岡町鉢北高原先大沼にて.

286. 谷角素彦 (1985) 兵庫県で採集した 2 種のカミキリムシ. 月刊むし(174) : 41.

エゾナガヒゲカミキリ (美方郡村岡町村岡高原),
ホウノキトゲバカミキリ (美方郡温泉町扇ノ山小ツッ
コ).

287. 野尻湖研究グループ (1985) 「アトラス 日本の
ネクイハムシ」 B5, 182p. 4col. pls. (野尻湖昆虫グル
ープ刊・大阪).

イネネクイハムシの美方郡での記録あり.

288. 高橋寿郎 (1986) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ
(1). 兵庫生物9(2) : 111-114.

但馬産 12 種を記録.

289. Watanabe, Y. (1986) A Revisional Study of the
Japanese Genus *Megalopaederus* (Coleoptera,
Staphylinidae). Ent. Pap. pres. Kurosawa Tokyo, pp.
159-169.

p.165-167. *Megalopaederus wadai* Scheerpeltz. Hyogo
Pref. Mt. Hyonosen, 5♂♂9♀♀, 6-V-1972, K. Tsuji leg.

290. 神垣匡伸 (1986) 兵庫県におけるオニホソコバ
ネカミキリの記録. 月刊むし(182) : 36.

養父郡関宮町福定, 1♂, 11-VII-1985.

291. 高橋寿郎 (1986) オオチャイロハナムグリにつ
いて. きべりはむし14(1) : 1-6.

氷ノ山, 扇ノ山の記録あり.

292. 高橋寿郎 (1986) 兵庫県のベニボタル (1).
きべりはむし14(1) : 6-11.

但馬産 7 種を記録.

293. 足立義弘 (1986) 但馬のカミキリムシ追加記録.
IRATSUME(10) : 38-39.

13 種を記録.

294. 高橋寿郎 (1986) 兵庫県におけるタケムラスジ
コガネの分布. IRATSUME(10) : 44-45.

但馬地方では三川山, 鉢伏山, 扇ノ山の記録.

295. 足立義弘 (1986) 扇ノ山でオニクワガタの幼虫
を採集. IRATSUME(10) : 47.

296. 足立義弘・谷角素彦 (1986) コルリクワガタの
後食例. IRATSUME(10) : 48.

扇ノ山にて.

297. 足立義弘 (1986) 扇ノ山でマダラクワガタの幼
虫を採集. IRATSUME(10) : 49.

298. 足立義弘 (1986) コルリクワガタの産卵・孵化
時期. IRATSUME(10) : 50.

299. 谷角素彦 (1986) 兵庫県北部のナガクチキムシ

科採集記録. IRATSUME(10) : 114-116.

但馬地域から 17 種を記録.

300. 岸井尚 (1986) 日本とその周辺地域に分布する
コメツキムシについての知見 (6). 月刊むし(184)
: 32-35.

p.32. オオミドリヒメコメツキ *Vuilletus
crebrepunctatus* (Nakane, 1959) の産地に Hataganaru (畑
ヶ平) がある.

301. 谷角素彦・黒井和之 (1986) ツシマムツボシタ
マムシの兵庫県における採集例. 月刊むし(184) : 41.
温泉町蒲生峠での記録.

302. 村岡野外学習サークル編 (1961) 「村岡の自然
と遊ぶ」 A5, 342p. (村岡町教育委員会刊).

p.112-114. ロマンを呼ぶゲンジボタルとヘイケボ
タルの記録がある (昆虫担当: 西村登).

303. 高橋寿郎 (1986) 兵庫県のベニボタル (2).
きべりはむし14(2) : 27-30.

但馬産 7 種を記録.

304. 高橋寿郎 (1986) ヒラタアオコガネの兵庫県下
の分布状況. きべりはむし14(2) : 40-41.

養父郡杉ヶ沢の記録.

305. 高橋寿郎 (1986) エンマムシモドキの記録. き
べりはむし14(2) : 44.

氷ノ山での記録.

306. 水野弘造 (1986) 兵庫県産ナガクチキムシ科甲
虫目録. さやばね(11) : 29-35.

但馬産 33 種を記録.

307. Ishida, K. (1986) A Revision of the Genera
Athemus and *Athemellus* of Japan (Coleoptera :
Cantharidae). Trans. Shikoku Ent. Soc. 17(4) : 193-213.

p.206. *Athenellus insulsus* (Harold) ウスチャジョウ
カイ Hyogo [Mt. Oginosen] の記録あり.

308. Satô, M. (1986) New Cantharoidea from Japan, II
(Coleoptera). Trans. Shikoku Ent. Soc. 17(4) : 255-261.

p.261. *Pristolycus sagulatus adachii* M. Satô スジグロ
ベニボタル

Holotype : ♂, Hachikita-kogen, Muraoka-cho, Hyogo
Pref., 12-VII-1983, Y. Adachi leg.

Allotype : ♀, same locality as the holotype, 18-VII
-1982, Y. Adachi leg.

Paratypes : 5exs., same locality as the holotype, 1ex.,
same data as the allotype, 1ex., same locality as the
holotype, 10-VII-1983, M. Tanikado leg.; 2exs., ditto, 15-
VII-1984, M. Tanikado leg.; 1ex., ditto, 13-VII-1984, Y.
Adachi leg.; 1♂, Kozukko, Oginosen, Hyogo Pref., 30-VII

-1984, Y. Adachi leg.

309. 大阪大学生物研究会昆虫班 (1986) マダラクワガタ (蛹になるまで). Noctiluca(383B): 66-67. マダラクワガタ (蛹について). Noctiluca (386A): 27-32.

氷ノ山産 (22-VI-1986) の材料による (Larvae).

310. 高橋寿郎 (1987) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ (2). 兵庫生物9(3): 153-156.

但馬産13種を記録.

311. 奥田則雄・藤田宏 (1987) 西南日本におけるルリクワガタ属の1新種. 月刊むし(192): 4-13.

p.7. 氷ノ山, 扇ノ山のコルリクワガタの記録.

312. 藤田宏・市川敏之 (1987) 九州産ヒメオオクワガタの1新亜種. 月刊むし(193): 17-20.

氷ノ山, 扇ノ山産ヒメオオクワガタの図説あり.

313. 高橋寿郎 (1987) 兵庫県のダイコクコガネ. てんとうむし(10): 23-26.

但馬産の食糞性コガネムシ11種を記録.

314. 高橋寿郎 (1987) 兵庫県のナガハナノミ・ヒラタドロムシ. てんとうむし(10): 55-58

但馬産ナガハナノミ科7種, ヒラタドロムシ科5種を記録.

315. 花岡正 (1987) フタスジカタビロハナカミキリ. てんとうむし(10): 65.

氷ノ山, 扇ノ山の記録あり.

316. 花岡正 (1987) 材から得たカミキリ. てんとうむし(10): 69.

美方郡浜坂町にて.

317. 高橋寿郎 (1987) 兵庫県のツツハムシ. PARNASSIUS(30): 3-11.

但馬産14種を記録.

318. 高橋寿郎 (1987) ダイコクコガネについて. きべりはむし15(1): 1-8.

但馬の記録もあり.

319. 高橋寿郎 (1987) 兵庫県のベニボタル (3). きべりはむし15(1): 8-15.

但馬産8種を記録.

320. 高橋寿郎 (1987) ラミーカミキリ豊岡市上佐野に多産. きべりはむし15(1): 28.

321. 谷角素彦・足立義弘 (1987) 兵庫県北部のベニボタル科採集記録. IRATSUME(11): 70-71.

15種を記録.

322. 佐藤邦夫 (1987) 但馬地方のカミキリムシ. IRATSUME(11): 72-90.

165種を記録.

323. 足立義弘 (1987) 村岡町でヒメビロウドカミキリとキヌツヤハナカミキリを採集. IRATSUME(11): 91.

324. 足立義弘 (1987) ヒメオオクワガタの長生きの記録. IRATSUME(11): 92.

325. 足立義弘 (1987) ヒメオオクワガタを灯火で採集. IRATSUME(11): 92-93.

扇ノ山畑ヶ平にて.

326. 上田尚志 (1987) 和田山町でチビクワガタを採集. IRATSUME(11): 94.

327. 山崎喜彦 (1987) 和田山町でネプトクワガタを採集. IRATSUME(11): 94.

328. 前平照雄 (1987) 豊岡市でネプトクワガタを採集. IRATSUME(11): 94-95.

329. 上田尚志 (1987) 八鹿町妙見山でオオチャイロハナムグリを採集. IRATSUME(11): 95.

330. 谷角素彦 (1987) 鉢北高原でムネアカセンテコガネを採集. IRATSUME(11): 96.

331. 上田尚志 (1987) 出石町でムネマダラトラカミキリを採集. IRATSUME(11): 98.

332. 山崎喜彦 (1987) 和田山町でマヤサンコブヤハズカミキリを採集. IRATSUME(11): 98.

333. 田中正浩 (1987) 兵庫県のクワガタムシ. 昆虫と自然22(7): 9-14.

但馬産14種を記録.

334. 高橋寿郎 (1987) ムラサキツヤハナムグリとミヤマオオハナムグリについて. きべりはむし15(2): 31-42.

但馬産ムラサキツヤハナムグリの記録あり.

335. 高橋寿郎 (1987) ヤノトラカミキリの記録. きべりはむし15(2): 57.

朝来郡朝来町にて.

336. 高橋寿郎 (1987) ツヤハダクワガタ氷ノ山に産す. きべりはむし15(2): 57-58.

337. 杉田守輝 (1987) 京都府におけるヒメオオクワガタの採集例. 月刊むし(202): 31.

氷ノ山の記録をふくむ.

338. 高橋寿郎 (1988) 兵庫県のゴミムシダマシ (1). 兵庫生物9(4): 238-240.

但馬産2種を記録.

339. 谷角素彦 (1988) 但馬地方のクワガタムシ. IRATSUME(12): 1-10.

12種を記録.

340. 佐藤邦夫 (1988) 但馬地方のカミキリムシ (II). IRATSUME(12): 24-30.

70種を記録.

341. 谷角素彦 (1988) 但馬地方におけるラミーカミキリの記録. IRATSUME(12): 31-33.

342. 足立義弘 (1988) 扇ノ山でツマグロコメツキを採集. IRATSUME(12): 79.

343. 佐藤邦夫 (1988) 温泉町でオオキイロコガネを採集. IRATSUME(12): 82.

344. 足立義弘 (1988) スジグロボタルの交尾. IRATSUME(12): 86-87.

美方郡村岡町大笹 (鉢北高原) にて.

345. 佐藤邦夫 (1988) 温泉町でオオムツボシタマムシを採集. IRATSUME(12): 87-88.

346. 前平照雄 (1988) 但馬におけるナカネアメイロカミキリ・タイワンメダカカミキリの採集例. IRATSUME(12): 88-89.

出石郡出石町三木にてナカネアメイロカミキリ, 豊岡市下陰にてタイワンメダカカミキリを記録.

347. 高橋寿郎 (1988) シラホシハナムグリの兵庫県下での分布. きべりはむし16(1): 5-6.

出石郡出石町の記録がある.

348. 岡島秀治・山口進 (1988) 「検索入門クワガタムシ」. B6, 207p. (保育社, 大阪).

美方郡でのマダラクワガタ, コルリクワガタ, ノコギリクワガタ, ヒメオオクワガタ, アカアシクワガタの成虫・蛹・卵がデータと共に紹介されている.

349. 岩田隆太郎 (1988) 近畿地方のカミキリ相. Spec. Bull. Jpn. Soc. Coleop. (3): 38-43.

350. 山地治 (1988) 中国地方のカミキリ相. Spec. Bull. Jpn. Soc. Coleop. (3): 44-49.

351. 穂積俊文 (1988) 「日本のカミキリ相」を解明するための文献紹介. Spec. Bull. Jpn. Soc. Coleop. (3): 64-71.

352. 松田勝毅 (1988) 1987年度コブとり採集記. 北九州の昆虫35(2): 101-104, pl.11.

マサヤンコブヤハズカミキリを豊岡市で採集.

353. 高橋寿郎 (1988) 兵庫県産テントウムシ数題. きべりはむし16(2): 37-40.

但馬産2種のテントウムシを記録.

354. Sasaji, H. (1988) Contribution to the Taxonomy of the Superfamily Cucujoidea (Coleoptera) of Japan and her Adjacent Districts. IV. Mem. Fac. Educ. Fukui, Ser. II (Nat. Sci.), No.38: 13-48.

p.26. *Lissodema* (*Lissodema*) *pictipennis* Lewis, 1895
フタオビチビキカワムシ 2exs., Hyonosen, Hyogo Pref.
26~30-VII-1969, H. Sasaji leg.

355. 西村登 (1989) 兵庫県温泉町荒湯付近の水生昆虫. 兵庫陸生生物(32): 1-4.

温泉町荒湯付近でヒラタドムシを記録.

356. 高橋寿郎 (1989) 兵庫県のゴミムシダマシ(2). 兵庫生物9(5): 292-294.

但馬産3種を記録.

357. 佐々治寛之 (1989) 日本産チビキカワムシ科概説(2). 福井虫報(4): 25-32.

養父郡氷ノ山より次の3種を記録.

フタオビキカワムシ *Lissodema* (*s. str.*) *pictipenne* Lewis
カドムネチビキカワムシ *L. (s. str.) validicorne* Lewis
クリイロチビキカワムシ *L. (s. str.) dentatum* Lewis

358. 高橋寿郎 (1989) 兵庫県のクビボソトビハムシ. きべりはむし17(2): 41-42.

但馬産2種を記録.

359. 高橋寿郎 (1989) 兵庫県における数種のタコゾウムシの産地. きべりはむし17(2): 43-45.

但馬産2種を記録.

360. 鈴木茂編 (1989) 日本産ナガクチキムシ種類別文献記録(仮)(附図: 日本産ナガクチキムシ分布図). 自刊, B5, 59p.

361. 芦田久 (1989) 兵庫県で採集されたナガクチキムシの記録. SPINDA nouv.(3): 57-59.

但馬産12種の記録あり.

362. Ôhara M. (1989) On the species of the genus *Margarinatus* from Japan (Coleoptera: Histeridae). Ins. Matsum. n. s. 41: 1-50.

p.37-41. *Margarinotus* (*Grammostethus*) *nipponicus* (Lewis, 1895) コエンマムシ 1ex., Hataganaru, Tajima, 12-V-1954, T. Okutani leg.

363. Nakane, T. & T. Makino (1989) A Revision of the Genus *Podabrus* Westwood in Japan (II). Rev. Miyazaki Sangyo Keiei Univ., 1(2): 1-18.

p.7. *Podabrus syozoi* Nakane & Makino
Paratype. 1♂, Hataganaru, Tajima, Hyogo Pref. Honshu, 24-V-1955, T. Nakane leg.

p.8. *Podabrus hyogoensis* Nakane & Makino
Holotype. ♂, Hataganaru, Tajima, Hyogo Pref. Honshu, 26-V-1955, T. Nakane leg.

364. 上田尚志 (1990) 但馬の甲虫類. 但馬の自然: 120-128 (のじぎく文庫B6, 293p.).

365. 高橋寿郎 (1990) 兵庫県のゴミムシダマシ(3). 兵庫生物10(1): 25-27.

但馬産7種を記録.

366. 和田洋介 (1990) 兵庫県北部における興味深い

カミキリ 4 種. 月刊むし(231) : 36.

養父郡関宮町福定 : ヒゲブトハナカミキリ, ベニバハナカミキリ, オニホソコバナカミキリ. 関宮町鉢北 : ヒメヒロウドカミキリの記録.

367. 佐藤邦夫 (1990) 但馬地方のカミキリムシ (Ⅲ). IRATSUME(13/14) : 41-43.

17種を記録.

368. 足立義弘 (1990) 但馬のフン虫追加記録. IRATSUME(13/14) : 50-51.

7 種を記録.

369. 上田尚志 (1990) 円山川河原でオオフタホシマグソコガネに再会. IRATSUME(13/14) : 51.

370. 本庄四郎 (1990) アスパラガスを食害するジュウシホシクピナガハムシについて. IRATSUME (13/14) : 52.

竹野町における記録.

371. 上田尚志 (1990) チビクワガタの採集記録. IRATSUME(13/14) : 76-77.

朝来郡和田山町牧田岡, 豊岡市妙楽寺, 豊岡市山本, 神武山にて.

372. 谷角素彦 (1990) 但馬で採れていたツヤハダクワガタ. IRATSUME(13/14) : 78.

373. Naomi, S. I. & S. Nomura (1990) Studies on the Subfamily Steninae (Coleoptera, Staphylinidae) from Japan. XVI. Description of Four New Species of the Subgenus *Hypostenus* of the Genus *Stenus* Latreille. ESAKIA Special Issue No.1 : 45-49.

p.48-49. *Stenus warabi* Naomi et Nomura

Holotype, ♀, Hyonoson, Hyogo Pref. 5-VI-1984. S. Nomura leg.

Paratype, 1♂, same data as the holotype.

374. 杉田守輝 (1990) 関西のルリクワガタ. 昆虫と自然25(7) : 24-30.

氷ノ山坂の谷林道に産するとの紹介あり.

375. 今坂正一・山地治・渡辺昭彦 (1990) 岡山県のジョウカイボン相. すずむし(125) : 1-23.

○*Podabrus* sp. 113. ; 氷ノ山と岡山県から知られている.

○クロジョウカイ肩紋型 *Athemus attritus* (Kiesenwetter) ; 氷ノ山.

○ジョウカイボン西日本亜種中国地方型 *Athemus suturellus luteipennis* (Kiesenwetter)および原名亜種 ; 兵庫県氷ノ山以西の本州と九州, 対馬に西日本亜種が分布. 氷ノ山で西日本亜種と原名亜種の両方が, 同一日に同一採集者によって採集されている.

376. 河浪繁 (1990) 大屋川上流の水生昆虫相と環境.

兵庫陸水生生物(36/37) : 65-70.

Elimidae (ヒメドロムシ科) の記録あり.

377. 山本一幸 (1990) 岸田川水系におけるゲンジボタルの分布 (予報). 兵庫陸水生生物(36/37) : 71-76.

378. Nakane, T. & T. Makino (1990) A Revision of the Genus *Podabrus* Westwood in Japan (Ⅲ) (Insecta, Coleoptera, Cantharidae). Frag. Coleop. (45/48) : 183-197.

p.187. *Podabrus tajimensis* Nakane & Makino

Holotype, ♂, Hataganaru, Tajima, Hyogo Pref. Honshu, Japan, 24-V-1955, T. Nakane leg.

Paratype, 2♂, Hataganaru, 26-V-1955, T. Nakane leg., 1♂, without exact data.

379. 西村登・上野哲郎 (1990) 岸田川と夢前川の水生昆虫相の比較. 兵庫陸水生生物(36/37) : 167-174.

岸田川でクシヒゲハナノミ, ヒラタドロムシ, ヒメドロムシの一種の記録あり (p.170).

380. 高橋寿郎 (1990) 兵庫県産珍稀なる種のクビボソハムシの記録. きべりはむし18(2) : 37-40.

アワクビボソハムシ : 浜坂町味原, トゲアシクビボソハムシ : 出石郡出石町水上, キベリクビボソハムシ : 出石郡出石町材木の記録.

381. 高橋寿郎 (1990) キイオオトラフコガネ兵庫県に産す. きべりはむし18(2) : 41.

従来オオトラフコガネとされていたものがキイオオトラフコガネに該当すると述べる. 氷ノ山産の記録を含む.

382. 高橋寿郎 (1991) 兵庫県のゴミムシダマシ (4). 兵庫生物10(2) : 72-74.

但馬産 8 種を記録

383. 山本一幸 (1991) 兵庫県新記録のマグソクワガタ. 混蟲ずかん(29) : 2.

美方町小代溪谷にて採集されたという情報.

384. Isono, M. (1991) A Revision of the Genus *Demotina* (Coleoptera, Chrysomelidae) from Japan, the Ryukyu, Taiwan and Korea, II. Jpn. J. Ent., 58(3) : 541-554.

p.545. *Demotina bipunctata* Jacoby フタモンアラゲサルハムシ Hamasaka-choの記録あり.

385. 高橋寿郎 (1991) 兵庫県のエンマムシ. きべりはむし19(1) : 1-10.

但馬産エンマムシモドキ科 1 種, エンマムシ科17種を記録.

386. 高橋寿郎 (1991) 兵庫県のクチキムシ (1). きべりはむし19(1) : 11-15.

但馬産 5 種を記録.

387. 高橋寿郎 (1991) 兵庫県の甲虫類 (3). *Crude*(35): 3-8.
但馬産ナガシンクイ科1種, ヒラタキクイムシ科8種の記録あり.
388. 高橋寿郎 (1991) 兵庫県のクチキムシ (2). きべりはむし19(2): 33-36.
但馬産6種を記録.
389. 高橋寿郎 (1991) *Protaetia lenzi* (Harold)の分布について. *SAIKAKU*(10): 1-5.
出石町内町, 城崎郡香住の記録あり.
390. 足立義弘 (1991) 兵庫県でマグソクワガタを採集. 月刊むし(250): 4.
美方町秋岡 (小代溪谷) 産.
391. 小谷靖彦 (1991) 兵庫県下でハナノハナノミを採集. 月刊むし(250): 21.
関宮町出合にて.
392. 井上敏 (1991) 扇ノ山にてトゲヒラタハナムグリを採集. ゆらぎあ(9): 13.
393. 小谷靖彦 (1992) 兵庫県北部におけるミツオホシハナノミの採集例. 月刊むし(251): 35.
美方郡村岡町和田にて.
394. 高橋寿郎 (1992) 兵庫県のゴミムシダマシ (5). 兵庫生物10(3): 104-106.
但馬産8種を記録.
395. 高橋寿郎 (1992) 兵庫県の甲虫類 (4) ホソヒラタムシ科・キスイムシ科. *Crude*(36): 7-13.
但馬産ホソヒラタムシ科6種, キスイムシ科3種を記録.
396. 高橋寿郎 (1992) 兵庫県のアリモドキ. きべりはむし20(1): 5-16.
但馬産11種を記録.
397. 高橋寿郎 (1992) 兵庫県のカミキリモドキ. *IRATSUME*(15/16): 1-14.
但馬産カミキリモドキ科14種, クビナガムシ科1種を記録.
398. 足立義弘 (1992) オオキイロコガネの記録. *IRATSUME*(15/16): 45.
出石郡出石町奥山茗荷谷にて.
399. 足立義弘 (1992) 野生鹿の糞から採集した食糞性コガネムシ. *IRATSUME*(15/16): 45-46.
出石郡出石町茗荷谷にて5種を記録.
400. 田花雅一・奥田則雄 (1992) マグソクワガタについて. 月刊むし(226): 4-10, pl.2.
分布で美方郡産がとりあげられている.
401. 永幡嘉之 (1992) 但馬のカミキリムシ'91. 因幡のむし (鳥取大学昆虫同好会) No.27: 21-29.
77種が記録されている.
402. 永幡嘉之 (1992) 新緑の但馬にて. 因幡のむし (鳥取大学昆虫同好会) No.27: 38-39.
カミキリムシの記録以外にマヤサンオサムシ (温泉町霧ヶ滝) の記録あり.
403. 永幡嘉之 (1992) 採集・観察記録. 因幡のむし (鳥取大学昆虫同好会) No.27: 67-69.
美方郡温泉町にてクロナガオサムシ, 扇ノ山でセンチコガネ, クロナガオサムシの記録あり.
404. 中根猛彦 (1992) 日本の雑甲虫覚え書9. 北九州の昆虫39(2): 73-79.
ヒメジョウカイ *Mikadocantharis japonica* の上翅の真つ黒なものが ssp. *serio* Nakane と区別された. この Paratype に1♂, 2♀, Hataganaru near Mt. Hyonosen, Hyogo Pref. Honshu, 26-V-1955, T. Nakane, 1♀, Hataganaru 27-V-1955, T. Nakane leg. がある.
405. 永幡嘉之 (1992) 但馬の山々から. 混蟲ずかん (34): 2-4.
ルリボシカミキリ, オオアオカミキリ, ケブカヒラタカミキリ, アカジマトラカミキリ, ダイコクコガネのことなどに関する情報あり.
406. 芦田久 (1992) 兵庫県におけるホソハンミョウの記録. 月刊むし(262): 12.
養父郡関宮町鉢伏山 (4♂, 2♀, 16-VIII-1992, 芦田採集) の記録.
407. 宮武頼夫 (1992) 1992年の標本同定会で見られた珍しい昆虫・クモ. *Nature Study*38(2): 12.
アメイロコメツキ *Kometsukia vesticarnis* Kishii, 氷ノ山, 23-VII-1992, Sugiura leg.
408. 永幡嘉之 (1992) 但馬西部のイッシキモンカミキリ. 混蟲ずかん(35): 5-6.
美方郡浜坂町, 温泉町, 村岡町, 養父郡関宮町と広く産地がある.
409. 和仁雅人 (1993) 初めての採集会. 因幡のむし (28): 30-31.
美方郡浜坂町城山でのカミキリ, コガネ, ハムシの記録. 温泉町霧ヶ滝産のカミキリの記録あり.
410. 桑本伸介 (1993) 命がけの採集会〜心中未遂〜. 因幡のむし(28): 31-32.
美方郡温泉町丹土, 井上でのカミキリの記録あり.
411. 片山滋雅 (1993) 扇ノ山霧ヶ滝合宿. 因幡のむし(28): 35-36.
カミキリの記録あり.
412. 北出洋子 (1993) 灯火採集会 (扇ノ山小ツッコ

にて) . 因幡のむし(28) : 36-37.

カミキリの記録あり.

413. 西川勲 (1993) 我らコリクワガタとナメコを採りに行く!! 因幡のむし(28) : 41-42.

扇ノ山での採集記録.

414. 永幡嘉之 (1993) 但馬のカミキリムシ'92. IRATSUME(17) : 51-70.

1992年に但馬で採集した162種のカミキリムシの記録.

415. 足立義弘 (1993) 美方町秋岡で採集したマグソクワガタについて. IRATSUME(17) : 71-72.

416. 足立義弘 (1993) 兎和野高原のホソハンミョウの記録. IRATSUME(17) : 72.

417. 永幡嘉之 (1993) 村岡町でムネアカセンチコガネを採集. IRATSUME(17) : 73.

418. 永幡嘉之 (1993) 美方郡のアカネキスジトラカミキリ (1) . IRATSUME(17) : 74.

419. 永幡嘉之 (1993) 浜坂町におけるベーツヤサカミキリの採集記録. IRATSUME(17) : 75-76.

420. 佐藤邦夫 (1993) キイロシリプトジョウカイを温泉町で採集. IRATSUME(17) : 76.

421. 永幡嘉之 (1993) 来日岳でコリクワガタを採集. IRATSUME(17) : 78.

422. 森正人・北山昭 (1993) 「図説日本のゲンゴロウ」 (文一総合出版, 東京) .

次の但馬産の図説がある.

クロマメゲンゴロウ *Agabus optatus* Sharp, 1884 図説 20-77a, 温泉町前, 28-X-1992, Kitayama leg.

シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringii* Clark, 1864 図説 23-96c, 美方郡温泉町中辻, 18-VIII-1992, Mori leg.

クロゲンゴロウ *Cybister brevis* Aube, 1838 図説 26-108c, 美方郡村岡町祖岡, 18-V-1991, Kitayama leg.

423. 高橋寿郎 (1993) クワガタムシ採集の思い出. KORURI (関西クワガタ同好会会誌) (5) : 5-6.

氷ノ山山麓にてアカアシクワガタ採集の思い出.

424. Sawada, Y. (1993) A Systematic Study of the Family Rhynchitidae of Japan (Coleoptera, Curculionidae). Human and Nature (2) : 1-93.

p.79. *Deporaus (Hypodeporaus) minimus* Kono, 1928 ムビクビチョッキリ

4 male, 1 female, Yokoyuki vall., Oya, Hyogo Pref., 24-VI-1984, Y. Sawada leg.

425. 高橋寿郎 (1993) 兵庫県のごミムシダマシ (6) . Crude(38) : 22-33.

但馬産27種を記録.

426. 今坂正一・中村慎吾 (1993) 広島県のジョウカイボン相 (予報) . 比和科学博物館研究報告(31) : 43-65.

Athemus luteipennis (Kiesenwetter, 1874) ニシジョウカイボン, 氷ノ山の記録あり (p.52-53) .

427. 花岡正 (1994) カエデノヘリグロカミキリの遅い記録. 遊虫千年, 姫昆サロニニュース(100) : 38.

氷ノ山奥山林道にて.

428. 永幡嘉之 (1994) 但馬のカミキリムシ1993. IRATSUME(18) : 16-41.

1993年に但馬で採集したカミキリ184種のデータを記録.

429. 佐藤邦夫・永幡嘉之 (1994) 兵庫県におけるルリクワガタ属の分布について. IRATSUME(18) : 52-55.

430. 永幡嘉之 (1994) 但馬における甲虫数種の採集記録. IRATSUME(18) : 56-57.

兵庫県初記録のミヤマオオハナムグリのほかにミツギリゾウムシ, ナガフトヒゲナガゾウムシの記録あり.

431. 谷角素彦 (1994) 関宮町で採集されたミヤマクワガタ雌雄型. IRATSUME(18) : 58.

432. 永幡嘉之 (1994) 美方郡のアカネキスジトラカミキリ (2) . IRATSUME(18) : 59-61.

433. 八木剛 (1994) ダイコクコガネ. ハーモニー No.7 : 7.

1950年代に生野町で採集されたダイコクコガネ♂標本のカラー図説.

434. Osawa, S., T. Nakane & Chini Kiu Yu (1994) Color-polymorphism of *Horatocera similis* Miwa from Taiwan, with Notes on *H. niponica* Lewis from Japan (Coleoptera, Callirhipidae). Ent. Rev. Japan XLIX(1) : 29-32.

ムネアカカクシヒゲムシ (クビアカクシヒゲムシ)

f. *galloisi* Pic, 1932 は頭胸部と上翅両方とも赤褐色で, 1♂, Mt. Hyonosen, Hyogo Pref.の標本が知られている.

f. *nigra* として新しく命名されたものは頭胸部と上翅両方が黒色のもので, タイプの中に1♀, Mt. Hyonosen, Hyogo Pref. 9-VIII-1951, A. Nagatomi leg. がふくまれている.

435. 大野正男 (1994) ニホンケブカサルハムシの知見総説. 自然誌研究雑誌(2・3・4) : 81-90.

浜坂町観音山の記録あり.

436. 竹野川生物調査研究会 (1994) 川原の昆虫. 私たちの川 : 26. 竹野川の自然とくらし (城崎郡竹野町) .

甲虫はゲンジボタル、ヘイケボタル、カワチマルクビゴミムシ、コアオハナムグリ、ナミテントウの5種が図説されている。

437. 黒沢良彦 (1994) 世界のアオタマムシ類. (3): 自然誌研究雑誌(5): 1-12.

アオタマムシ *Eurythyrea tenuistriata* Lewis, 1892 氷ノ山の記録がある。

438. 高橋寿郎 (1994) 兵庫県のコガネムシに就いて. PARNASSIUS(41): 5-13.

但馬に分布している15種の注目種について解説。

439. 谷角素彦・岩見裕介 (1994) 対馬海流によって本州に流れ着いたツシマヒラタクワガタの死骸. 月刊むし(285): 34.

美方町浜坂町塩谷の海岸に流れ着いたツシマヒラタクワガタの頭部。

440. Ôhara, M. (1994) A Revision of the Superfamily Histeroidea of Japan (Coleoptera). Ins. Mats., New Series (51): 1-283.

p.103-105, Fig.55,56,57,60.

Platysoma (*Platyliskr*) *pini* Lewis, 1884 マツナガエンマムシ Hyogo-ken, 1ex., Hataganaru, 24,25-V-1958, T. Nakane leg. (NA).

p.174-177, Fig.101,102.

Platylomalus fujisanus (Lewis, 1892) フジムビヒラタエンマムシ Hyogo-ken, 2exs., Hataganaru, 24,26-VI-1955, T. Nakane, 1♂, Hyonosen 27-VI-1986, T. Ito. leg. p.187-190, Fig.111,112,113.

Platylomalus viaticus Lewis, 1892 ツヤチビヒラタエンマムシ Hyogo-ken, 1♂, Hyonosen, 24-V-1955, T. Nakane. leg.

441. 山谷文仁・草刈広一 (1995) 上杉博物館館蔵昆虫目録 (41) 甲虫目 (食糞性コガネムシ類). ファウナ ウキタムNo.42: 319-328.

朝来郡生野町産ゴホンダイコクコガネ, ダイコクコガネが保管されている記録。

442. 秋山美文・日暮卓志 (1995) 山陰東部のハムシの記録. すかしば(41/42): 15-18.

ルイスクビナガハムシ (氷ノ山), バラルリツツハムシ (氷ノ山), ムネアカサルハムシ (扇ノ山), トビサルハムシ (美方郡村岡町本谷奥) の記録あり。

443. 永幡嘉之 (1995) 体にアリの頭部をつけた甲虫の記録. IRATSUME(19): 10.

ハンノアオカミキリ (美方町小代溪谷産), ハンミョウ (村岡町粗岡産)。

444. 黒井和之 (1995) 浜坂町久斗山本谷で採集した

甲虫類. IRATSUME(19): 16-17.

カミキリムシ9種, コガネムシ4種を記録。

445. 黒井和之 (1995) 浜坂町城山で得た甲虫. IRATSUME(19): 18-19.

オサムシ4種, クワガタ1種, コガネムシ6種, タマムシ1種を記録。

446. 永幡嘉之 (1995) ナガフトヒゲナガゾウムシの記録2例. IRATSUME(19): 20-21.

養父郡関宮町出合からの記録。

447. 永幡嘉之 (1995) キイロシリブトジョウカイを美方町で採集. IRATSUME(19): 21.

美方町小代溪谷での記録。

448. 高橋寿郎 (1995) 但馬地方の甲虫相に関する文献. IRATSUME(19): 59.

449. 林匡夫 (1995) イッシキキモンカミキリ. 月刊むし(294): 1.

氷ノ山山麓にて1994年8月6~7日, 多数飛翔する本種に出会った記録。

450. 西村登・原昌久・山本一幸 (1995) 兵庫県浜坂町久斗川水系の水生生物. 兵庫県浜坂町自然の現況: 150-182.

甲虫としてはヒラタドロムシ, クシヒゲマルヒラタドロムシ, ゲンジボタルの3種が記録されている。

451. Takakuwa, M. & N. Ohbayashi (1995) Notes on the Japanese Genus *Miccolamia* (Coleoptera, Cerambycidae), with Description of two New Species. Jpn. J. Syst. Ent. 1 (2): 193-200, figs.1-16.

p.194-197, Figs.3-9.

Miccolamia (*Isomiccolamia*) *pahuræ* Takakuwa et N. Ohbayashi

Paratype, 1♂, Mt. Hyonosen, Hyogo Pref., 5-V-1973, M. Yuma leg.

452. 高橋寿郎 (1995) ルイスクビナガハムシの分布. きべりはむし23(2): 29-33.

氷ノ山, 扇ノ山, 城崎郡阿瀬溪谷の記録。

453. 花岡正 (1995) ヒゲジロホソコバネカミキリが5年間ミズナラより羽脱する. 遊蟲千年(2): 116.

氷ノ山奥谷より持ち帰ったミズナラの材より。

454. Naomi, S. I. (1995) Revision of the Genus *Piestoneus* Sharp (Coleoptera: Staphilinidae) from Japan. Jpn. J. Ent. 63(4): 763-780.

p.775-779.

Piestoneus oharai Naomi

Paratype, 1ex., Hyonosen, Hyogo Pref., 25-28,VII,1975, H. Sasaji coll.

455. 高橋寿郎 (1996) オオセンチコガネとセンチコガネ—兵庫県での分布を中心として—。きべりはむし24(1): 7-13.

但馬地方の記録も含まれる。

456. 永幡嘉之 (1996) ルイスクピナガハムシの採集記録。きべりはむし24(1): 49.

氷ノ山, 扇ノ山, 村岡町小城, 本谷奥にて。

457. 高橋寿郎 (1996) コヒゲシマビロウドコガネの分布について。IRATSUME(20): 24-26.

養父郡八鹿町妙見山, 大屋町田淵山にて。

458. 上田尚志 (1996) 但馬におけるハムシの記録。IRATSUME(20): 27-30.

83種の記録。

459. 佐藤邦夫 (1996) 兵庫県におけるルリクワガタ属の分布について (II)。IRATSUME(20): 17.

城崎郡日高町蘇武岳にてルリクワガタ, 美方町小長迫? および八鹿町妙見山にてコルリクワガタを記録。

460. 永幡嘉之 (1996) 扇ノ山のダイセンオサムシとヒメオサムシについて (1)。IRATSUME(20): 44-45.

461. 永幡嘉之 (1996) 但馬のカミキリムシ第3報。IRATSUME(20): 46-55.

168種を記録。

462. 佐藤邦夫 (1996) 但馬地方のカミキリムシ (IV)。IRATSUME(20): 87-92.

106種を記録。

463. 佐藤邦夫 (1996) IRATSUMEに採集記録が発表された但馬のカミキリムシ。IRATSUME(20): 93-109. 227種を記録。

464. 八木康博・西村登 (1996) 兵庫県与布土川上流の底生動物相。兵庫陸生生物(47): 47-53.

ヒラタドロムシ, ゲンジボタルの記録あり。

465. 春沢圭太郎 (1996) 砂質地に生息するマグソコガネ類の分布。昆虫と自然31(9): 39-43.

豊岡市気比にて1996年3月30日, ヤマトケシマグソコガネの成虫採集。図 (写真) もあり。

466. Kishii, T. (1996) Notes on Elateridae from Japan and its adjacent Area (14). Bull. Heian High School (39): 1-40, 8pls.

p.8, *Agrypnus (Colaulon) tsukamotoi* (Kishii, 1956) ハマベオオヒメサビキコリ Hyogo (Hamasaka & Is. Awaji-shima) の記録。

467. 三宅義一 (1997) 広島県のオオトラフコガネ類について。比婆科学(177): 1-9.

本文において *Paratrachius itoi* Tagawa subsp.キイオ

オトラフコガネ別亜種として取り扱ったものの中に兵庫県氷ノ山産4♂がふくまれている (1♂, 28-VII-1977, Y. Akiyama leg., 3♂, 30-VII-1989, M. Mori leg.)。

468. 永幡嘉之 (1997) フタイロカミキリモドキの兵庫県北部からの採集記録。きべりはむし25(1): 39.

浜坂町城山, 1♂, 10-V-1992.

469. 高橋寿郎 (1997) アオアシナガハナムグリとジュウシチホシハナムグリの分布。てんとうむし(11): 58-64.

ジュウシチホシハナムグリの氷ノ山, 扇ノ山の記録。

470. 相馬明直 (1997) 数種類の甲虫の記録。てんとうむし(11): 84.

養父郡大屋町横河渓谷にて, イシダコガネホソコメツキ, キボシクチカクシゾウムシを記録。

471. 島根県 (1997) しまねレッドデータブック動物編。B5, 413pp. 196カラーfigs.

兵庫県但馬産としては, 次の種の生態写真がカラーで収録されている。

p.227. ヒメオオクワガタ♂ (9-VIII-1986) 兵庫県温泉町 足立ph.

p.287. ベーツヒラタカミキリ (21-VIII-1993) 兵庫県浜坂町 永幡ph.

472. 芦田久 (1997) トノミネメクラチビゴミムシの記録。月刊むし(322): 4.

朝来郡段ヶ峯 (標高900m) にて1♀, 2-VI-1996, 小田中採集; 1♂1♀, 23-VI-1996, 芦田採集。

473. 永幡嘉之 (1997) 兵庫県北部におけるトホシカミキリ族の後食習性。IRATSUME(21): 1-7.

但馬における24種のカミキリムシの後食習性の記録。

474. 永幡嘉之 (1997) コルリクワガタの低山地からの追加記録。IRATSUME(21): 7.

温泉町檜尾 (標高340m) にて。

475. 高橋寿郎 (1997) 兵庫県のハムシ (1) (兵庫県甲虫相資料・331)。IRATSUME(21): 16-26.

但馬産23種を記録。

476. 上田尚志 (1997) 但馬各地で採集したカミキリムシ。IRATSUME(21): 27-31.

105種を記録

477. 佐藤邦夫 (1997) 兵庫県八鹿町で採集したタマムシ数種の記録。IRATSUME(21): 39.

5種を記録。

478. 富永修 (1998) mt-DNA分析用に得た中国地方のオサムシの記録。すかしば(46): 13-17.

マヤサンオサムシ: 鉢伏高原, クロナガオサムシ:

朝来郡。

479. 高橋寿郎 (1998) 兵庫県のキクイムシ類。てんとうむし(12): 14-29.

但馬産ナガキクイムシ科2種, キクイムシ科28種を記録。

480. 高橋寿郎 (1998) 兵庫県のタマムシ (1)。きべりはむし26(1): 13-19.

但馬産11種を記録。

481. 永幡嘉之 (1998) 但馬地方におけるオサムシの分布記録。IRATSUME(22): 10-19.

12種の分布記録。

482. 高橋寿郎 (1998) 兵庫県のハムシ (2)。IRATSUME(22): 25-34.

但馬産ハムシ27種を記録。

483. 今坂正一 (1998) 冗・界・凡, あるいは饒・怪・煩?? 昆虫と自然33(11): 7-12.

ジョウカイボンは兵庫県付近で変異が断然しており, 東のものがジョウカイボンで, 西のものがニシジョウカイボンに分けられる。ミヤマニンフジョウカイの扇ノ山, 氷ノ山の分布が図示されている。

484. 高橋寿郎 (1998) 兵庫県産におけるオサムシの分布 (1)。きべりはむし26(2): 23-31.

但馬地方に産する7種のオサムシの分布状況を説明。

485. 高橋寿郎 (1999) 兵庫県産におけるオサムシの分布 (2)。きべりはむし27(1): 1-8.

但馬地方に産する5種のオサムシの分布状況を説明。

486. 高橋寿郎 (1999) 兵庫県産のタマムシ (3)。きべりはむし27(1): 9-15.

但馬地方に産するナガタマムシ亜科3種, チビタマムシ亜科13種のそれぞれの分布状況を説明。

487. 高橋寿郎 (1999) 記録から見た兵庫県の甲虫相。きべりはむし27(1): 40-41.

但馬地域から記録された甲虫は93科1,730種であることを解説。

488. 高橋寿郎 (1999) 私の昆虫採集記 (1)。きべりはむし27(1): 41-47.

養父郡氷ノ山へ1953~1959年にかけて調査に6回出掛けた。当時の氷ノ山の状況と氷ノ山の甲虫相についての概説を試みている。

489. 永幡嘉之 (1999) 但馬海岸のカミキリムシ。IRATSUME(23): 1-4.

但馬海岸付近のカミキリムシ118種の分布状況を説明。

490. 高橋寿郎 (1999) 兵庫県のハムシ (3)。IRATSUME(23): 5-17.

但馬産サルハムシ亜科18種, ホソハムシ亜科1種, ハムシ亜科16種を解説。

491. 高橋寿郎 (1999) 記録による但馬の甲虫相。IRATSUME(23): 18-29.

243点の但馬産甲虫に関する文献について解説。

492. 佐藤邦夫 (1999) 但馬地方のカミキリムシ (V)。IRATSUME(23): 32-33.

但馬地方産カミキリムシ37種について分布状況を説明。

493. 谷角素彦 (1999) 来日岳のコルリクワガタ追加記録。IRATSUME(23): 34.

494. Hoshina, H. (1999) A Taxonomic Study of the Genus *Agathidium* (Coleoptera, Leiodidae) from Japan, I. Subgenus *Cyphocele*. Jpn. J. syst. Ent. 5(1): 43-60.

pp.49-50, Figs.17-22.

Agathidium (*Cyphocele*) *nipponicum* Angelini et Marzo, 1988 ウスゲマルタマキノコムシ

1 female, Mt. Hyonoson, Hyogo Pref., 29-V-1988, H. Hoshina leg. (by Berlese funnels) の記録がある。

495. H. Hoshina, N. Narukawa and K. Morimoto (1999) Redescription of *Agathidium* (*Neoceble*) *curtipenne* (Coleoptera: Leiodidae). ESAKIA(39): 109-111.

pp.110-111, Figs.1-6.

Agathidium (*Neoceble*) *curtipenne* Hlisenkovsky, 1964 ルイスマヤサンマルタマキノコムシ

Holotype. female, Kobe Hyogo Pref., G. Lewi leg. (preserved in the Natural History Museum, London), 1 male and 1 female, Tentaki, Oya-cho, Hyogo Pref., 8-VI-1996, H. Hoshina leg. の記録がある。

496. 保科英人 (1999) 日本産コケムシ科Cephenniini 族の分類学的諸問題。甲虫ニュース(126): 5-8.

本文の中で*Chelonoidum loebli* Kurbatov, 1995 イシツチニセムナビロコケムシを兵庫県大屋町天滝で6頭採集 (28-V-1998) の記録あり (落葉中よりツルグレン装置で抽出)。

一応, 1999年度前半までに発表されている報文で, まとめてさせて頂いた。

浜坂町でアシダカグモの生息を確認

山本 一幸

徘徊性のクモでは国内最大と言われるアシダカグモ *Heteropoda venatoria* は、関東以南の太平洋側に広く分布する。しかし、日本海側では稀で、但馬地方では今まで記録がなかった。昨年(1999年)、美方郡浜坂町の飲食店に出現した個体が採集され、筆者の元に届けられ、本種であることが確認された。但馬地方では初めての採集記録であったことから、新聞(日本海新聞)に掲載された。その後、記事を読んだ人たちから新たな情報が寄せられたので、それらの記録と若干の知見を報告する。

採集データ

- 1) 1♂, 兵庫県美方郡浜坂町浜坂, 1990-IX-4,
宇野明採集
- 2) 1♂, 兵庫県美方郡浜坂町浜坂, 1999-IX-11,
株本尚夫採集
- 3) 1♂, 兵庫県美方郡浜坂町浜坂(加藤文太郎記念
図書館), 1999-X-2
- 4) 1♂, 兵庫県美方郡浜坂町浜坂(寿司亀食堂),
1999-X-7

本種は屋内に生息しており、夜間に徘徊してゴキブリやハエ、ハサミムシなどを捕食する。メスは体長25~30mmとオス(体長15~25mm)に比べて一回りも大きく(千国, 1989)、脚を含めると10cm以上にもなる。採集された個体はいずれも成熟したオスで、9月から10月にかけて採集されている。この時期にオスが発見されるのは、配偶行動に際してメスを求めて徘徊していたものと考えられる。

本庄・山本(1990)が但馬地方のクモ類をまとめた時点では、本種は確認されていなかった。しかし、「今までに記録はないが、但馬に分布していてもおかしくない種」として課題を投げかけていた。今回、宇野明氏より提供された標本は、1990年に採集されたものであり、すでに10年前には本種が生息していたことが実証された。

但馬地方の郊外の家屋には、近縁のコアシダカグモ

Sinopoda forcipata が入りこんでいる。両種の形態はよく似ているが、コアシダカグモの方が小型で、メスでは腹部の後端に黄色の三角の斑紋がある。また、アシダカグモのオスには胸部の背甲に大きな黒色の斑紋があり、コアシダカグモにはないことで区別がつく。

アシダカグモが今回発見された市街地の飲食店や食料品店などは、環境が安定しており、餌も豊富にある点で生息に適している。今後、他の地域でも同じような場所で発見される可能性は大きい。

参考文献

本庄四郎・山本一幸(1990)但馬のクモ類目録,

IRATSUME13/14:1-33.

谷川明男(2000)日本産クモ類目録, Kishidaia78:
79-142.

千国安之輔(1989)写真日本クモ類大図鑑, 偕成社,
東京.

日本海新聞(1999年9月19日朝刊)アシダカグモ但馬
で初記録.

《訂正》

IRATSUME23号の34ページ“和田山町で採集されたカトウツケオグモ”の採集年月日のデータ(7行目)に誤りがありました。以下に訂正しますとともに、ご迷惑をおかけしました著者ならびに読者諸氏に謹んでお詫び申し上げます。

(誤) 1998-IV-2 → (正) 1998-IX-2

《IRATSUME 投稿規定》

1. 原稿は横書き原稿用紙に、わかりやすく書いてください。
2. 報文には「～である」調を用い、句読点もはっきりさせてください。
3. ワードプロで原稿作成する場合、句読点にピリオドとコンマを使用してください。また、印字したものとフロッピーディスクの両方をお送りください。
4. 種名は和名で記しますが、記録報告の場合には学名も表記してください。その際、学名は必要最小限にとどめてください。
5. 分類の紛らわしい種や貴重な記録には、標本写真を付けてください。標本撮影は編集事務局でも行えますので、ご利用ください。
6. 採集データは、次のような形式で記してください。
1♂2♀♀, 兵庫県美方郡温泉町青下, 1989-V-15, 黒井和之採集。
7. 参考文献は、次のような形式で記してください。
佐藤邦夫 (1987) 但馬地方のカミキリムシ, IRATSUME11:72-90.
8. 付図や表組は、そのまま使える完全版下として仕上げてください。IRATSUMEの誌面にうまく収まるよう工夫してください。
9. 原稿は十分に推敲・校正してから、ご投稿ください。とくに、わかりにくい表現や無駄な表現がないか、主語と述語がはっきりしているか、数字や学名のスペルに誤りがないかなどについて、チェックしてください。
10. 誤同定やデータに大きな誤りを含んでいる原稿は、掲載をお断りする場合があります。
11. 寄稿者は掲載誌3部を受け取り、原稿掲載料として1000円を事務局（郵便振替：01120-3-16245, 但馬むしの会）に支払います。
12. 原稿についてのお問い合わせは、谷角素彦まで。

【編集後記】

◇ IRATSUME24号をお届けします。今回はページ数では前号を上まわりましたが、投稿者が4名というちょっと寂しい号になりました。しかも、地元会員は山本一幸氏だけです。私も含めて、但馬のフィールドで活動できるメンバーが減少した現在、どうしても地元在住の会員に期待したくなります。しかし、これは勝手な期待で、地元の方々にとっては迷惑な話かもしれません。当人が自覚しないかぎり、どうしようもない問題なのですから。

手元には出来たばかりの「大阪府における保護上重要な野生生物—大阪府レッドデータブック—」と「大阪府野生生物目録」があります。これらを紐解くと、いかにその時々の記録をとどめておくことが重要かがわかります。そのときはそれほど感じなくても、こうした記録は後に重みをもってくるのです。

あえて言います。今、但馬のフィールドで虫の採集・観察を行い、それらを記録に残すことは、とても大切なことです。そのことを自覚し、現状を打破する人が1人でも多く現れてほしいと願います。虫と付き合い始めた頃の気持ちを思い出しましょう。野外では、いい季節が始まっています。

(谷角)

◇ 今号の大半を占める高橋寿郎氏の報文は、氏のご逝去にともないご遺稿となってしまいました。氏の情報収集の幅広さにはただ脱帽するばかりですが、あまりに膨大な資料を基にされていたためか、誤記と思われる箇所もあります。ご当人に確認できないので、我々で可能な限り訂正しましたが、疑問のまま残しているところもあります。こういった今後の研究のベースになる重要な報文は、できるだけ正確な内容で掲載したいと考えております。お気づきの点を是非ご一報ください。

(石田)

◇ 高橋寿郎氏の完成原稿が掲載されるのも、今回が最後となりました。今いちど読み返してみても、若い頃からあらゆる甲虫を採集されていることに改めて驚かされます。ここ数年、「まるで何かに憑かれたように書いておられるな」と思いつつ編集に関わらせてもらいましたが、おそらく自己の内面ではある到達点、自分の仕事の集大成としての目標を明確に持っておられたのでしょう。遺稿のいくつかが未完で終わったことは残念ですが、老後に“ものを考えて書く、まとまった時間”を持つという点では、私たちの多くが理想とする形で人生を終えられたと思います。ご冥福をお祈りします。

(永幡)

IRATSUME No.24

2000年5月25日発行

発行者：但馬むしの会

〒669-6801 兵庫県美方郡温泉町

，黒井和之方

編集者：谷角素彦・石田達也・永幡嘉之

但馬むしの会会則

1. この会は、但馬むしの会と称する。
2. この会は、但馬地方の昆虫研究（昆虫相の解明等）、および会員相互の親睦をはかることを目的とする。
3. この会は、その目的を果たすために次のことをする。
 - (1) 会誌 JRATSUME（年1回）の発行
 - (2) 連絡誌 混蟲ずかん（年数回）の発行
 - (3) 採集会などの催し
4. この会は、昆虫に興味をもち、会の目的に賛同する人は誰でも入会できる。
5. 会員は、会を維持するため、年額（3000円）を負担しなければならない。
6. 会員は、会誌などの配布を受け、またこれに投稿することができ、催しに参加することができる。ただし、会費滞納が2か年以上継続し、通知しても連絡のないときは自然退会とみなす。
7. この会を運営していくため、本部に事務局をおき、会の代表とする。
8. 総会は年1回とし、役員改選、会則の改正など、会の運営上の重要事項を審議する。議決は、出席者の過半数の賛成を必要とする。
9. この会の会計年度は、暦年とする。

